
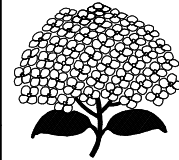


市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕

意匠図（建築）					
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A－0 0	表紙・図面リスト	N. S	A－1 6	雑詳細図1	1:10
共特－0 1	共通特記仕様書	N. S	A－1 7	雑詳細図2	1:20 1:50
改特－0 1	改修特記仕様書(1)	N. S	A－1 8	雑詳細図3	1:10 1:20 1:30
改特－0 2	改修特記仕様書(2)	N. S	A－1 9	仮設計画図1（参考図）	1:200
改特－0 3	改修特記仕様書(3)	N. S	A－2 0	仮設計画図2（参考図）	1:500
改特－0 4	改修特記仕様書(4)	N. S			
改特－0 5	改修特記仕様書(5)	N. S			
改特－0 6	改修特記仕様書(6)	N. S			
A－0 1	案内図・配置図・外部仕上表	N. S 1:500			
A－0 2	既存 屋上・PH屋上平面図	1:100			
A－0 3	改修 屋上・PH屋上平面図	1:100			
A－0 4	既存・改修 3階屋上平面図	1:100			
A－0 5	既存・改修 2・3階バルコニー平面図	1:100			
A－0 6	既存 南側立面図	1:100			
A－0 7	改修 南側立面図	1:100			
A－0 8	既存 東・西側立面図	1:100			
A－0 9	改修 東・西側立面図	1:100			
A－1 0	既存 北側立面図	1:100			
A－1 1	改修 北側立面図	1:100			
A－1 2	既存・改修 X3通り東側立面図 既存・改修 X13通り西側立面図	1:100			
A－1 3	既存 矩計図	1:30			
A－1 4	改修 矩計図	1:30			
A－1 5	既存・改修 4階天井伏図	1:100			

原図サイズ A1

	SAGAMIHARA 相模原市		工事名称 市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕	設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介	課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算	縮尺	図面名称 表紙・図面リスト	図面番号 A－00
											S=N. S		
											設計年月日		

(3.3.2)	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※【表3.3.5～表3.3.6】による ・種類（ ） 厚さ（ ） 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※【表3.3.3～表3.3.4】による ・種類（ ） 厚さ（ ） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・（ ） 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 厚さ ・25mm ・50mm ・（ ） 絶縁用シートに使用する材料 ・（ ） ※（A-1～A-3又はB-1～B-3の場合） ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ※（AⅠ-1～AⅠ-3又はBⅠ-1～BⅠ-3の場合） フラットヤーンクロス（70g/㎡程度）	(3.3.3)	脱気装置の種類及び設置数量 （屋根露出防水絶縁工法、屋根露出防水絶縁断熱工法の場合） 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・（ ） 設置数量※アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・（ ） (3.3.2)	屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 （硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号の場合、 透湿係数を除く、JIS A 9521の規格に準ずるもの） 種類（ ） 厚さ ・25mm ・50mm ・（ ） (3.3.4)	（屋根露出防水絶縁断熱工法の場合） ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・（ ） 屋上排水溝の適用 ・図示 ・（ ） ・屋内防水密着工法 施工箇所（ ） （改修工法）・P1E ・P2E （防水層種別）・E-1 ・E-2 工程3の適用（種別E-1の場合） ・有（※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位 ・（ ）） ・無	(3.1.4)	(表3.3.10)	(3.2.6)	・既存下地の処理 <table><tr><th>補修箇所の形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table> 保護層の新設 ・有（厚さ ） ・無 ※こて仕上げの場合、水下で80mm以上 床タイル張り等の仕上げの場合、水下で60mm以上 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・（ ） (3.3.3)	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	(3.3.2)	(3.3.5)	屋上排水溝の適用 ・図示 ・（ ）																																			
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
(3.3.5)	平場の保護コンクリートの厚さ ・（ ） ※（こて仕上げの場合）水下で80mm以上 ※（床タイル張り等の仕上げの場合）水下で60mm以上 （こて仕上げの場合）仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種	5 改質アスファルトシート防水 (3.1.4) (表3.3.7) (表3.1.1) (表3.3.8) (表3.1.1) (表3.3.9) (3.2.5) (3.2.6) <table><tr><th>補修箇所の形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table> 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 （M4C、M4DI工法の場合） ・有（デッキブラシ等で水洗いを行う） ・無	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・屋根露出防水工法 ・屋根露出防水密着工法 施工箇所（ ） （改修工法）・M4C （防水層種別）・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4 ・屋根露出防水絶縁工法 施工箇所（ ） （改修工法）・M3D ・POD （防水層種別）・D-1 ・D-2 ・屋根露出防水絶縁断熱工法 施工場所（ ） （改修工法）・PODI ・M3DI ・M4DI （防水層種別）・DI-1 ・DI-2	(3.1.4) (表3.1.1) (表3.3.7) (表3.1.1) (表3.3.8) (表3.1.1) (表3.3.9) (3.2.5) (3.2.6) <table><tr><th>補修箇所の形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table> 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 （M4S、M4SI工法の場合） ・有（デッキブラシ等で水洗いを行う） ・無	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・屋根露出防水工法 ・屋根露出防水密着工法 施工場所（ ） （改修工法）・M4AS （防水層種別）・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2 ・屋根露出防水絶縁工法 施工場所（ ） （改修工法）・M3AS ・POAS （防水層種別）・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・屋根露出防水絶縁断熱工法 施工場所（ ） （改修工法）・M3ASI ・M4ASI ・POASI （防水層種別）・ASI-T1 ・ASI-J1	(3.1.4) (表3.3.7) (表3.1.1) (表3.3.8) (表3.1.1) (表3.3.9) (3.2.5) (3.2.6) <table><tr><th>補修箇所の形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table> 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 （M4S、M4SI工法の場合） ・有（デッキブラシ等で水洗いを行う） ・無	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・既存下地の処理 <table><tr><th>補修箇所の形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※【表3.4.1～表3.4.3】による ・種類（ ） 厚さ（ ） 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※【表3.4.1～表3.4.3】による ・種類（ ） 厚さ（ ） 仕上塗料の種類及び使用量 種類（ ） 使用量 ※改質アスファルトルーフィングの製造所の指定による ・（ ） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・（ ）	補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	【表3.4.1】 【表3.4.2】 【表3.4.3】
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
補修箇所の形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																						
(3.3.2)	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※【表3.3.7】による ・種類（ ） 厚さ（ ） 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・種類（ ） 厚さ（ ） 仕上塗料の種類及び使用量 種類（ ） 使用量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・（ ） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・（ ）	(3.4.2)	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※【表3.4.1～表3.4.3】による ・種類（ ） 厚さ（ ） 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※【表3.4.1～表3.4.3】による ・種類（ ） 厚さ（ ） 仕上塗料の種類及び使用量 種類（ ） 使用量 ※改質アスファルトルーフィングの製造所の指定による ・（ ）	【表3.4.1】 【表3.4.2】 【表3.4.3】	【3.4.2】 【3.4.3】 【3.4.2】 【3.4																																																			



市立川尻小学校A棟外壁及び屋上防水修繕



設計資格者氏名
一級建築士 大臣登録 第288653号
学校施設課 大橋 乃介

課 長
総括主幹
総括副主幹
総括副主幹
担 当
検 算

縮尺
S=N. S
設計年月日

図面名称
改修特記仕様書（2）
図面番号
改特-02

外壁 改修 工事 タイル 張り 仕上 げ外 壁	4-3	1	ひび割れ部改修工法 (4.4.2)	外壁タイルの撤去面 ・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ 改修箇所 ※ 既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面 (・ コンクリート面 ・ モルタル面)	(4.4.8)	・セメントモルタルによるタイル張り コンクリート素地面の下地の処理方法 () タイル張りの種類及び工法 ・外装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り) ・ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り) ・有機系接着剤によるタイル張り コンクリート素地面の下地の処理方法 () タイル張りの種類及び工法 ・外装タイル ・ ユニットタイル (※外装タイル接着剤張り工法) 目地詰め ・ 行う ・行わない (【4.4.8】による)	(4.4.15)	・タイル陶片の浮き 工法の種類 アーカーピンの本数 (本/㎡) 一般部 指定部 一般部 指定部 ・ 注入口付アンカーピン ニングエポキシ樹脂 注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ 注入口付アンカーピンニング注入工法用の注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径外径6mm程度 ・ () ・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 目地詰め ・ 行う ・行わない (耐候性、耐汚染性は【4.4.5】による)	4 目地改修工法 (4.4.16)	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 ・ ()																																																	
			(4.4.6)	ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法							(4.4.5)	タイルの形状、寸法等 () 施工箇所 () 形状、寸法 () 吸水率による区分 ・ 1類 ・ 2類 ・ 3類 うわぐすり ・ 施ゆう ・ 無ゆう 役物 ・ 有 ・ 無 色 ・ 標準 ・ 特注 再生材の適用 ・ 有 ・ 無 耐凍害性 ・ 有 ・ 無 耐滑り性 ・ 有 ・ 無 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない	(4.2.2)	タイルの形状、寸法等 () 施工箇所 () 形状、寸法 () 吸水率による区分 ・ 1類 ・ 2類 ・ 3類 うわぐすり ・ 施ゆう ・ 無ゆう 役物 ・ 有 ・ 無 色 ・ 標準 ・ 特注 再生材の適用 ・ 有 ・ 無 耐凍害性 ・ 有 ・ 無 耐滑り性 ・ 有 ・ 無	① 既存塗膜等の除去、 下地処理及び下地調整 (4.5.4)	工 法 ・サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤 工法 ⓪水洗い工法 10-15MPa程度	処理範囲 ※既存仕上り面全面 ・ () (既存塗膜の除去範囲は 処理面積の30%とする) ※既存仕上り面全面 ・ () (既存塗膜の除去範囲は 既存塗膜の劣化部とする) ※既存仕上り面全面 ・ () ⓪ひび割れ部改修工法 ⓪浮き部改修工法 ⓪欠損部改修工法	下地面の補修 ・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法 ・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法 ⓪ひび割れ部改修工法 ⓪浮き部改修工法 ⓪欠損部改修工法																																									
			(4.2.5)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法															(4.4.8)	外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの 接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	(4.1.4) (4.4.7)	セメントモルタルによるタイル張り コンクリート素地面の下地の処理方法 () タイル張りの種類及び工法 ・外装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り) ・ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り) 有機系接着剤によるタイル張り コンクリート素地面の下地の処理方法 () タイル張りの種類及び工法 ・外装タイル ・ ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)	② 工法	⓪薄付け仕上塗材 施工箇所 (図示) 仕上塗材の呼び名 ・外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si ⓪外装薄塗材E ・ 可とう形外装塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S 仕上りの形状及び工法 ⓪砂壁状 ・ ゆず肌状 (・ 吹付け ・ ローラー塗り) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 (・ 吹付け ・ こて塗り)																																			
			(4.4.9)	注入力：多少樹脂が残った状態 ：隣のパイプから樹脂が出た状態																					(4.4.4)	3 浮き部改修工法 (4.4.4)	(4.4.9)	(4.4.5)	セメントモルタルによるタイル張り コンクリート素地面の下地の処理方法 () タイル張りの種類及び工法 ・外装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り) ・ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)	(4.5.2) (表4.5.1)	⓪厚付け仕上塗材 施工箇所 () 仕上塗材の呼び名 ・外装厚塗材C ・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E 仕上りの形状 ・ 吹出し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ 掻き落とし 工法 (平たん状、凹凸状、ひき起こしの場合) ・ こて塗り ・ ローラー塗り																												
			(4.4.10)	ひび割れ部の注入状況の確認方法 ・ 行う (※コアの抜き取り ・ ()) ・ 行わない (コアの抜き取りによる場合) 抜き取り個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ () 抜き取り部の補修方法 ※図示 ・ ()																												(4.4.11)	(4.4.12)	(4.4.13)	(4.4.14)	(4.4.8)	(4.5.2) (表4.5.1)	・ 外装厚塗材Cにセメントスタッコ以外の上塗材を用いる場合 上塗材の種類 耐候性 () 溶媒 ※水系 ・ 弱溶剤系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ シリカ系 ・ ポリウレタン系 ・ アクリルシリコン系 ・ ふっ素系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック																					
			(4.4.11)	・ タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 目地詰め ・ 行う ・ 行わない (耐候性、耐汚染性は【4.4.5】による)																																			(4.4.12)	(4.4.13)	(4.4.14)	(4.4.8)	(4.5.2) (表4.5.1)	⓪複層仕上塗材 施工箇所 (図示) 仕上塗材の呼び名 ・ 複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材CE ⓪防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE 仕上りの形状 ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ⓪凹凸状 上塗材の種類 耐候性 () 溶媒 ※水系 ・ 弱溶剤系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ シリカ系 ・ ポリウレタン系 ⓪アクリルシリコン系 ・ ふっ素系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック															
			(4.4.12)	タイルの形状、寸法等 () 施工箇所 () 形状、寸法 () 吸水率による区分 ・ 1類 ・ 2類 ・ 3類 うわぐすり ・ 施ゆう ・ 無ゆう 役物 ・ 有 ・ 無 色 ・ 標準 ・ 特注 再生材の適用 ・ 有 ・ 無 耐凍害性 ・ 有 ・ 無 耐滑り性 ・ 有 ・ 無																																									(4.4.13)	(4.4.14)	(4.4.8)	(4.5.2) (表4.5.1)	・ 可とう形改修用仕上塗材 施工箇所 () 仕上塗材の呼び名 ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE 仕上りの形状 ・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状										
			(4.4.13)	シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ () 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・ ()																																														(4.4.14)	(4.4.15)	(4.4.8)	(4.5.2) (表4.5.1)	・ 可とう形改修用仕上塗材 施工箇所 () 仕上塗材の呼び名 ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE 仕上りの形状 ・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状					
			(4.4.14)	・ タイル張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 目地詰め ・ 行う ・ 行わない (耐候性、耐汚染性は【4.4.5】による)																																																			(4.4.15)	(4.4.16)	(4.4.8)	(4.5.2) (表4.5.1)	・ 可とう形改修用仕上塗材 施工箇所 () 仕上塗材の呼び名 ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE 仕上りの形状 ・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状
			(4.4.15)	・ タイル張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 目地詰め ・ 行う ・ 行わない (耐候性、耐汚染性は【4.4.5】による)																																																							
(4.4.16)	・ タイル張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 目地詰め ・ 行う ・ 行わない (耐候性、耐汚染性は【4.4.5】による)	(4.4.17)	(4.4.18)	(4.4.8)	(4.5.2) (表4.5.1)	・ 可とう形改修用仕上塗材 施工箇所 () 仕上塗材の呼び名 ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE 仕上りの形状 ・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状																																																					

	SAGAMIHARA		工事名称 市立川尻小学校A棟外壁及び屋上防水修繕	設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介	課長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担当	検査	縮尺 S=N. S	図面名称 改修特記仕様書 (4)	図面番号 改特-04
											設計年月日		

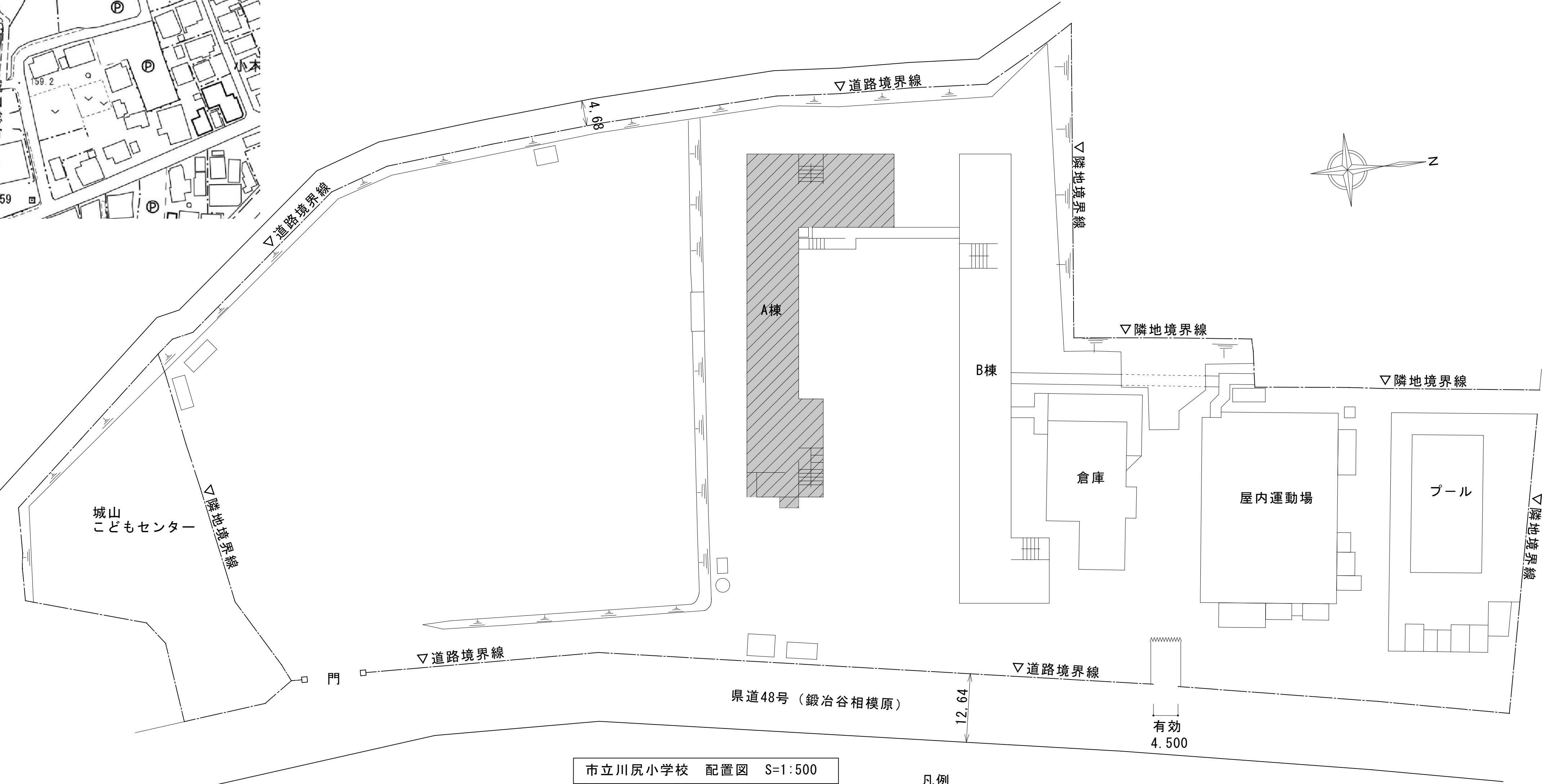


市立川尻小学校 案内図 S=N. S

【市立川尻小学校】
相模原市緑区久保沢 2-2-2

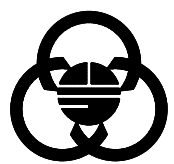
外部仕上表

外 壁	改修前	モルタル下地 アクリル樹脂付吹付 【既存のまま】
	改修後	水洗い（15MPa）、下地調整材（C-2）の上、防水形複層塗材E 凹凸状【新設】
軒 裏	改修前	モルタル下地 アクリル樹脂付吹付 【既存のまま】
	改修後	水洗い（15MPa）、下地調整材（C-1）の上、外装薄塗材E【新設】
屋 上	改修前	平場：塩ビ系シート防水t2.0 撤去（仮防水を行う） 立上り：塩ビ系シート防水t2.0 撤去（仮防水を行う）
	改修後	平場：水洗い（15MPa）、ポリマーセメントモルタルにて水勾配調整の上、 塩ビシート防水 t2.0（遮熱仕様）機械固定工法（S-M2）【新設】 立上り：水洗い（15MPa）、カチオン系モルタルにて下地調整の上、 塩ビシート防水 t2.0（遮熱仕様）機械固定工法（S-M2）【新設】
縦樋・呼樋	改修前	硬質塩化ビニルパイプ φ75、100 VP（支持金物共）【撤去】
	改修後	硬質塩化ビニルパイプ φ75、100 VP（SUS支持金物共）【新設】
鉄鋼面	改修前	OP塗装 【既存のまま】
	改修後	水洗い（15MPa）の上、DP塗替【新設】



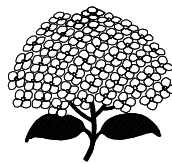
市立川尻小学校 配置図 S=1:500

凡例
：対象工事範囲を示す



SAGAMIHARA

相模原市



工事名称
市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕

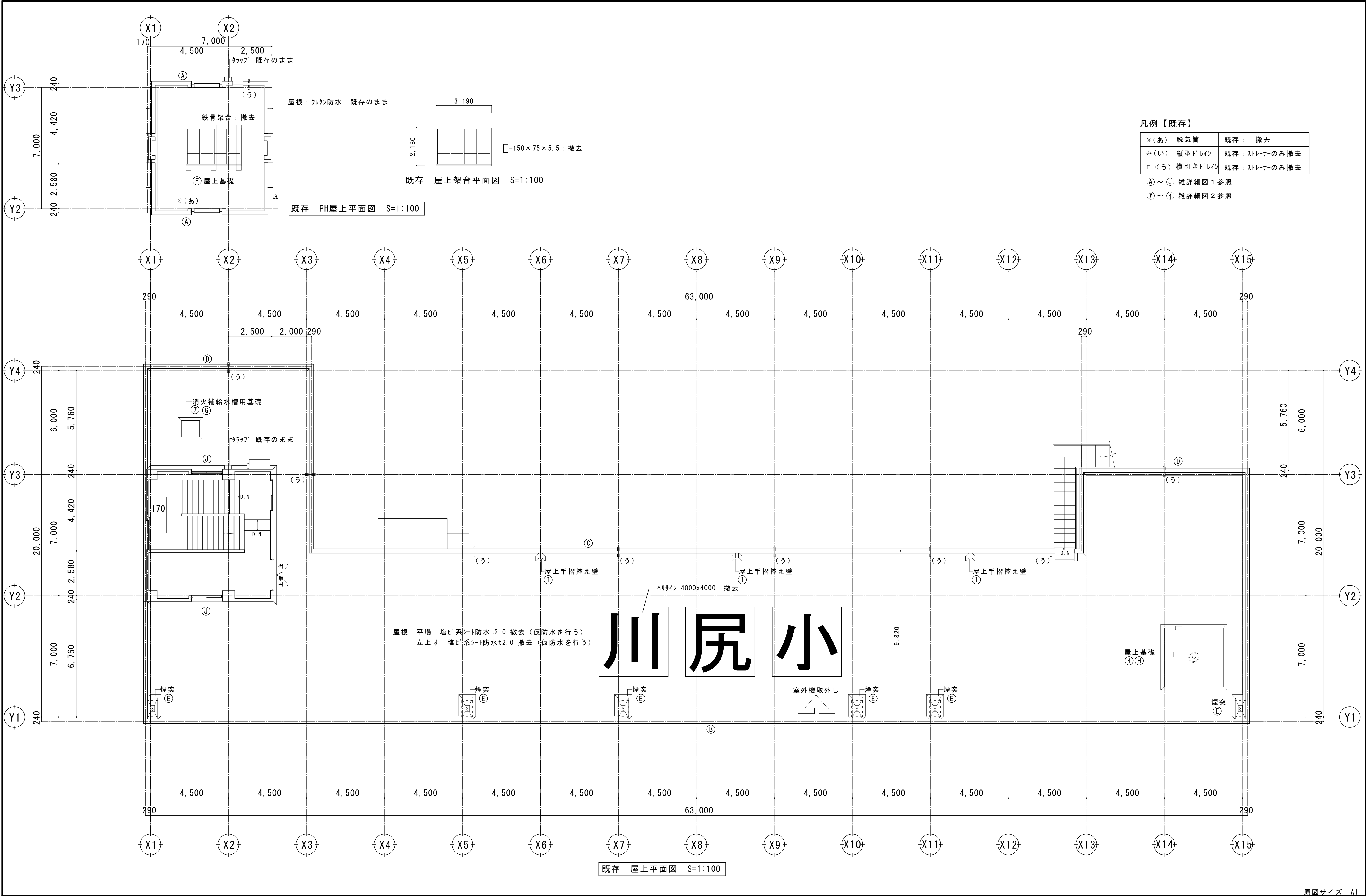
設計資格者氏名
一級建築士 大臣登録 第288653号
学校施設課 大橋 乃介

課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算

縮尺 S=N. S
S=1:500
設計年月日

図面名称
案内図・配置図・外部仕上表

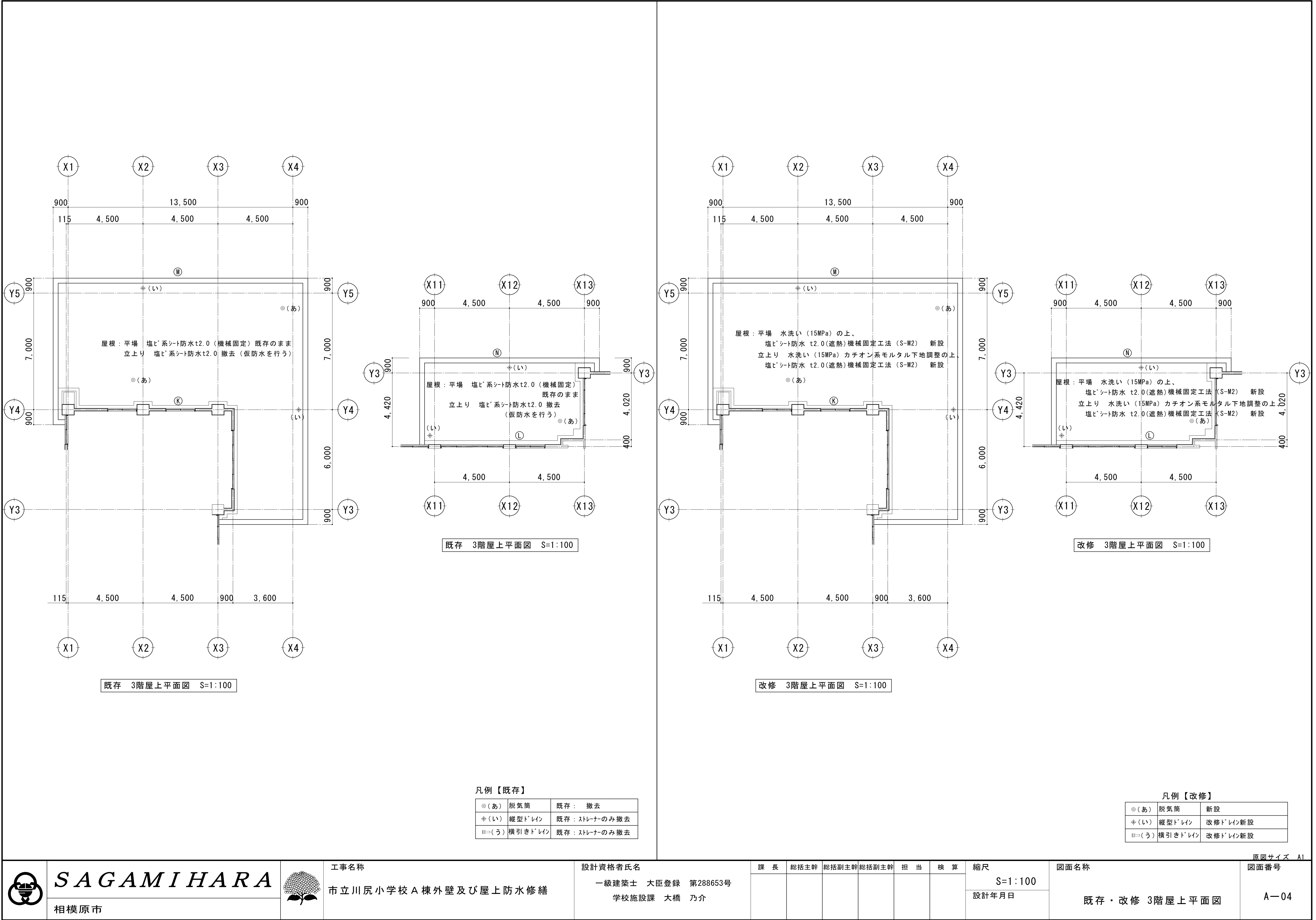
原図サイズ A1
図面番号
A-01

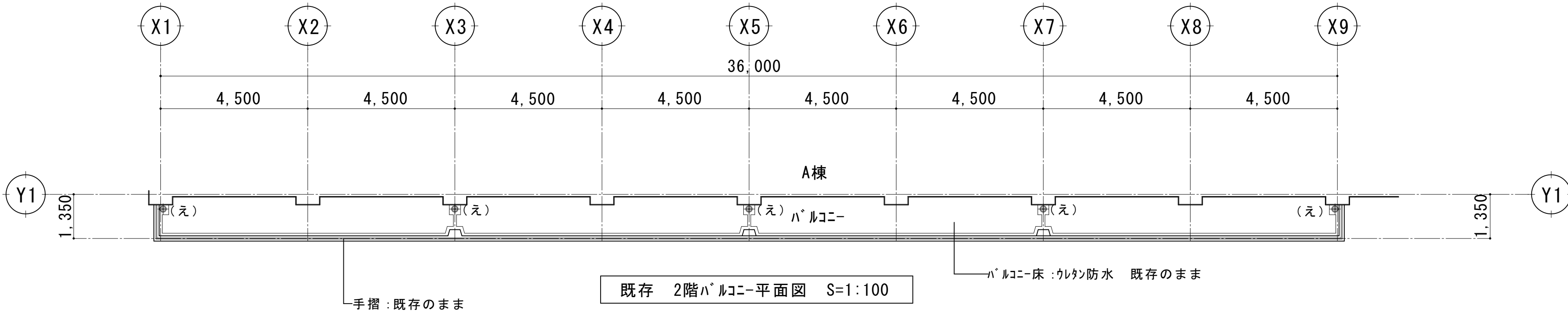
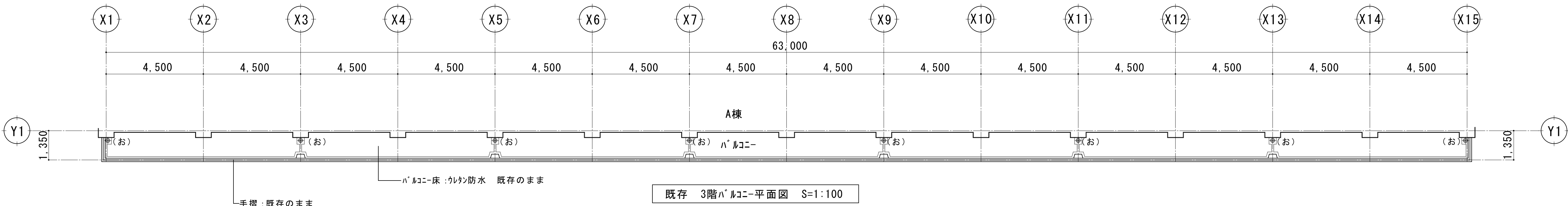


凡例【既存】

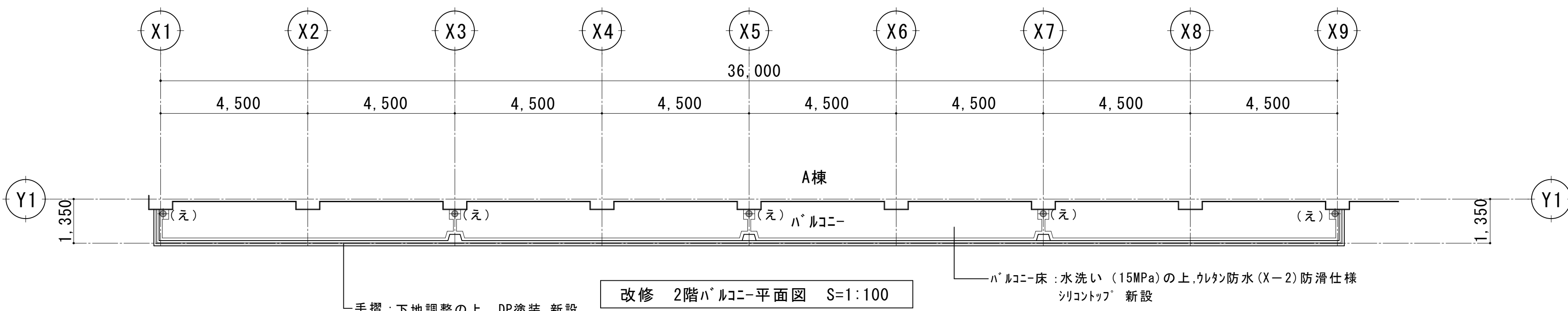
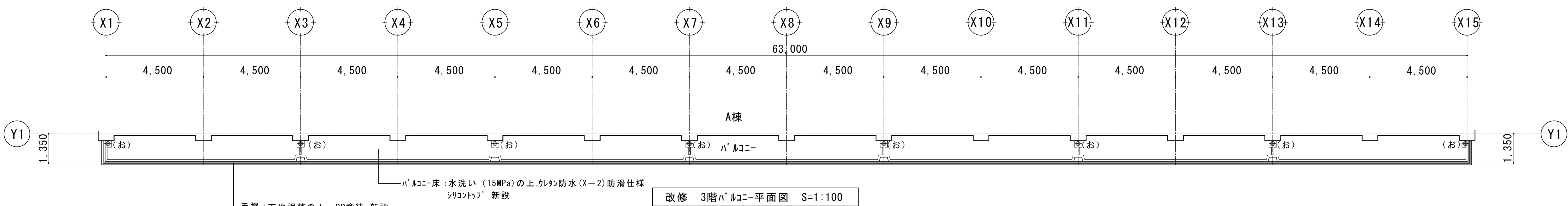
◎(あ)	脱気筒	既存：撤去
⊕(い)	縦型ドレイン	既存：ストレーナーのみ撤去
≡(う)	横引きドレイン	既存：ストレーナーのみ撤去

Ⓐ～Ⓙ 雑詳細図 1 参照
⑦～⑩ 雑詳細図 2 参照

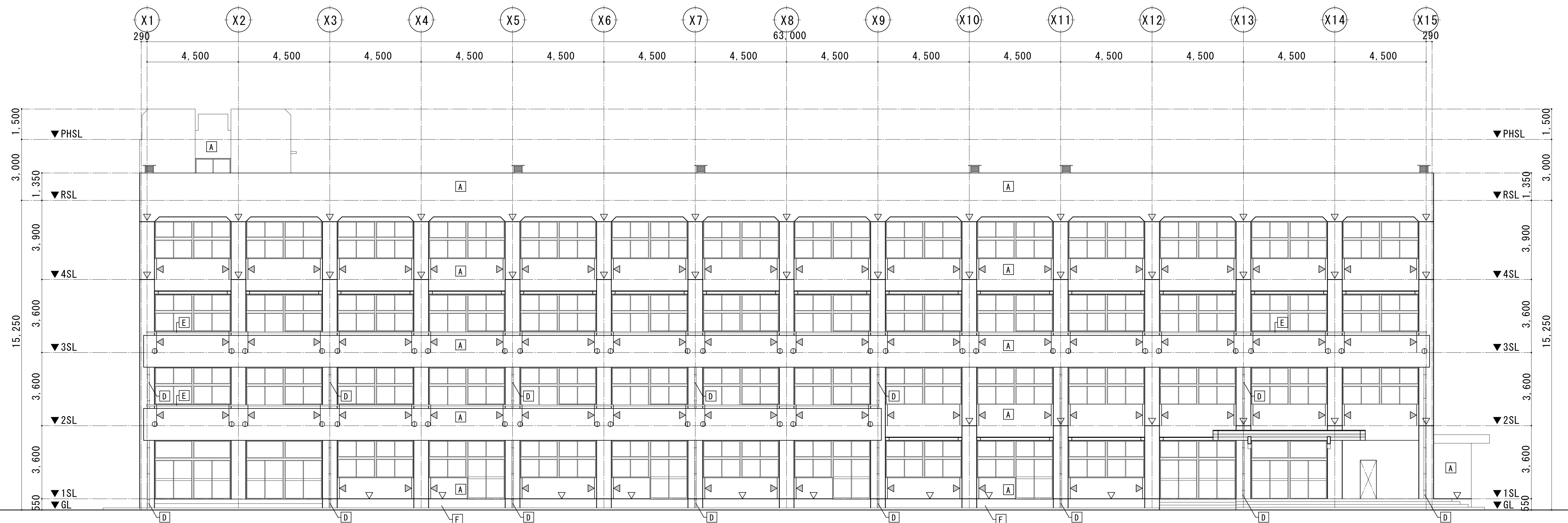




凡例【既存】		
⊕(え)	中継ドレイン	既存のまま
⊕(お)	ドレイン	既存のまま

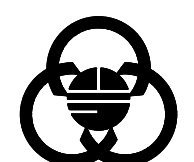


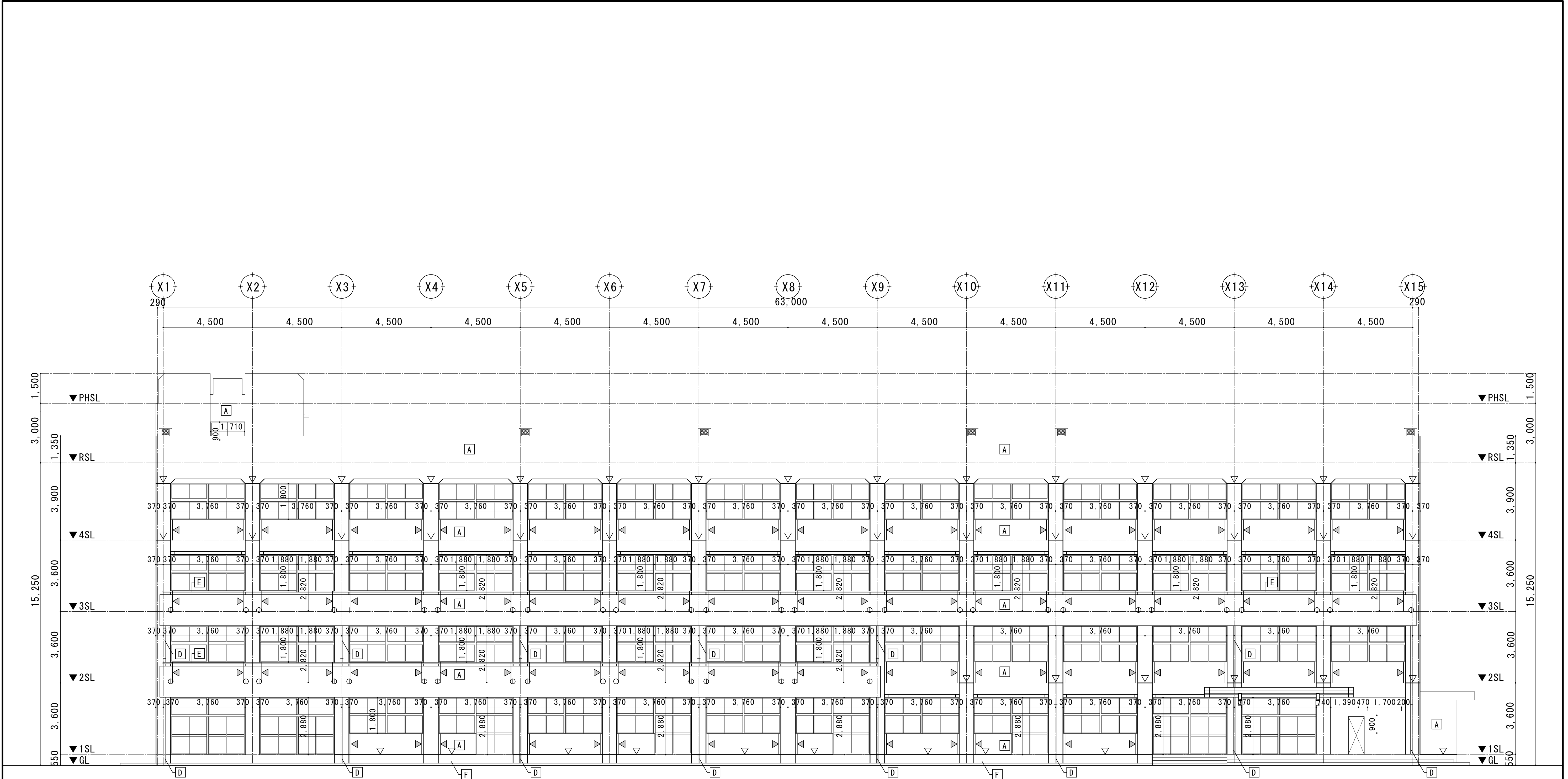
凡例【改修】		
⊕(え)	中継ドレイン	改修:下地調整の上、DP塗装 新設
⊕(お)	ドレイン	改修:下地調整の上、DP塗装 新設



▽	打継目地：20×10	撤去
◀	構造目地：30×20 (ハルコー手摺壁面記載部は 校舎本体側面を示す)	撤去

凡例【既存】		
A	外壁：モルタル下地 アクリル [®] イソリン吹付 (通気管：硬質塩化ビニル [®] VP 50φ (エポック [®] 防虫網付))	既存のまま
B	軒裏：コンクリート下地 アクリル [®] イソリン吹付	既存のまま
C	堅樋：VP φ100 (飾樹無)	撤去
D	堅樋：VP φ75 (飾樹無)	撤去
E	鉄部 OP塗	既存のまま
F	巾木：モルタル金ゴテ H=450	既存のまま
G	SD扉：鉄部 OP塗	既存のまま





改修 南側立面図 S=1:100

※外壁改修参考数量表（改修範囲全て）

改修内容	想定数量	改修工法	改修内容	想定数量	改修工法
クラック補修	157	m	W=0.2mm以上 Uカドシリング材充填工法 樹脂モルタル仕上げ	115	箇所
モルタル浮き剥き樹脂注入	561	穴	アンカーボルトシリング工法 φ5 L=50	49	箇所
モルタル浮き剥き樹脂注入	449	穴	ピン無し	5	箇所
爆裂欠損補修 50×50×30	181	箇所	樹脂モルタル充填	6	箇所
爆裂欠損補修 100×100×30	51	箇所	剥離剤併用手工具ケレン工法(石綿含有仕上塗材)	23	m
爆裂欠損補修 200×200×30	29	箇所	塗膜剥離補修		
爆裂欠損補修 100×500×30	17	箇所			

※数量及び工法は参考とする。
※外壁足場設置後、水洗いの上調査を行い、報告書を作成すること。
※監督員と協議を行い、補修箇所、数量及び工法を決定すること。
また、補修が必要な部分にマーキングを行うこと。
※外壁にはアスベストが含有しているため、サッシ、床の養生（ポリシート0.15mm、マスカテープ）を行い、適切に処理を行った上、補修を行うこと。

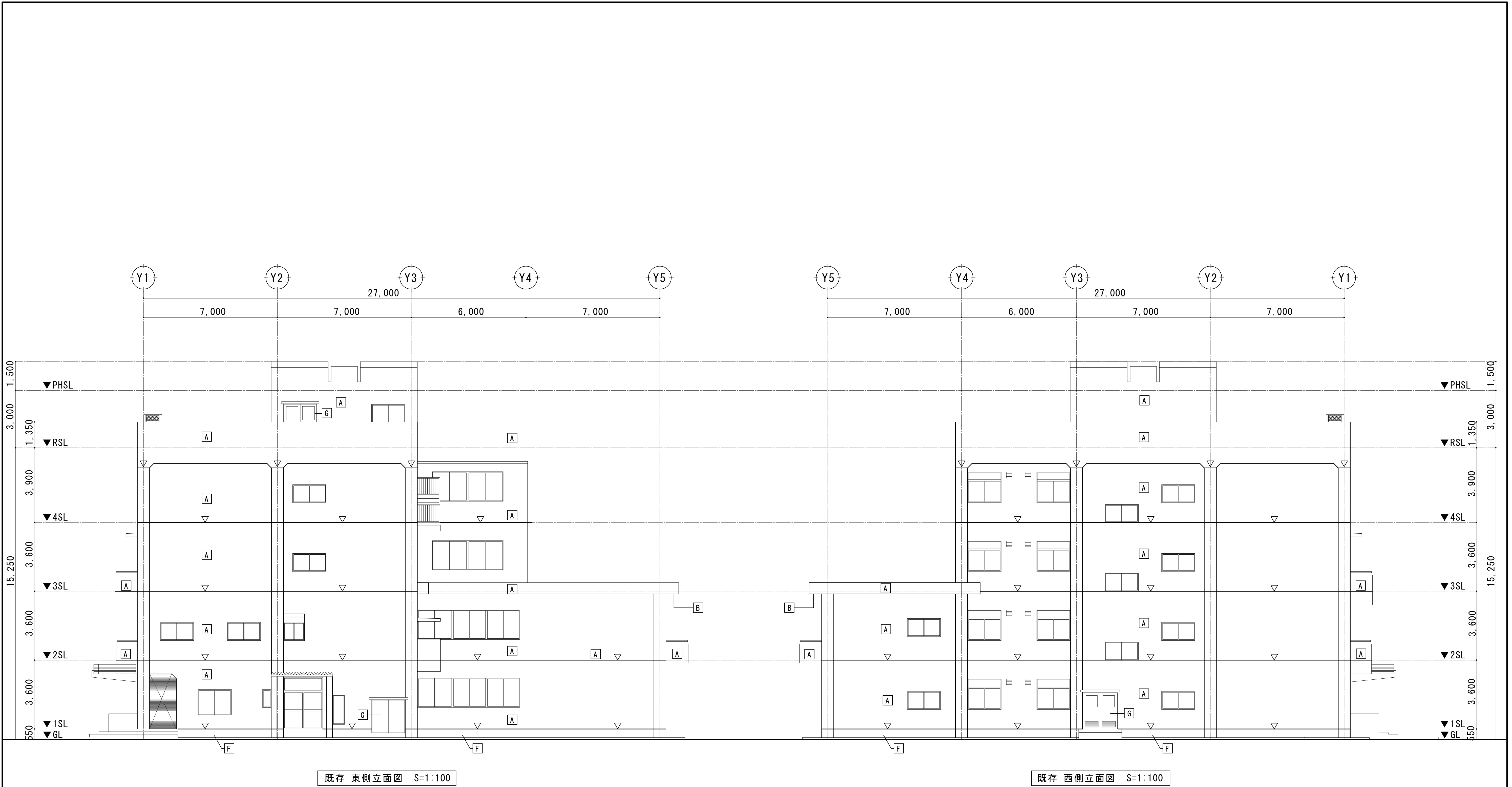
凡例【改修】

▽	打継目地：20×10 PU-2	新設
◀	構造物目地：30×20 PU-2 (ハルコニ-手摺壁面記載部は 校舎本体側面を示す)	新設

*サッシ周り及び皿板部シリング MS-2：新設

凡例【改修】

A	外壁：水洗い(15MPa)、下地調整材(C-2)の上防水形複層塗材E (通気管：硬質塩化ビニルφ7 VP50φ(ILK)防虫網付)塗装も含む	新設
B	軒裏：水洗い(15MPa)、下地調整材(C-1)の上、外装薄塗材E	新設
C	縦樋：VPφ100(SUS支持金物φ1200、落下防止バンド)共	新設
D	縦樋：VPφ75(SUS支持金物φ1200、落下防止バンド)共	新設
E	鉄部：下地調整の上、DP塗装	新設
F	巾木：フィラ-補修(C-2) H=450	新設
G	SD扉：下地調整の上、DP塗装 (扉外部面のみ)	新設



凡例【既存】

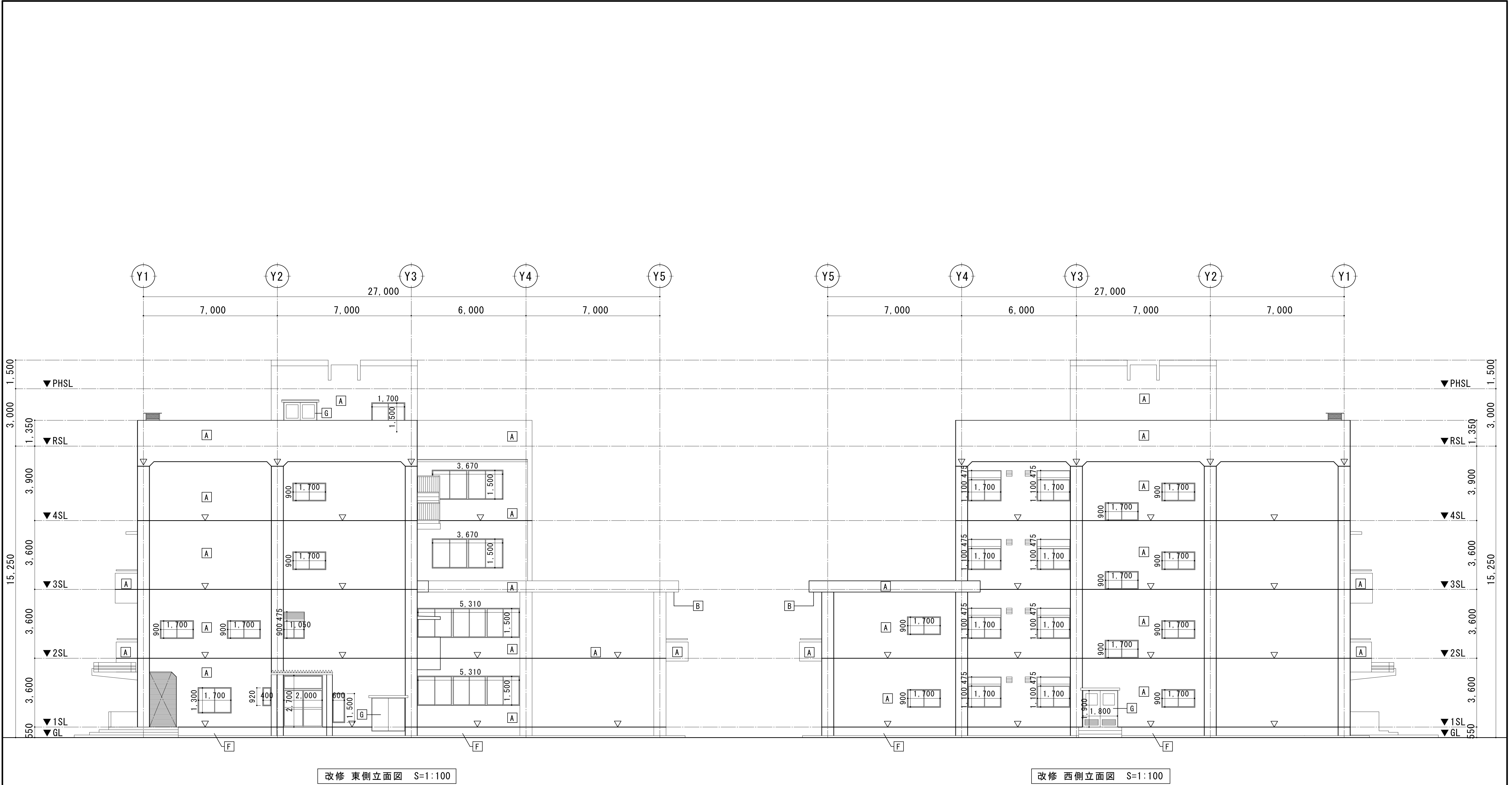
	打継目地：20×10	撤去
--	------------	----

* サッシ周り及び皿板部シーリング：撤去

凡例【既存】

A	外壁：モルタル下地アクリル樹脂イタリシ吹付 (通気管：硬質塩化ビニル47VP50φ(エルキ防虫網付))	既存のまま
B	軒裏：コンクリート下地アクリル樹脂イタリシ吹付	既存のまま
C	縦樋：VPφ100(飾樹無)	撤去
D	縦樋：VPφ75(飾樹無)	撤去
E	鉄部 OP塗	既存のまま
F	巾木：モルタル金コシ H=450	既存のまま
G	SD扉：鉄部 OP塗	既存のまま

原図サイズ A1



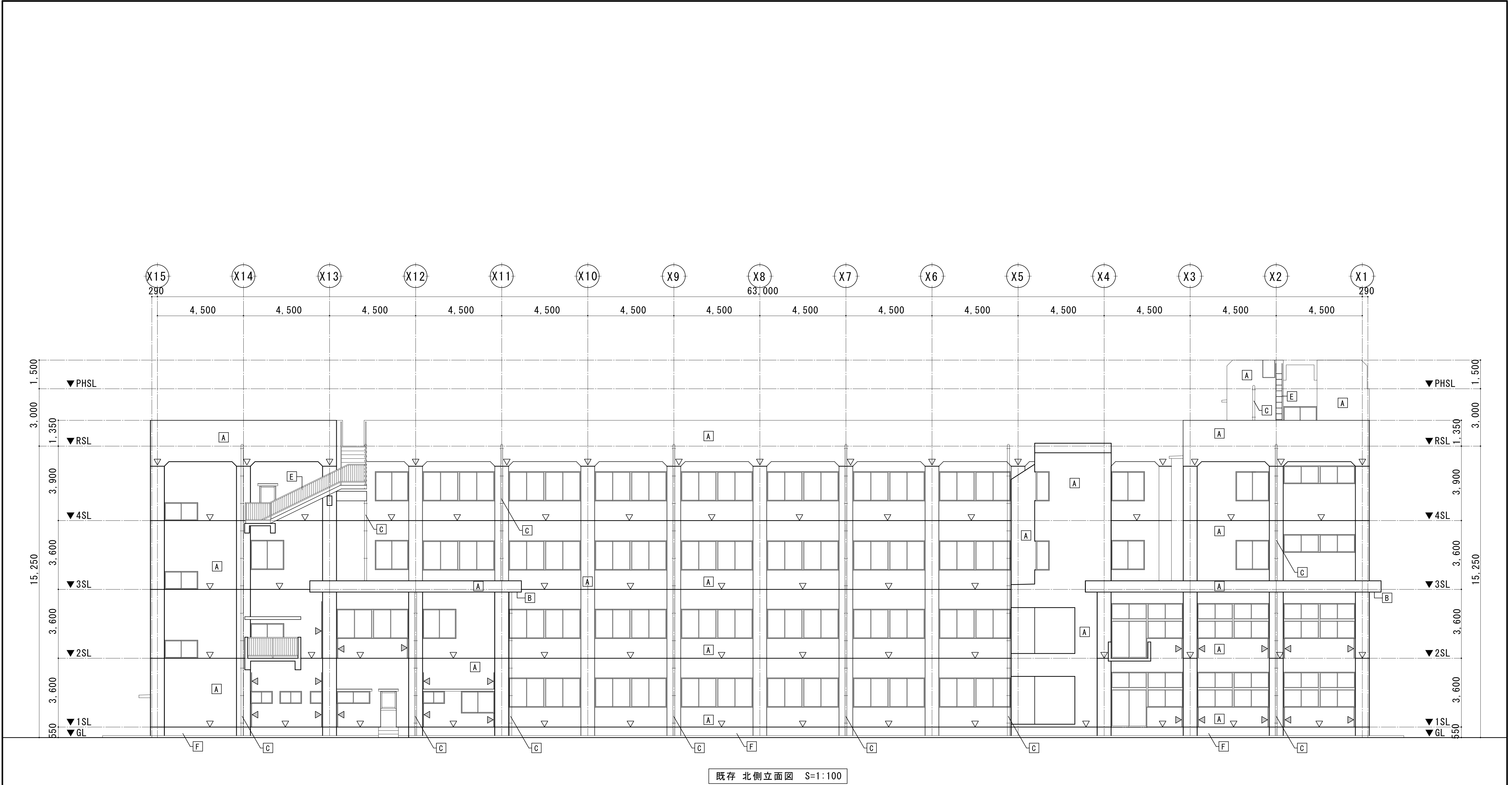
凡例【改修】

▽	打継目地：20×10 PU-2	新設
---	-----------------	----

*サッシ周り及び血板部シーリング MS-2：新設

凡例【改修】

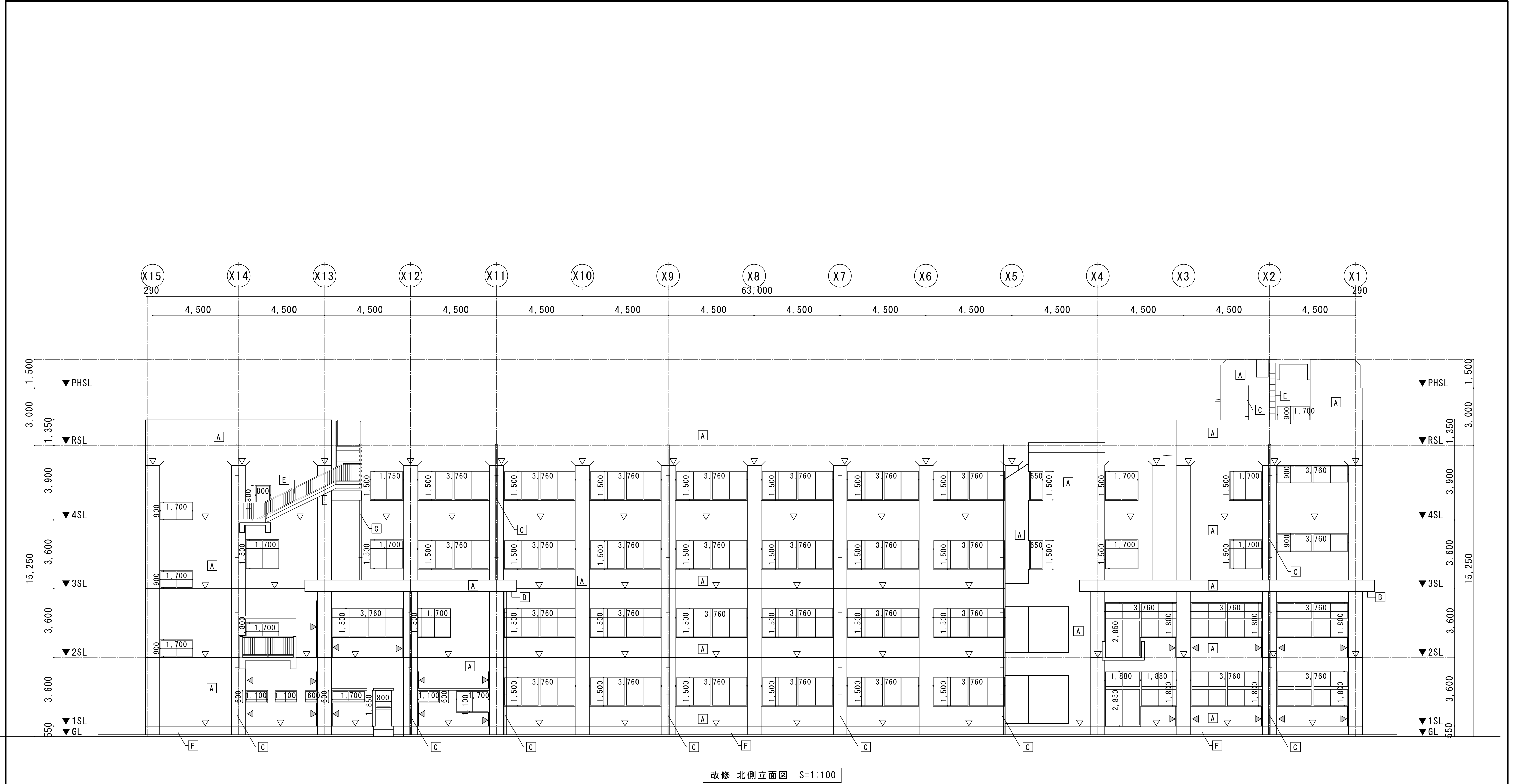
A	外壁：水洗い(15MPa)、下地調整材(C-2)の上防水形複層塗材E (通気管：硬質塩化ビニルパイプVP50φ(エルブ防虫網付)塗装も含む)	新設
B	軒裏：水洗い(15MPa)、下地調整材(C-1)の上、外装薄塗材E	新設
C	縦樋：VPφ100(SUS支持金物@1200、落下防止バンド共)	新設
D	縦樋：VPφ75(SUS支持金物@1200、落下防止バンド共)	新設
E	鉄部：下地調整の上、DP塗装	新設
F	巾木：フィラー補修(C-2) H=450	新設
G	SD扉：下地調整の上、DP塗装 (扉外部面のみ)	新設



凡例【既存】		
	打継目地：20×10	撤去
	構造目地：30×20 (バルコニー手摺壁面記載部は 校舎本体側面を示す)	撤去

* サッシ周り及び皿板部シーリング：撤去

凡例【既存】		
A	外壁：モルタル下地アクリルダ イリシ吹付 (通気管：硬質塩化ビニルパイプ VP50φ (エマル 防虫網付))	既存のまま
B	軒裏：コンクリート下地アクリルダ イリシ吹付	既存のまま
C	縦樋：VPφ100 (飾樹無)	撤去
D	縦樋：VPφ75 (飾樹無)	撤去
E	鉄部 OP塗	既存のまま
F	巾木：モルタル金コテ H=450	既存のまま
G	SD扉：鉄部 OP塗	既存のまま



凡例【改修】

▽	打継目地：20×10 PU-2	新設
◀	構造目地：30×20 PU-2 (バルコニー手摺壁面記載部は 校舎本体側面を示す)	新設

* サッシ周り及び血板部シーリング MS-2：新設

凡例【改修】

A	外壁：水洗い(15MPa)、下地調整材(C-2)の上防水形複層塗材E (通気管：硬質塩化ビニル47VP50φ(エルキ防虫網付)塗装も含む)	新設
B	軒裏：水洗い(15MPa)、下地調整材(C-1)の上、外装薄塗材E	新設
C	縦樋：VPφ100(SUS支持金物@1200、落下防止バンド共)	新設
D	縦樋：VPφ75(SUS支持金物@1200、落下防止バンド共)	新設
E	鉄部：下地調整の上、DP塗装	新設
F	巾木：フィラ補修(C-2) H=450	新設
G	SD扉：下地調整の上、DP塗装(扉外部面のみ)	新設



凡例【既存】



工事名称

市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕

設計資格者氏名

一級建築士 大臣登録 第288653号
学校施設課 大橋 乃介

課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算

縮尺

S=1:30

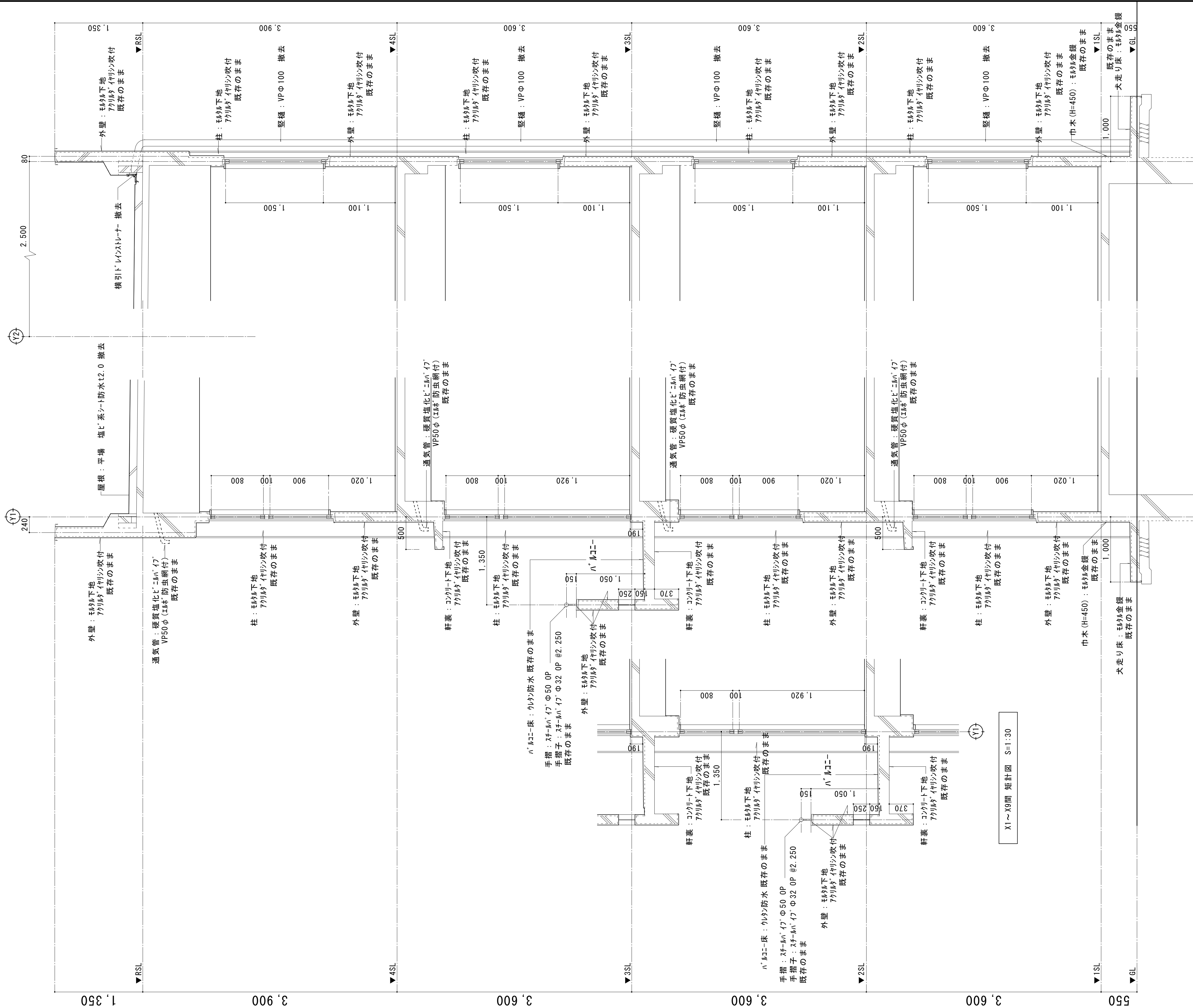
設計年月日

図面名称

既存 矩計図

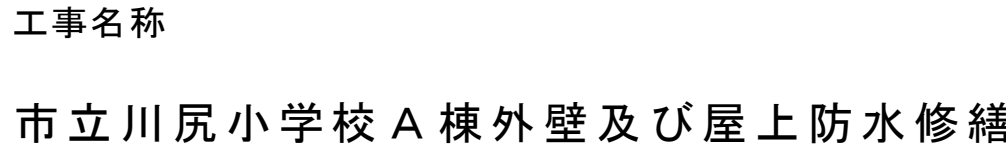
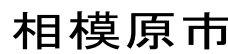
図面番号

A-13



既存 矩計図 S=1:30

原図サイズ A1



設計資格者氏名
一級建築士 大臣登録 第288653号
学校施設課 大橋 乃介

縮尺
S=1:30

設計年月日

図面名称

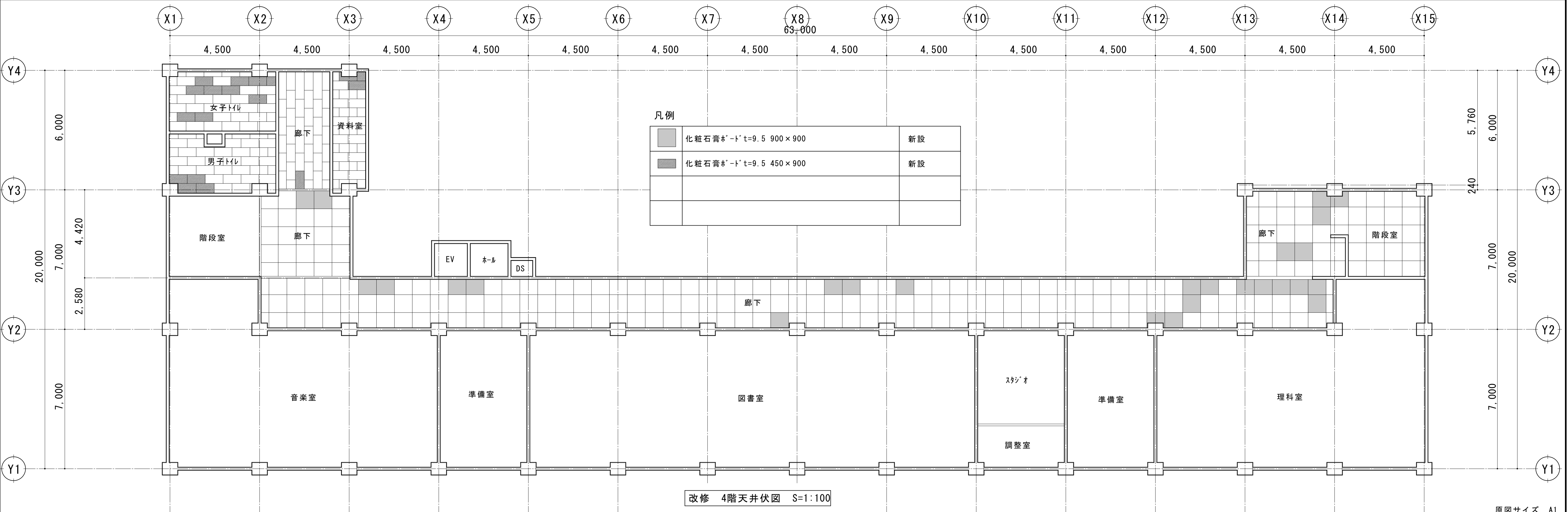
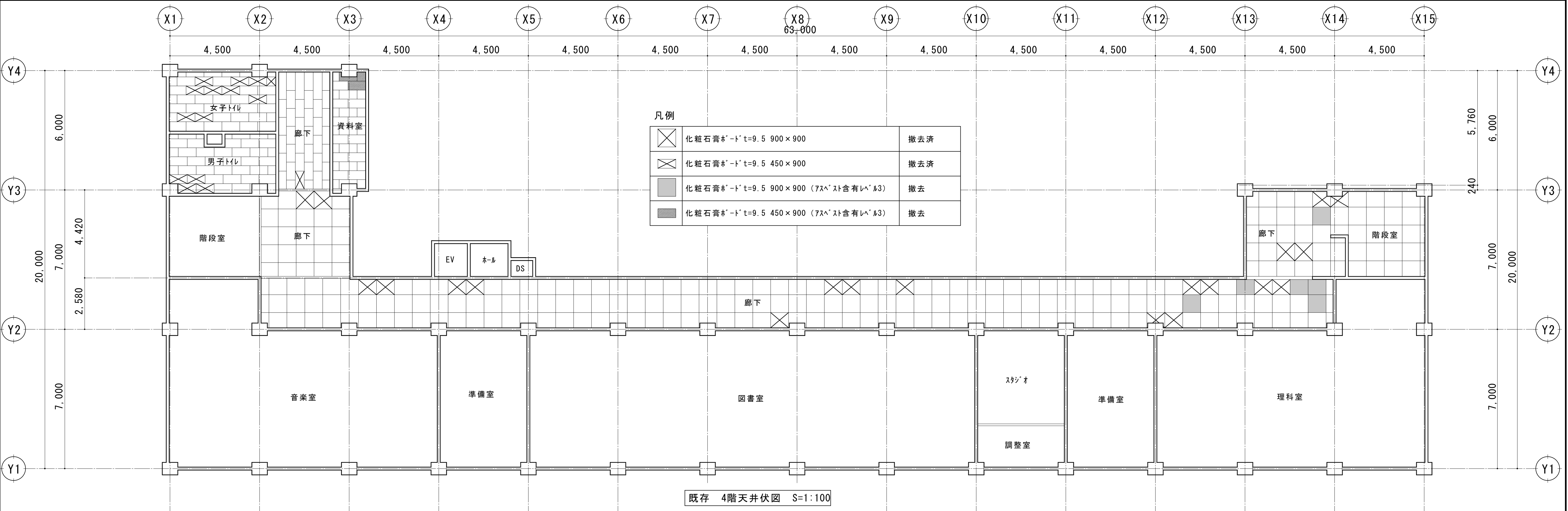
改修 矩計図

図面番号

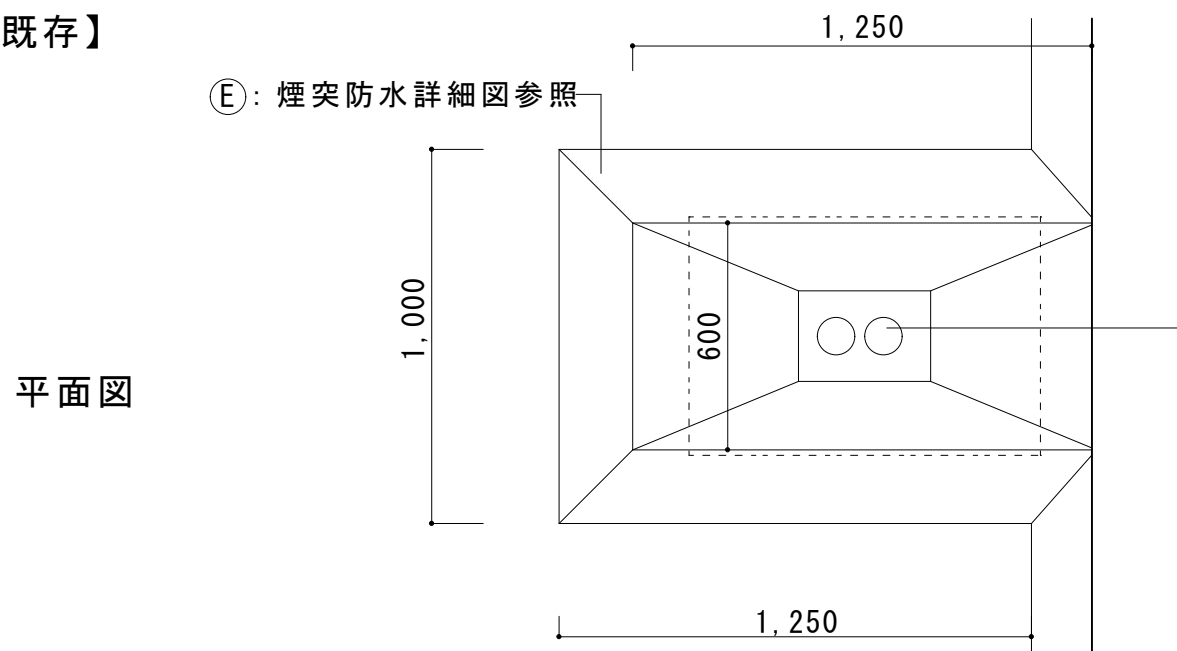
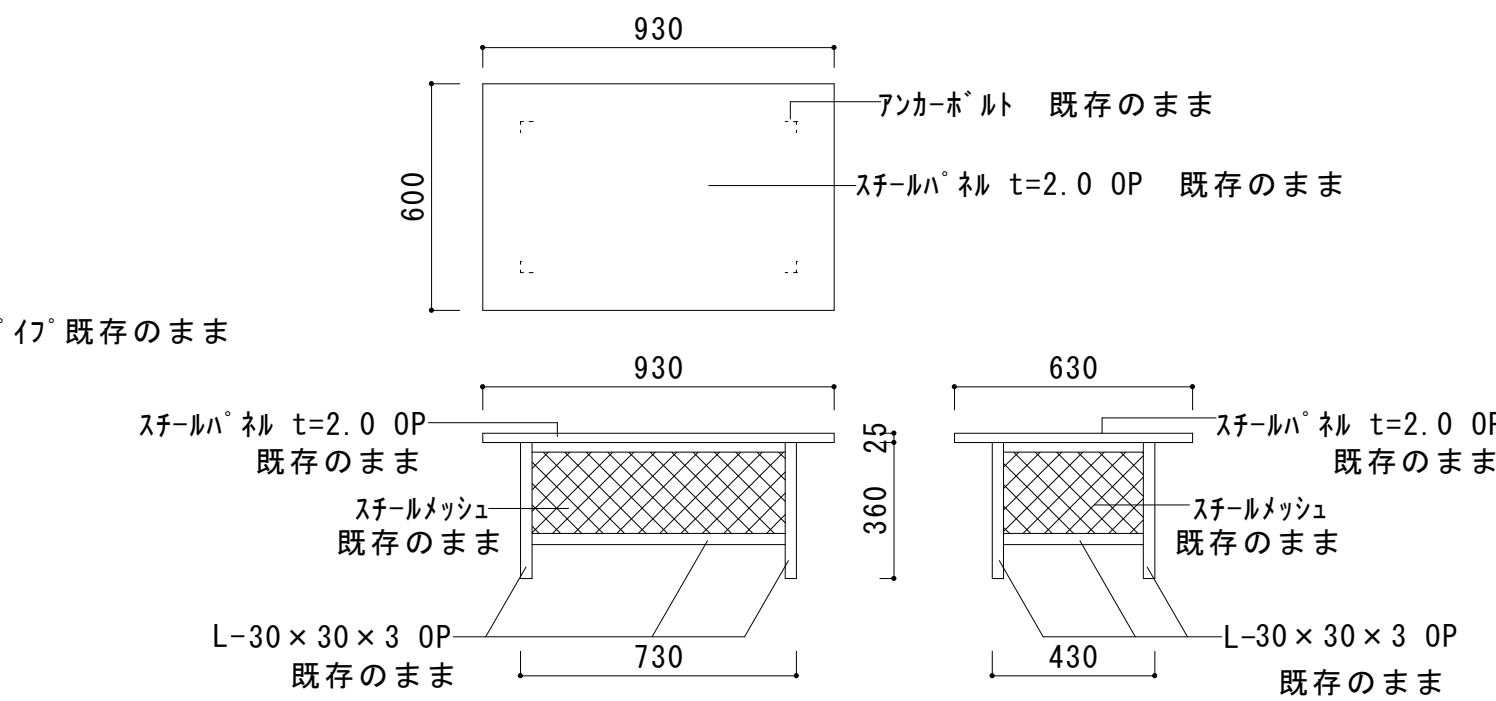
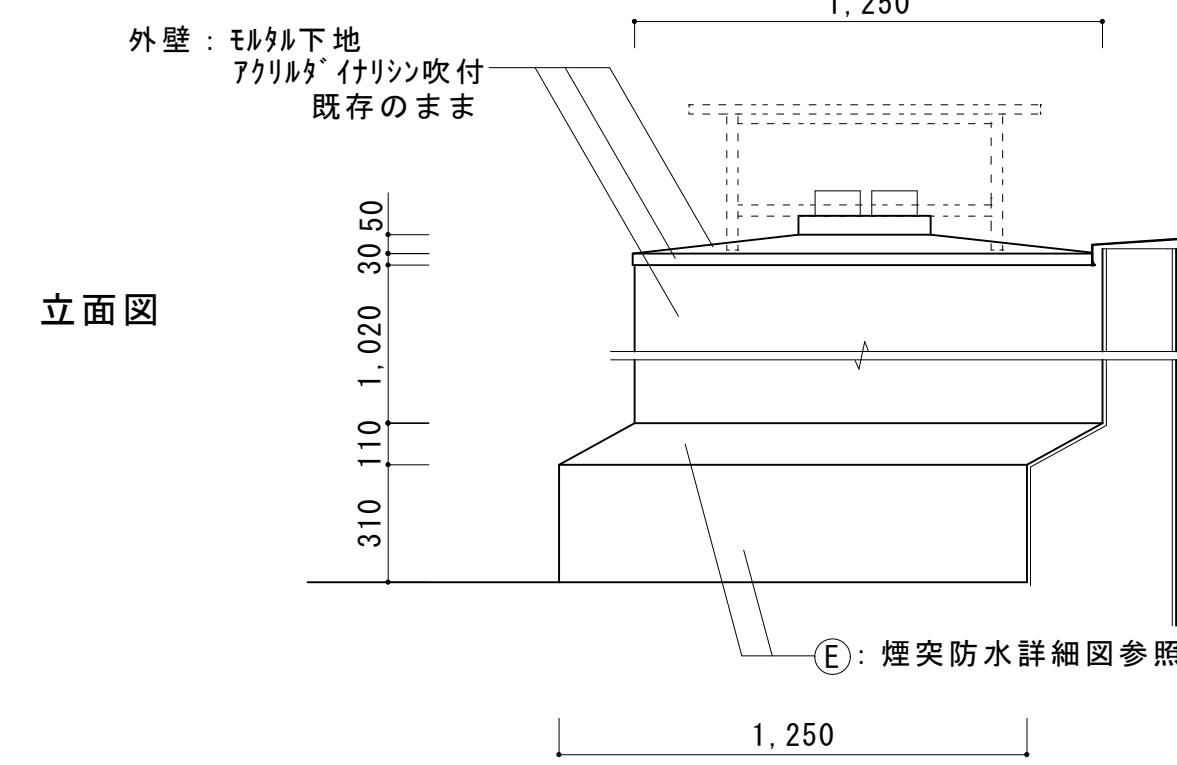
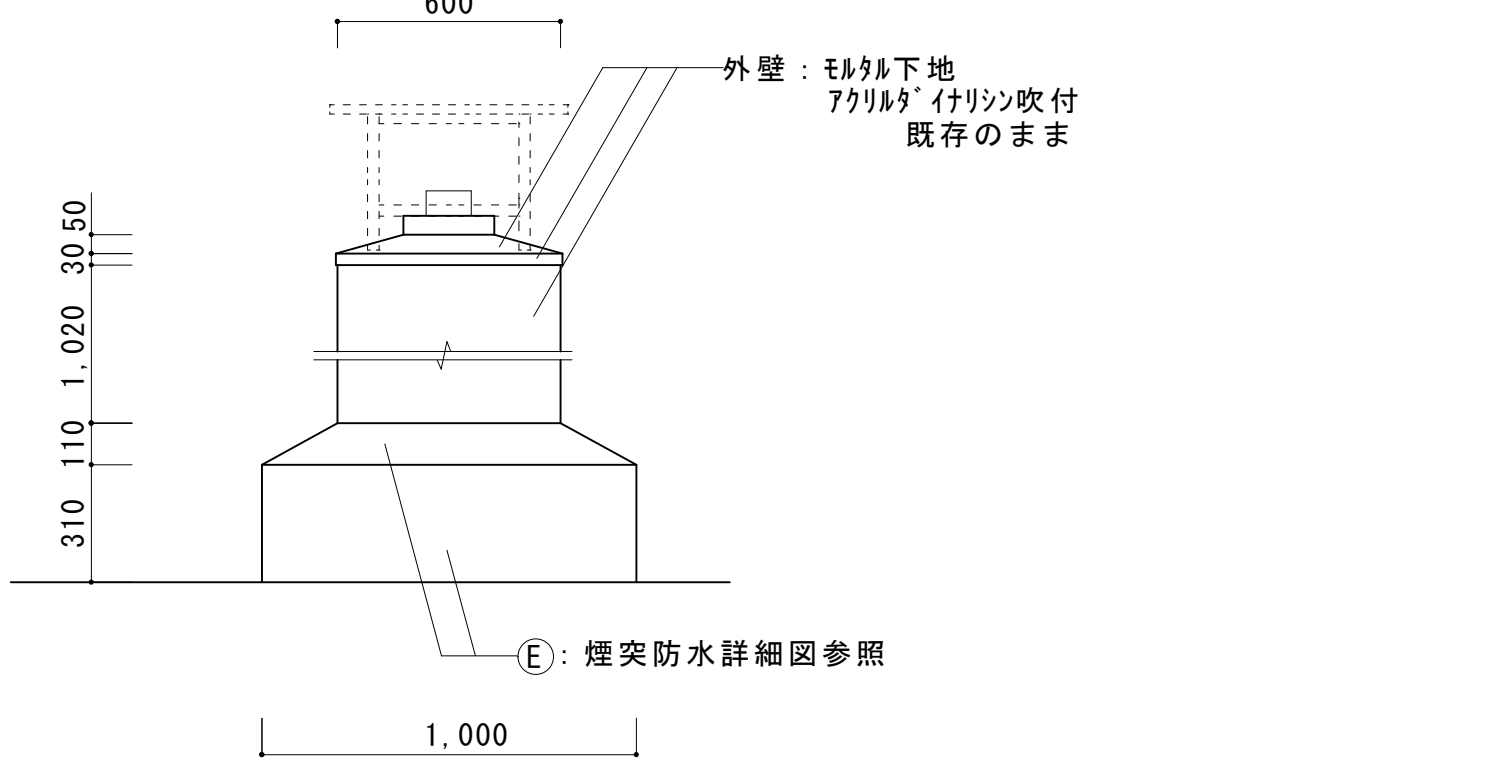
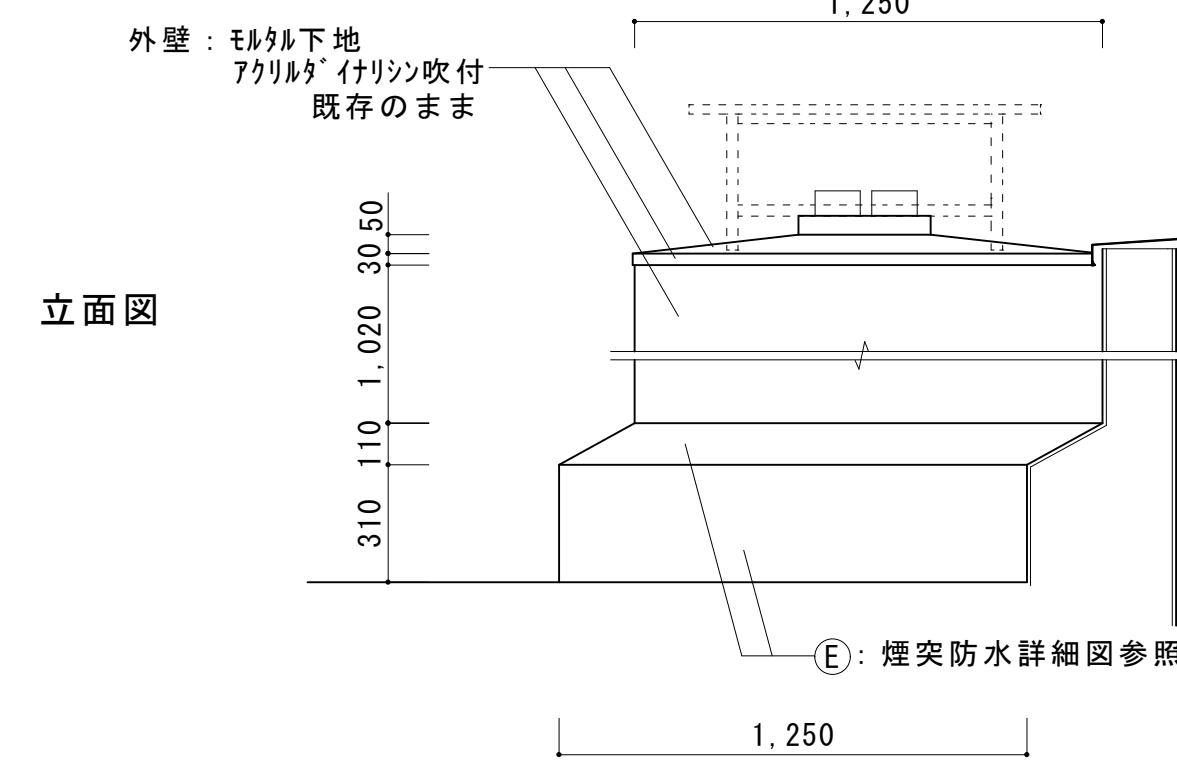
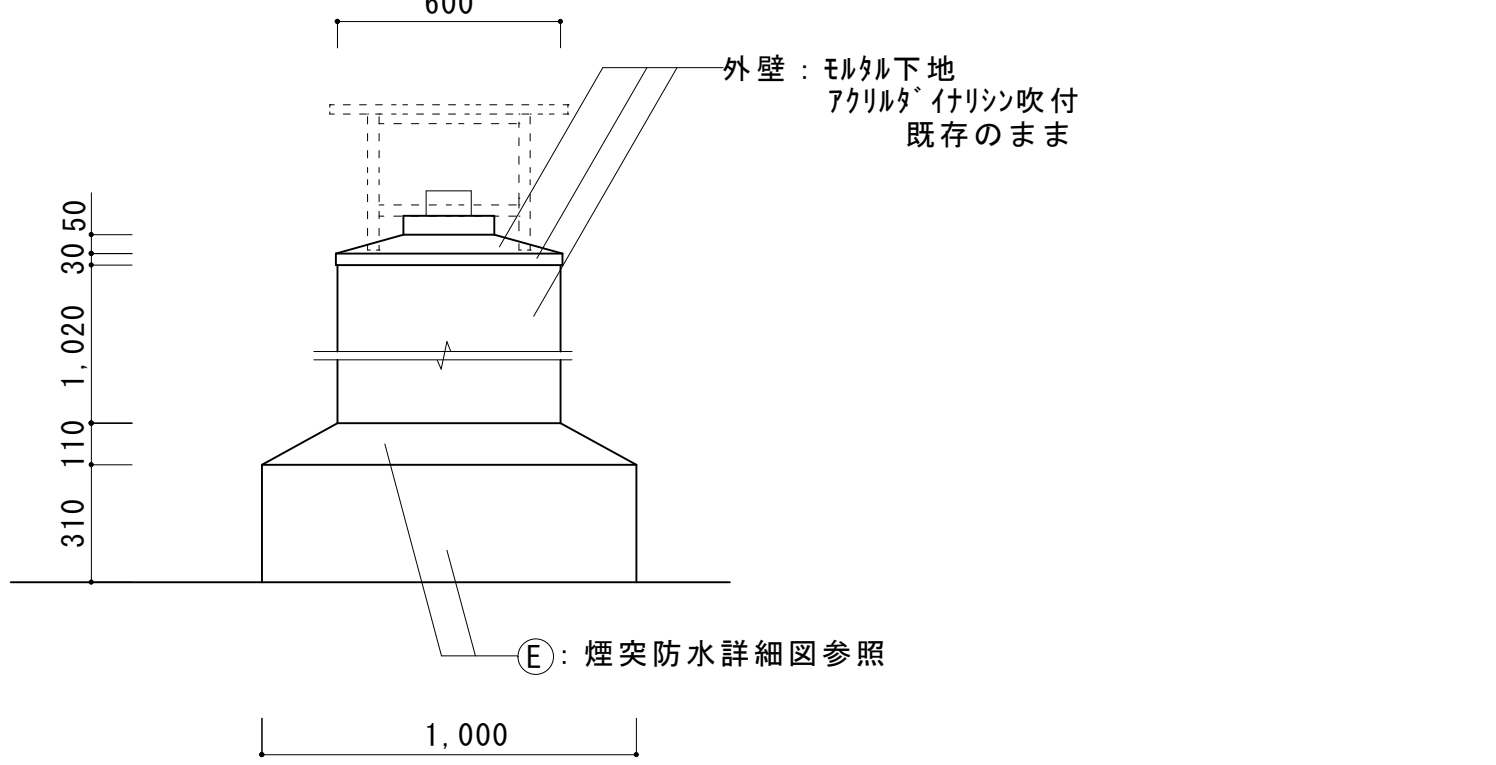
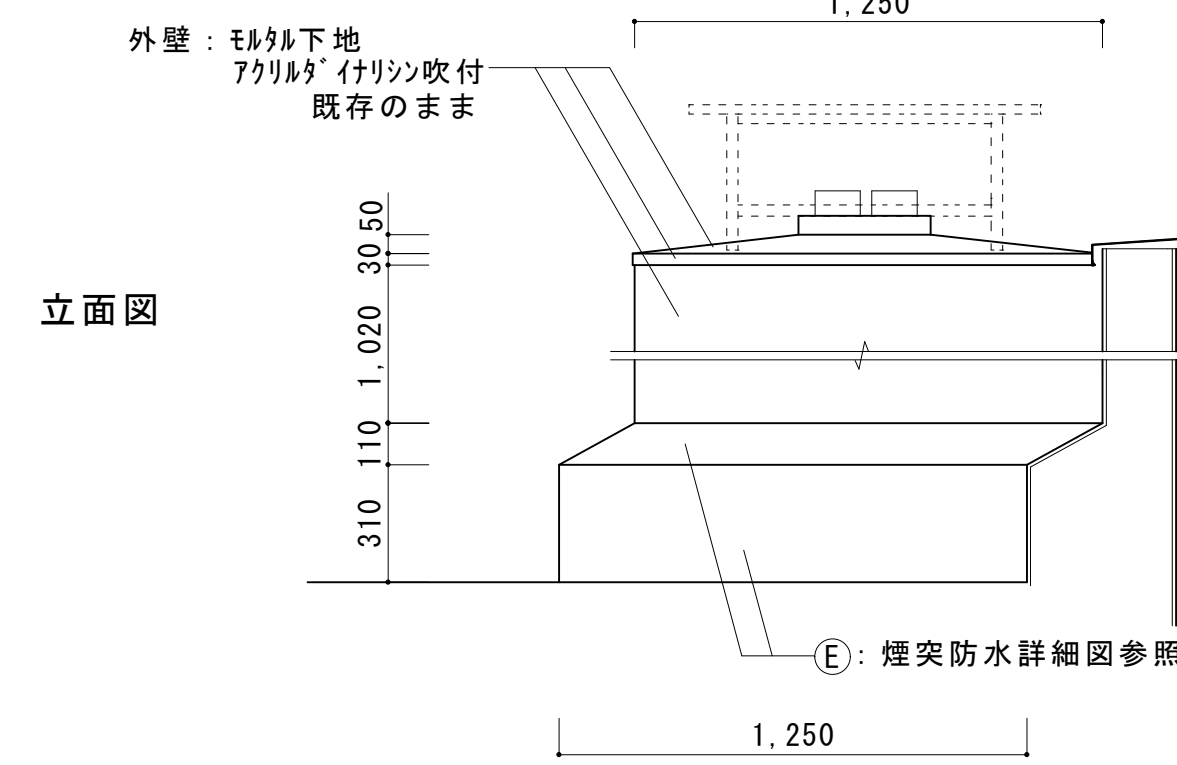
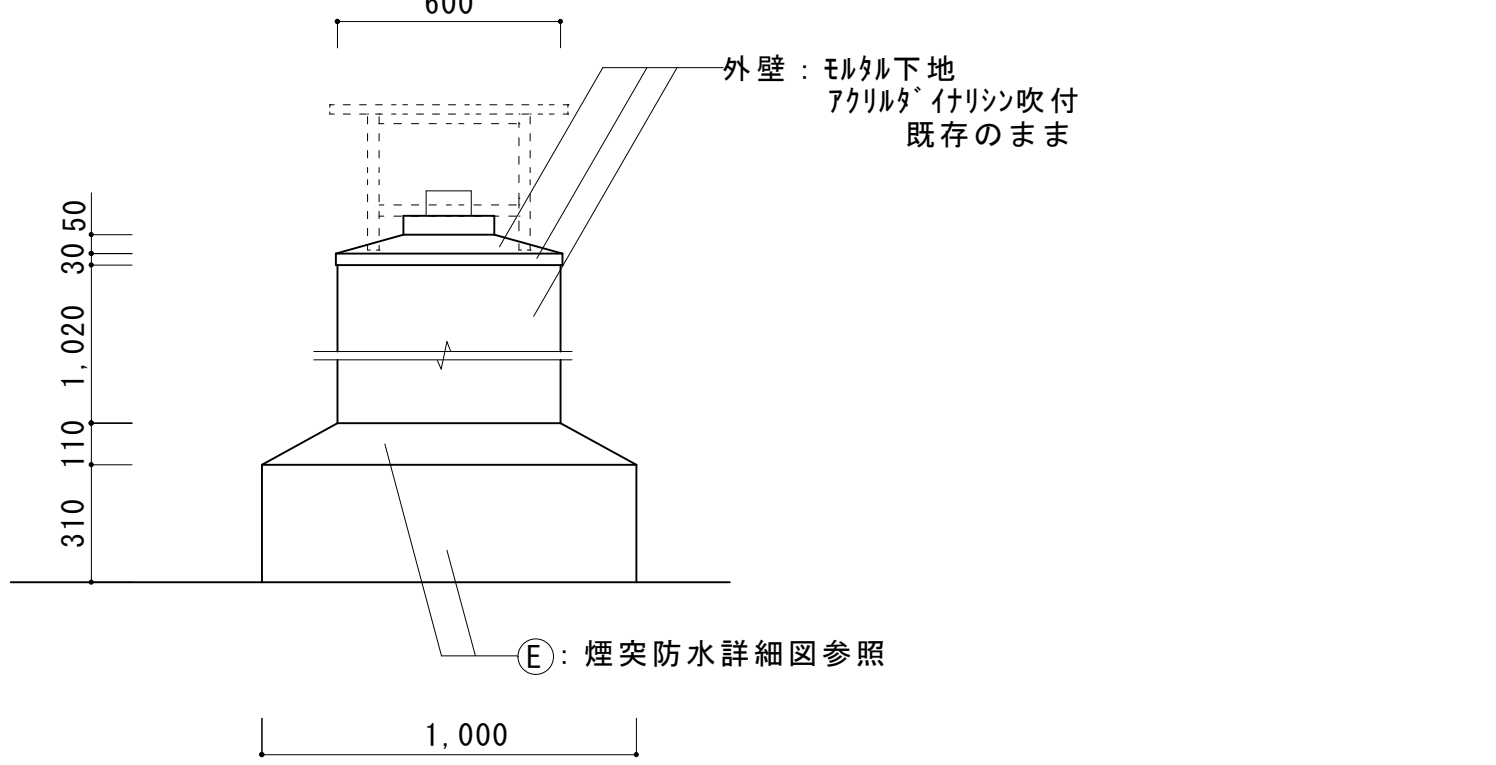
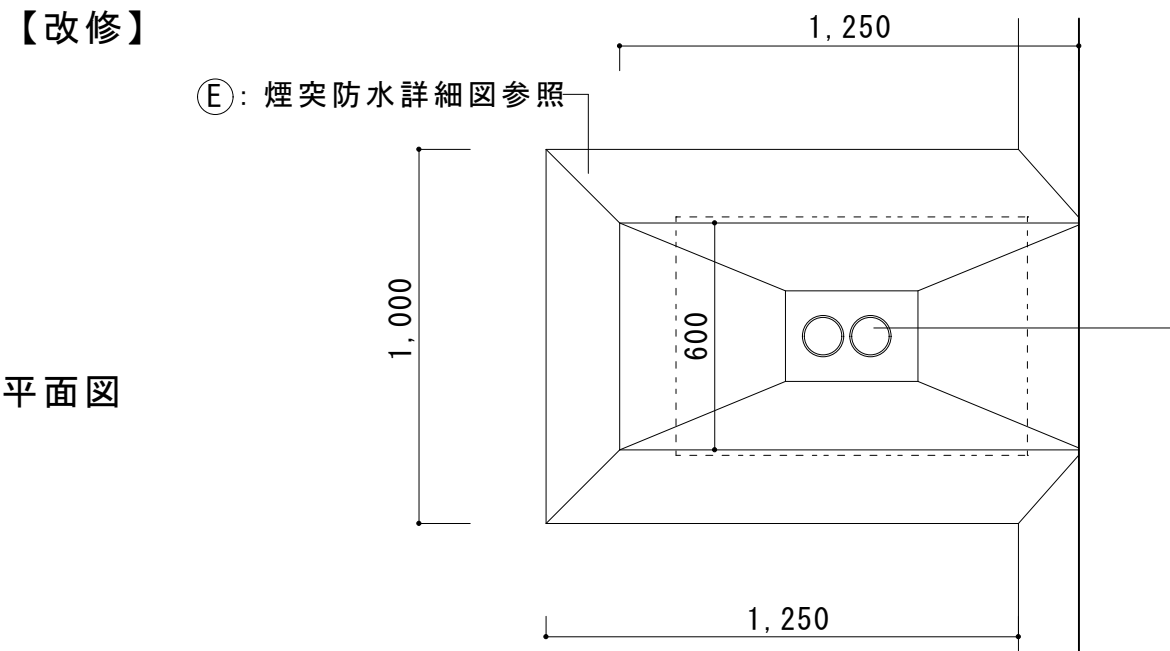
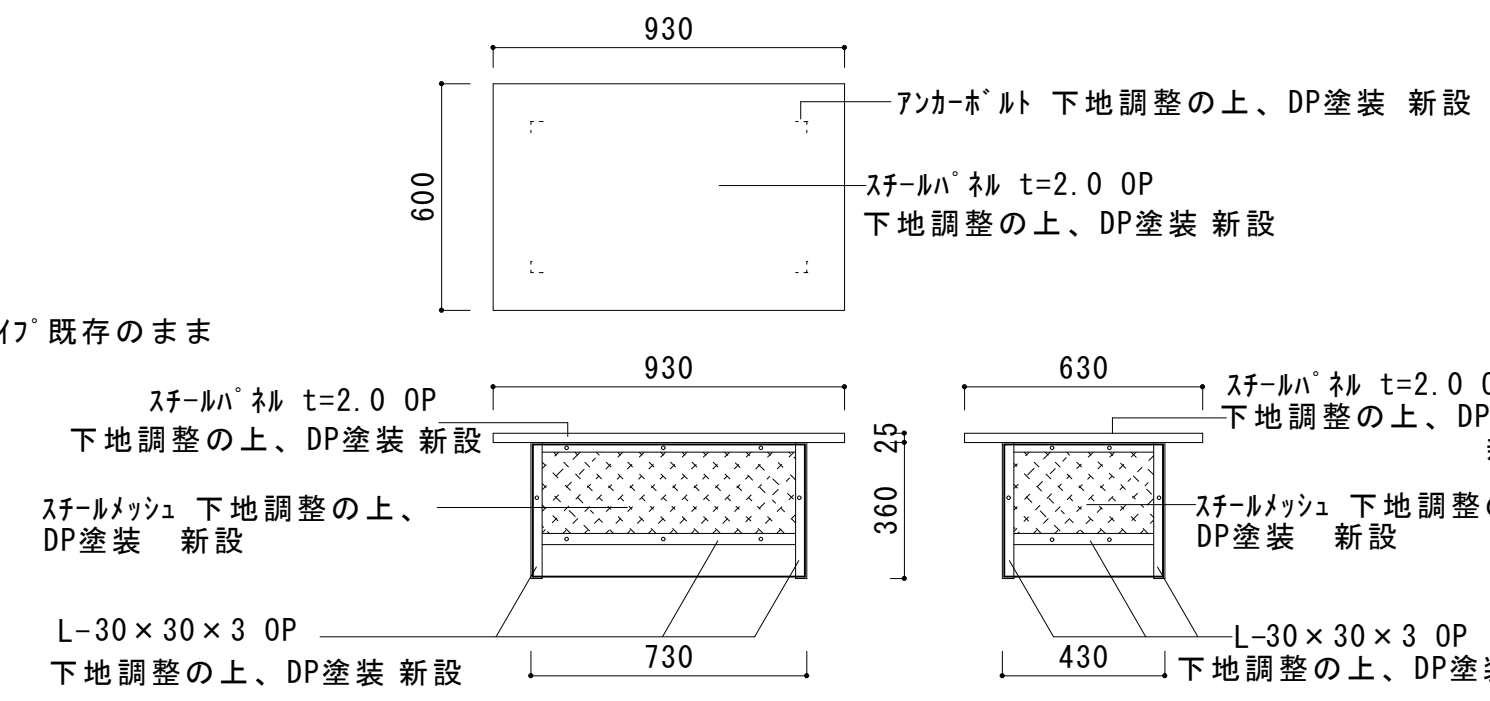
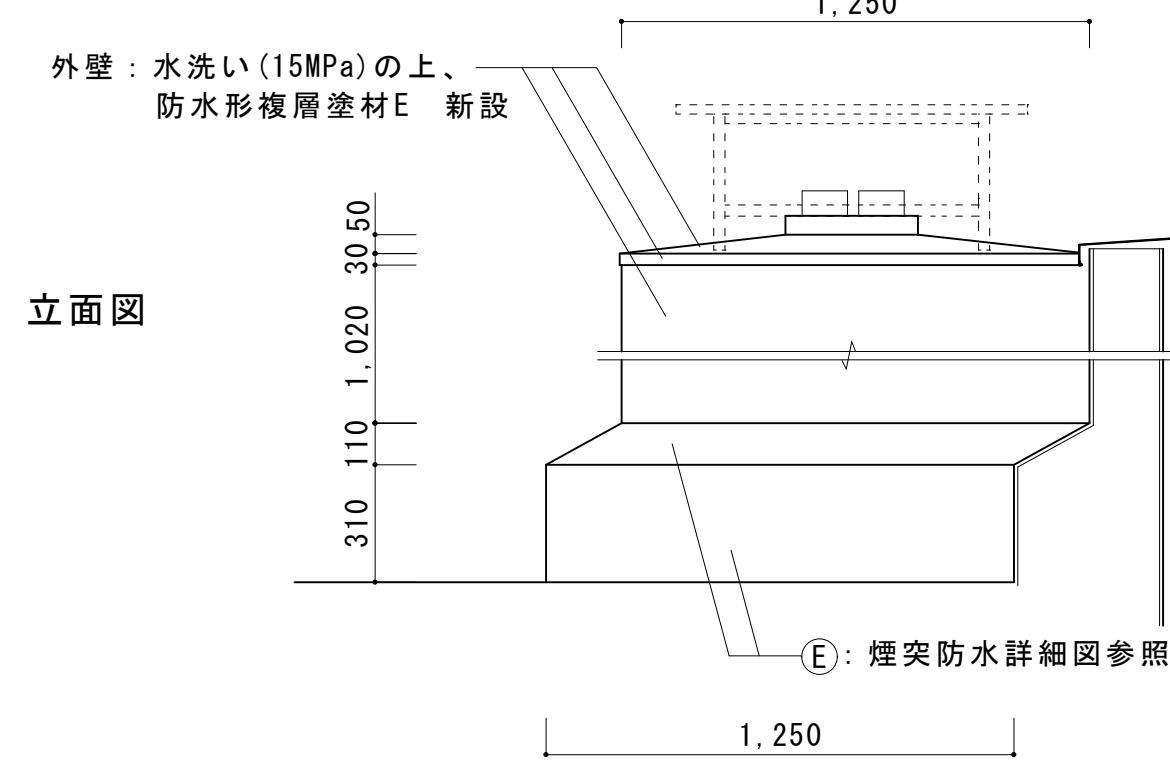
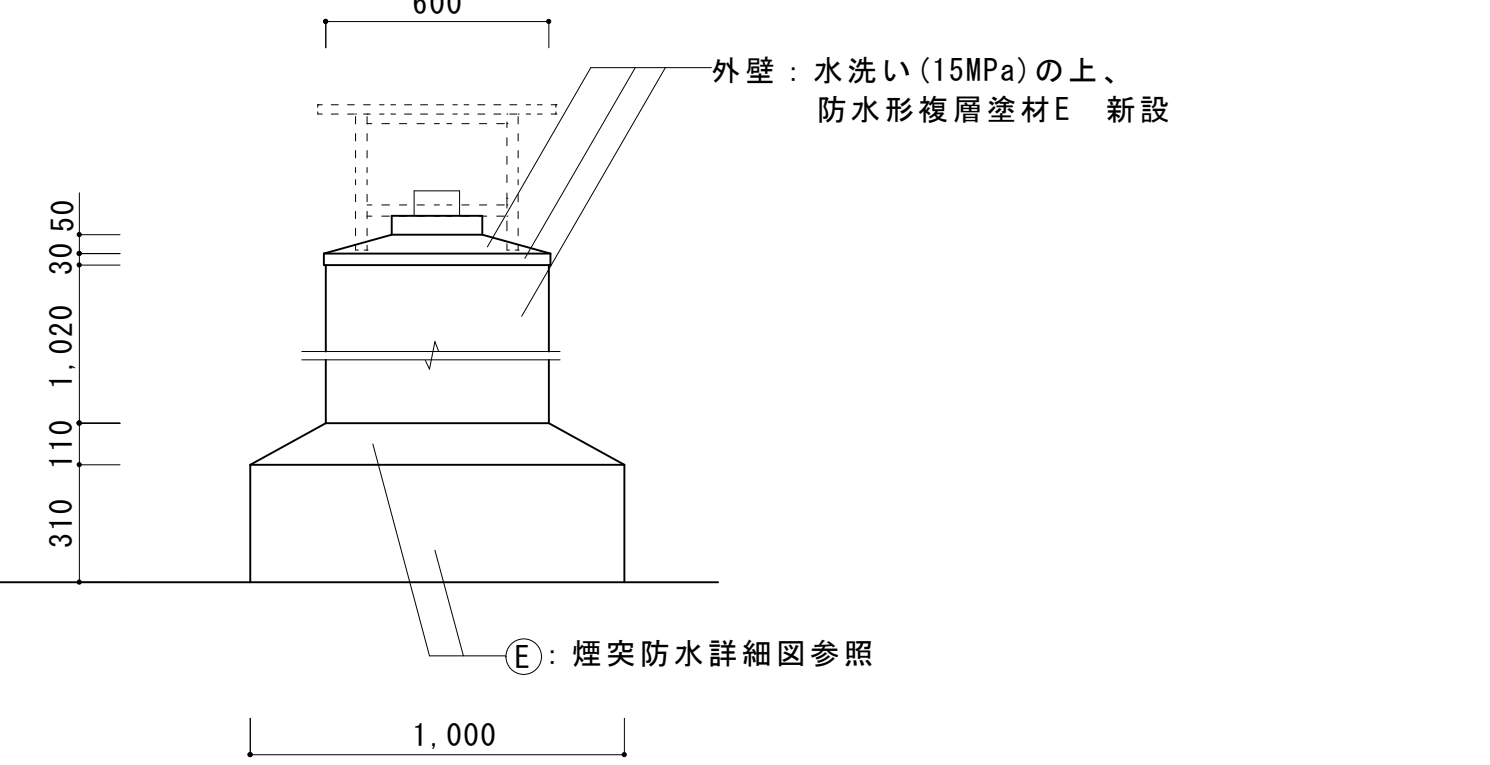
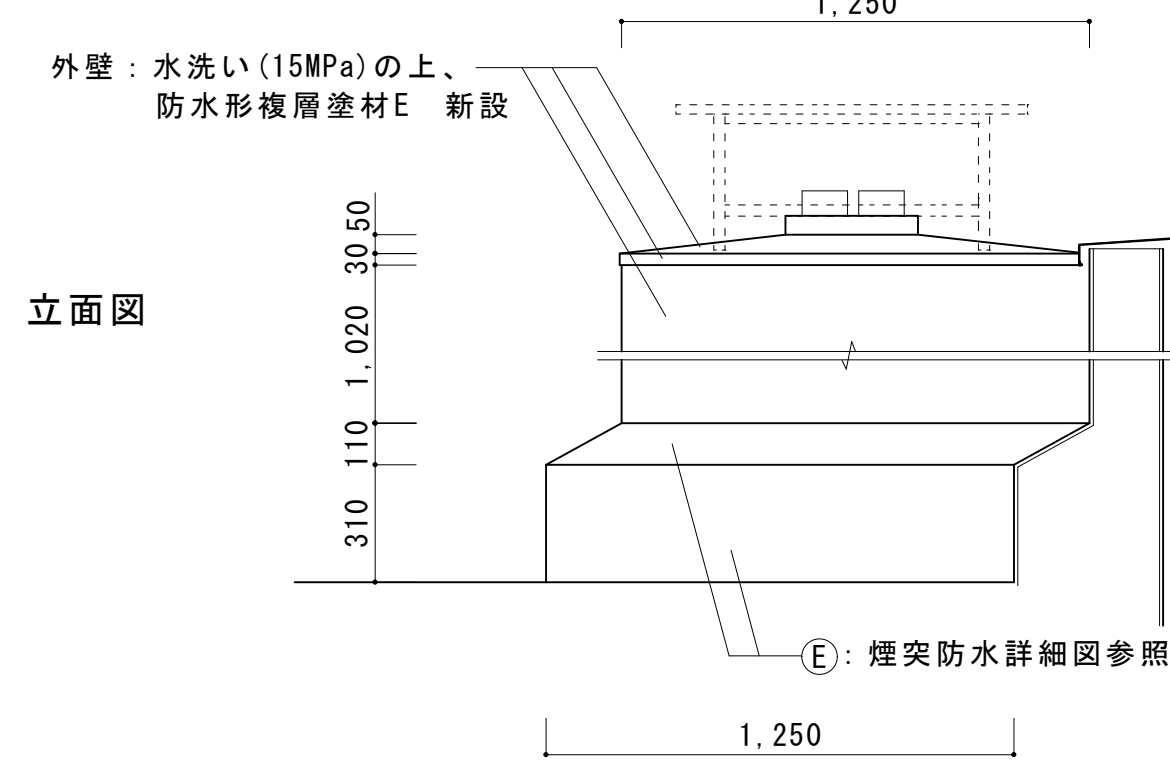
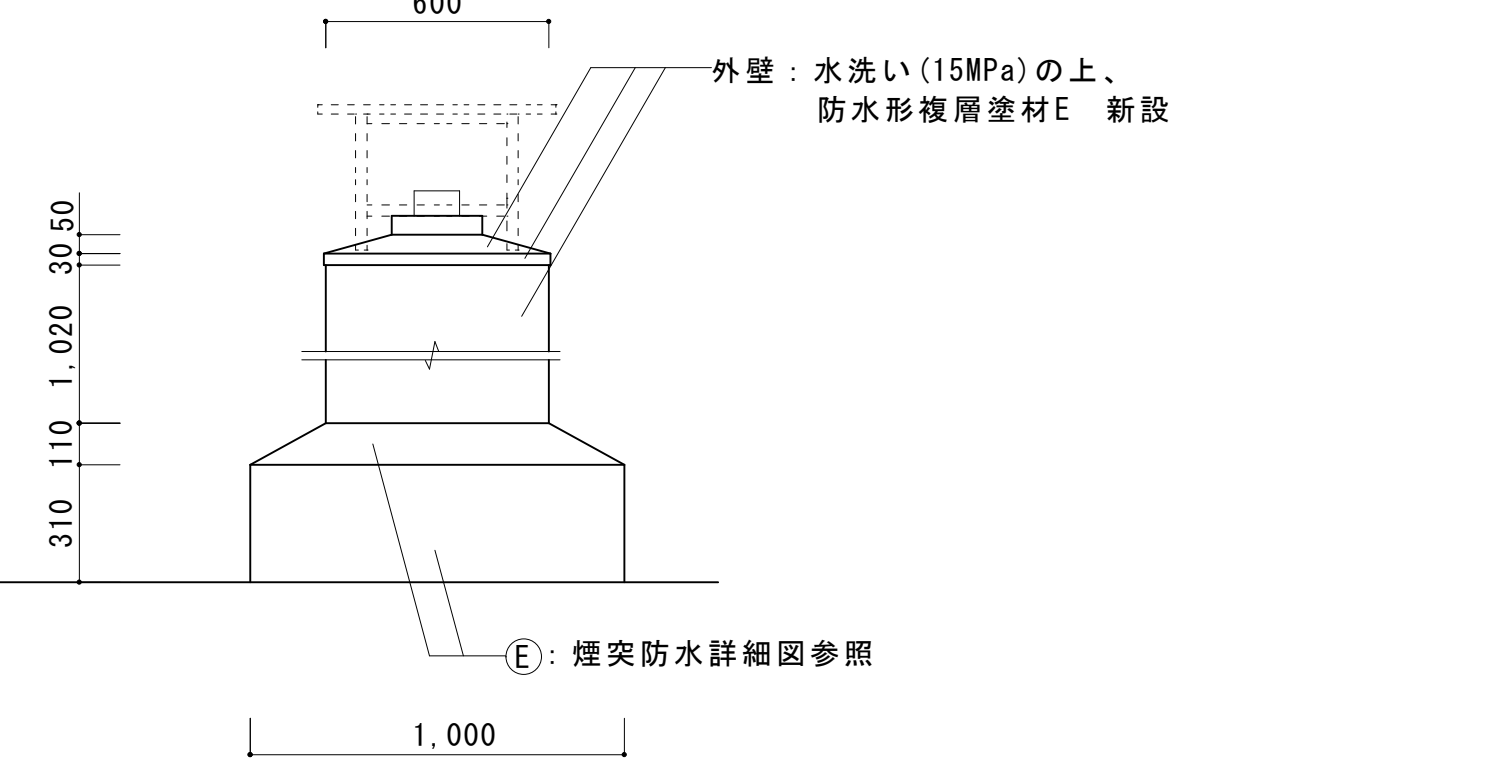
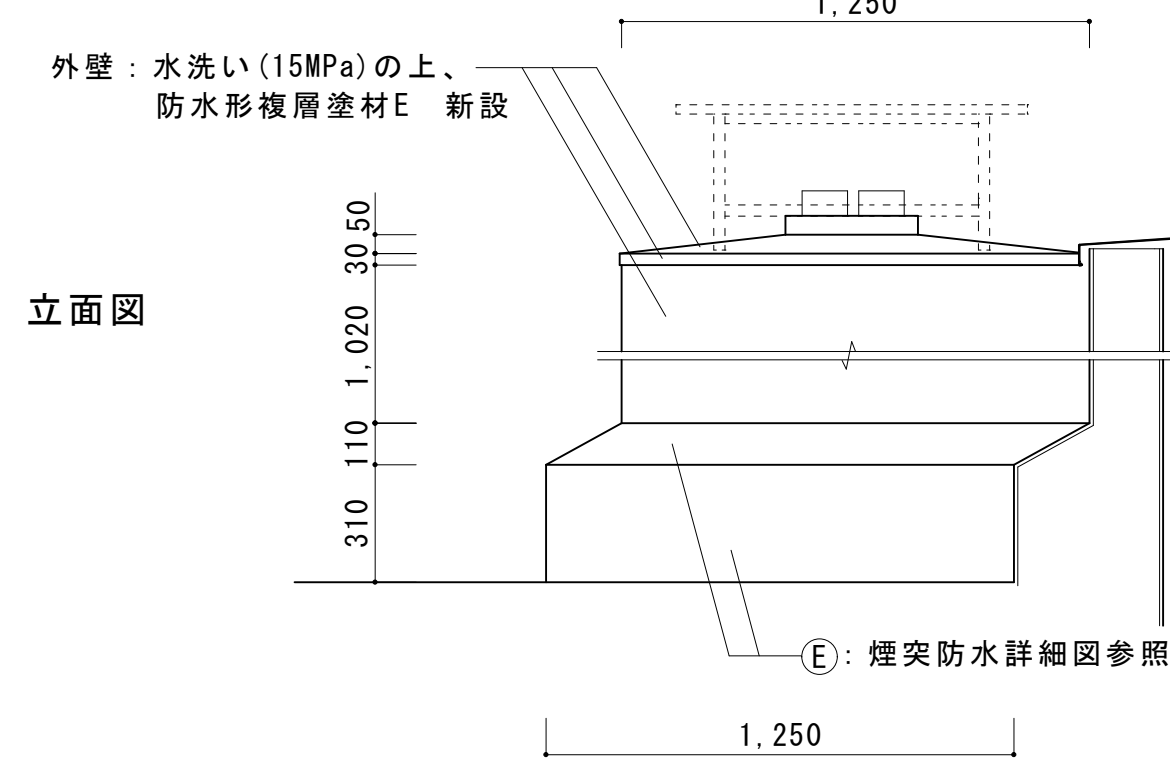
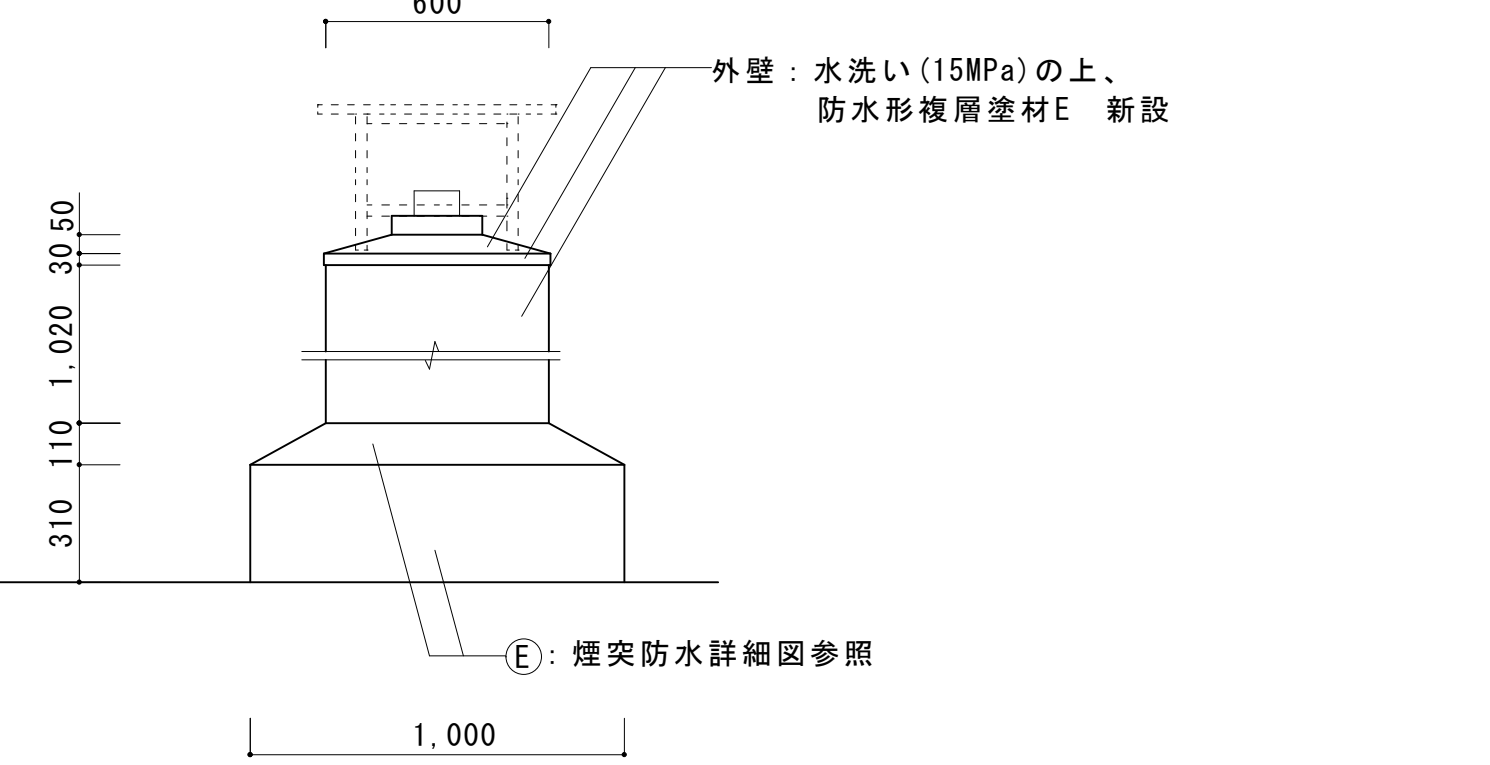
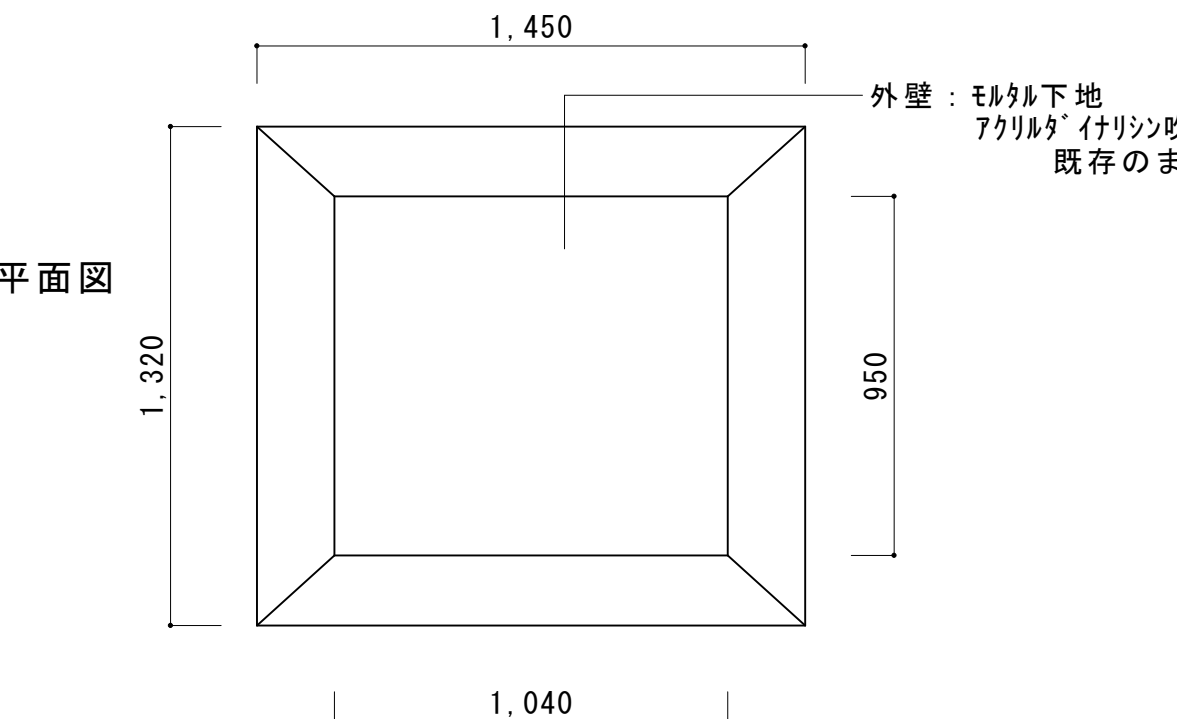
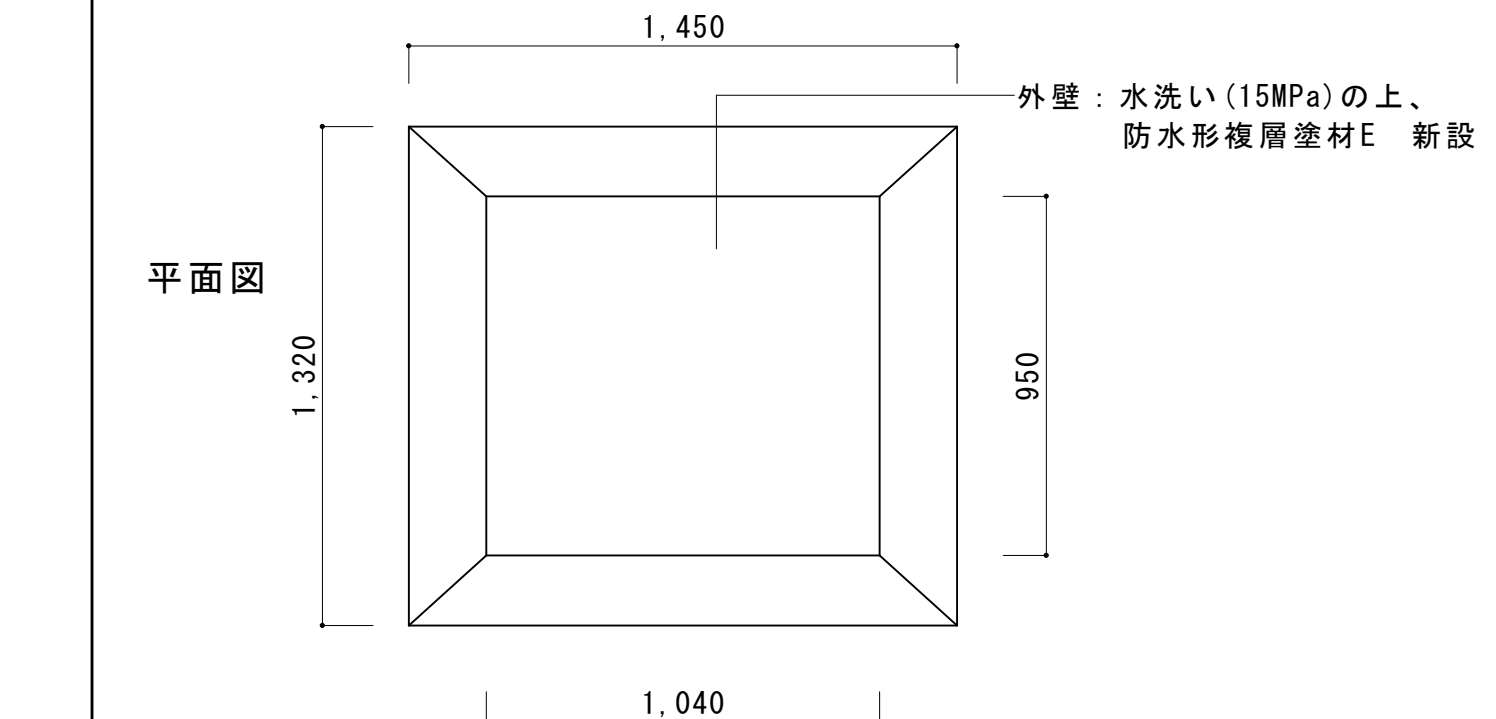
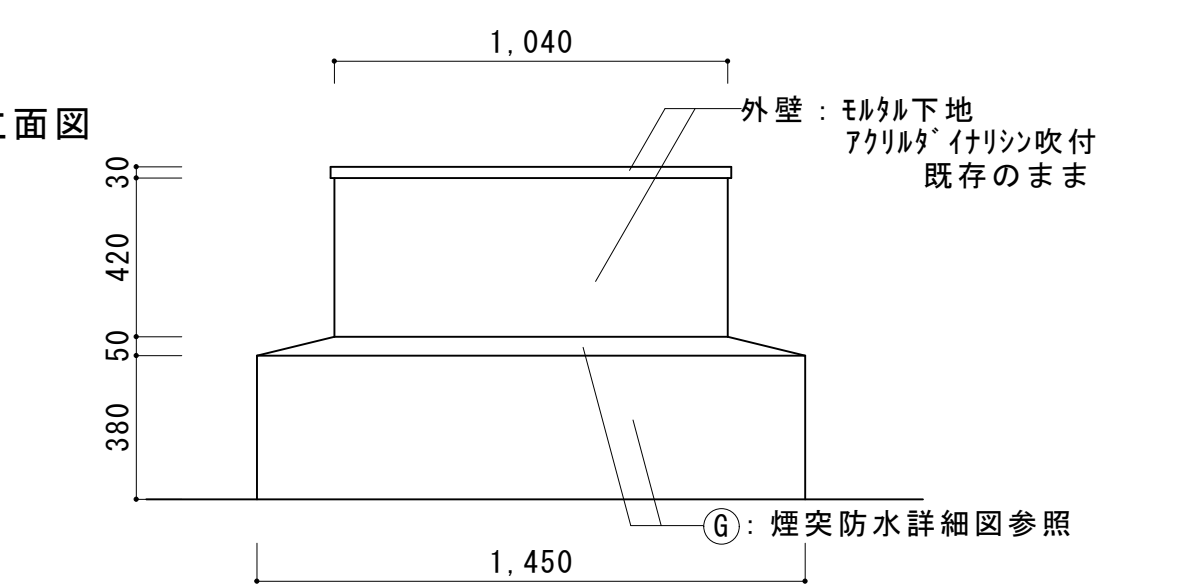
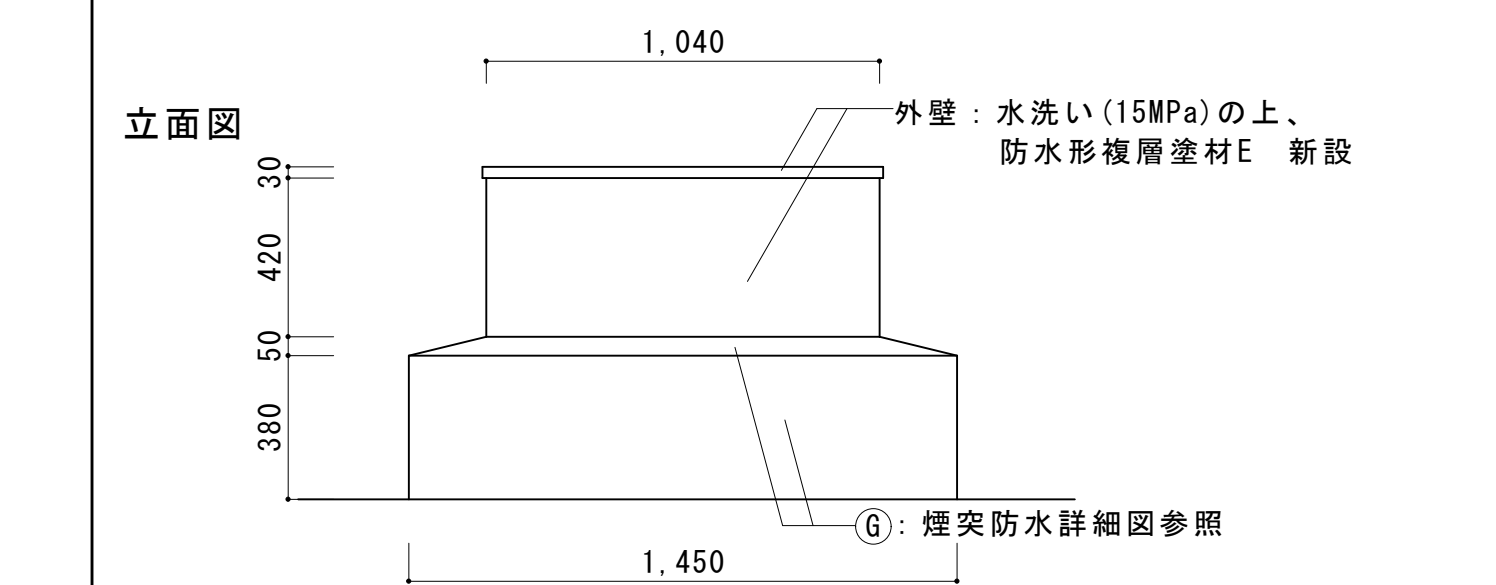
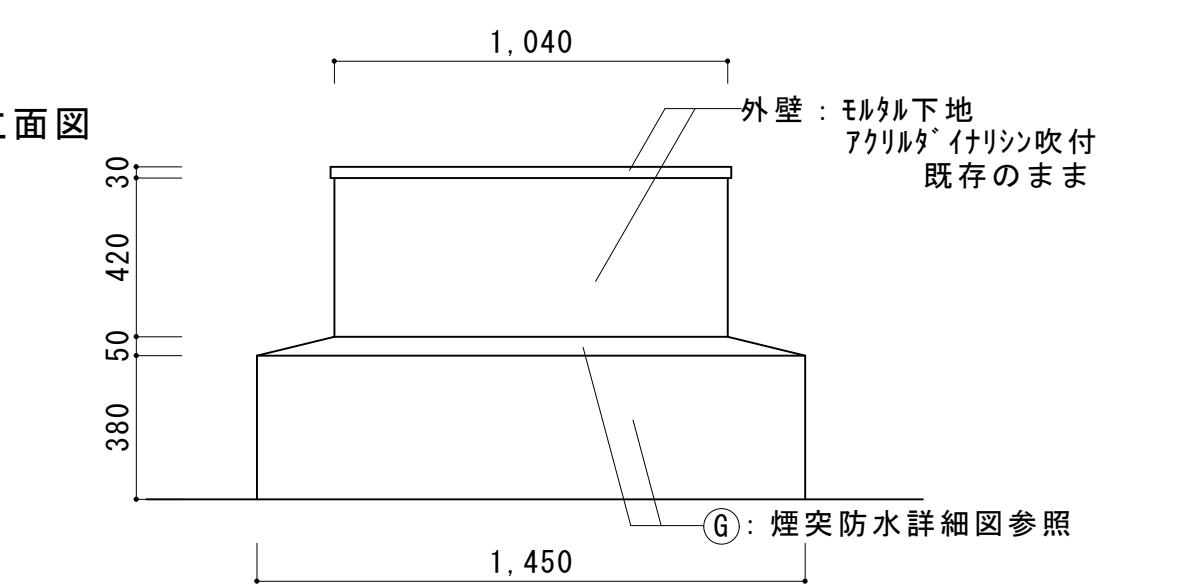
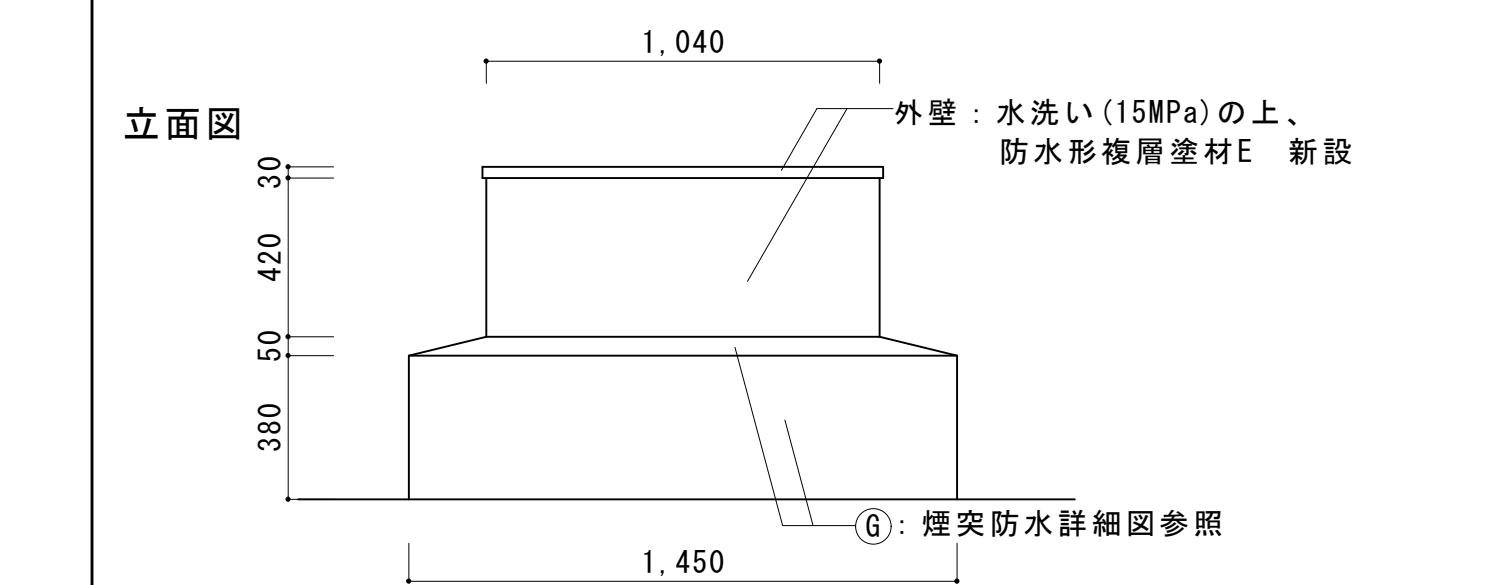
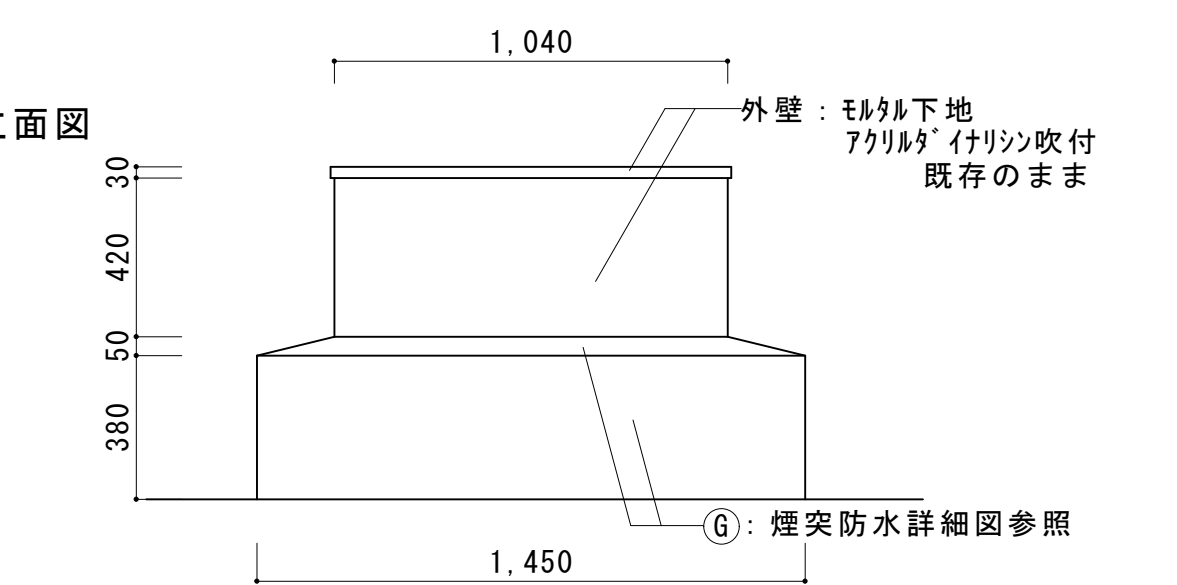
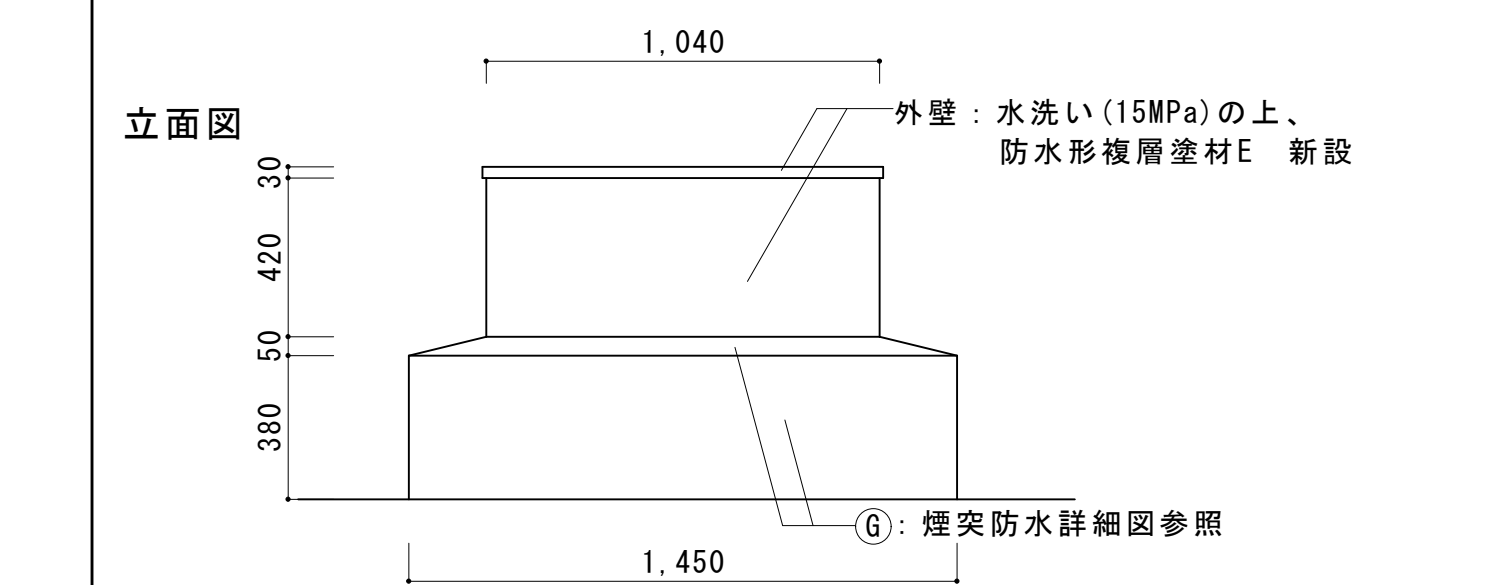
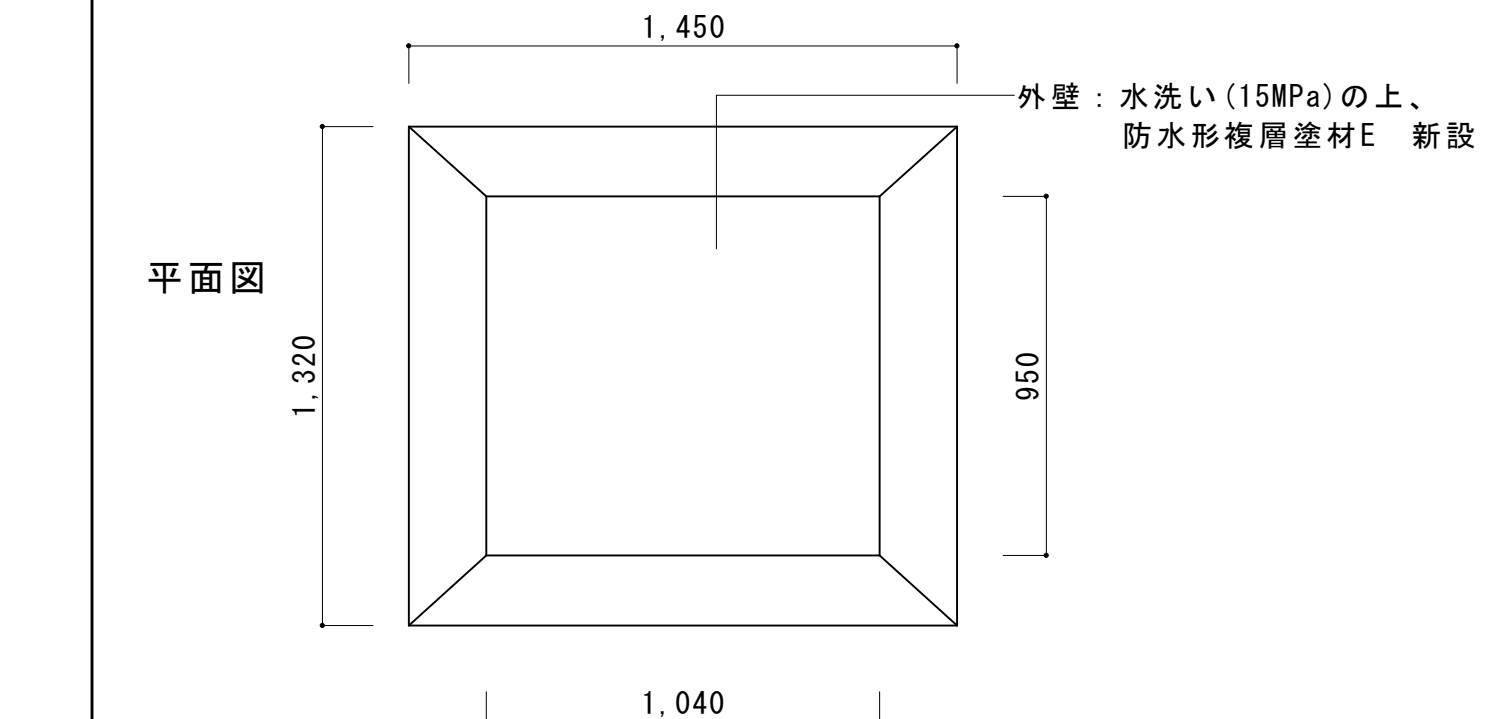
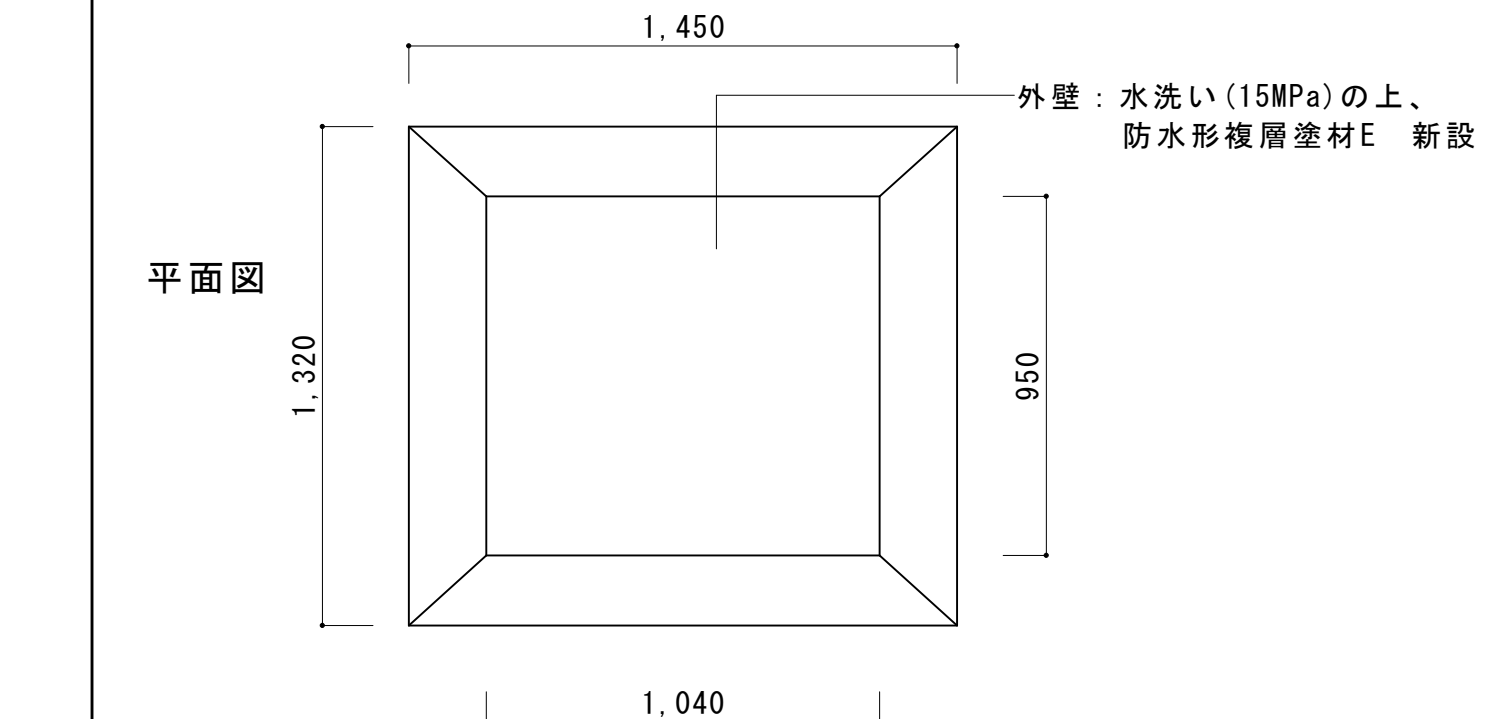
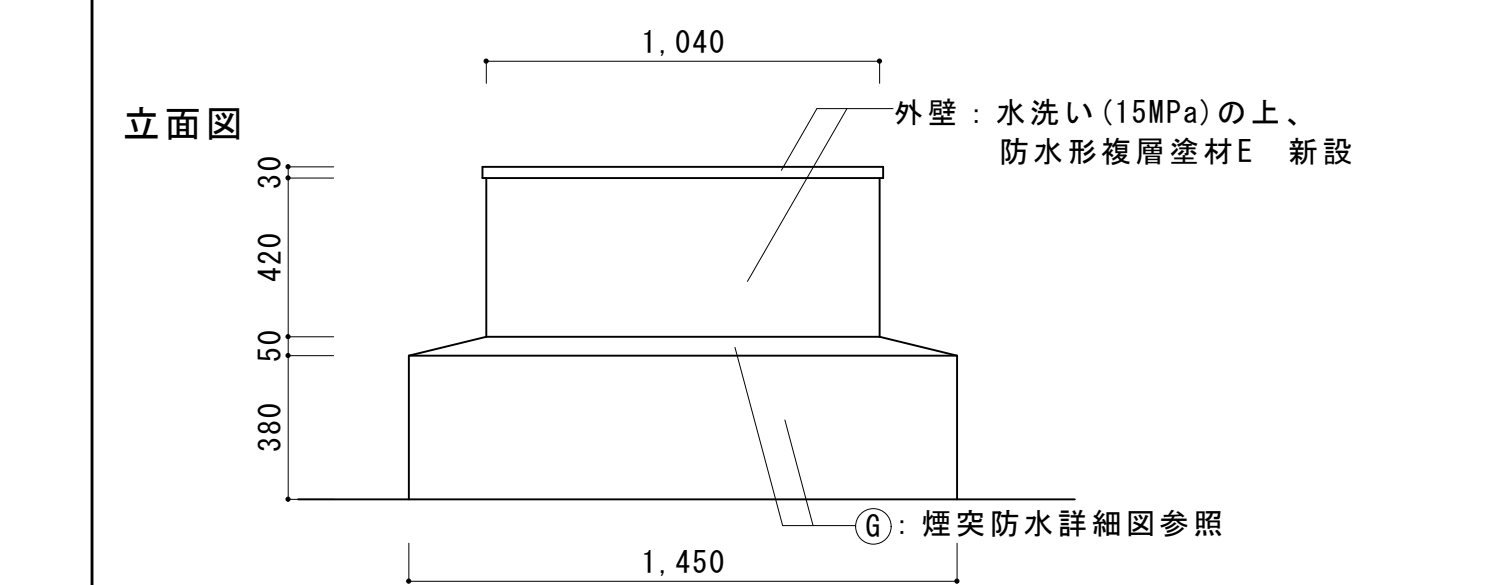
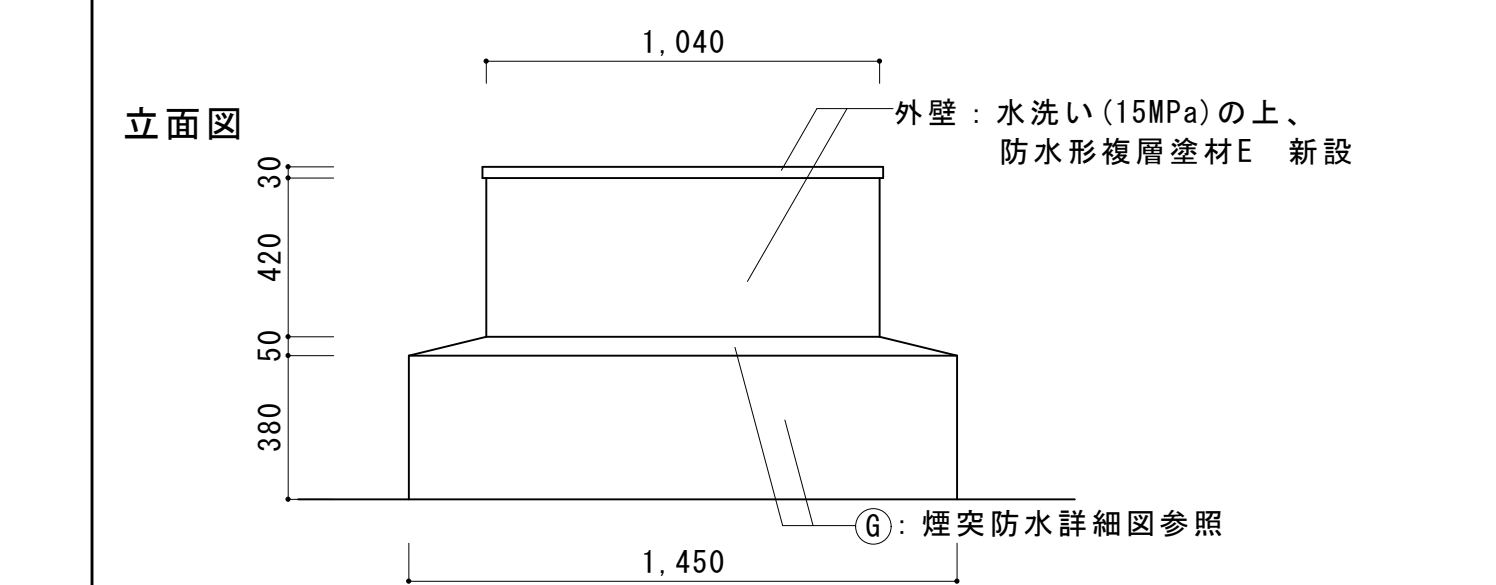
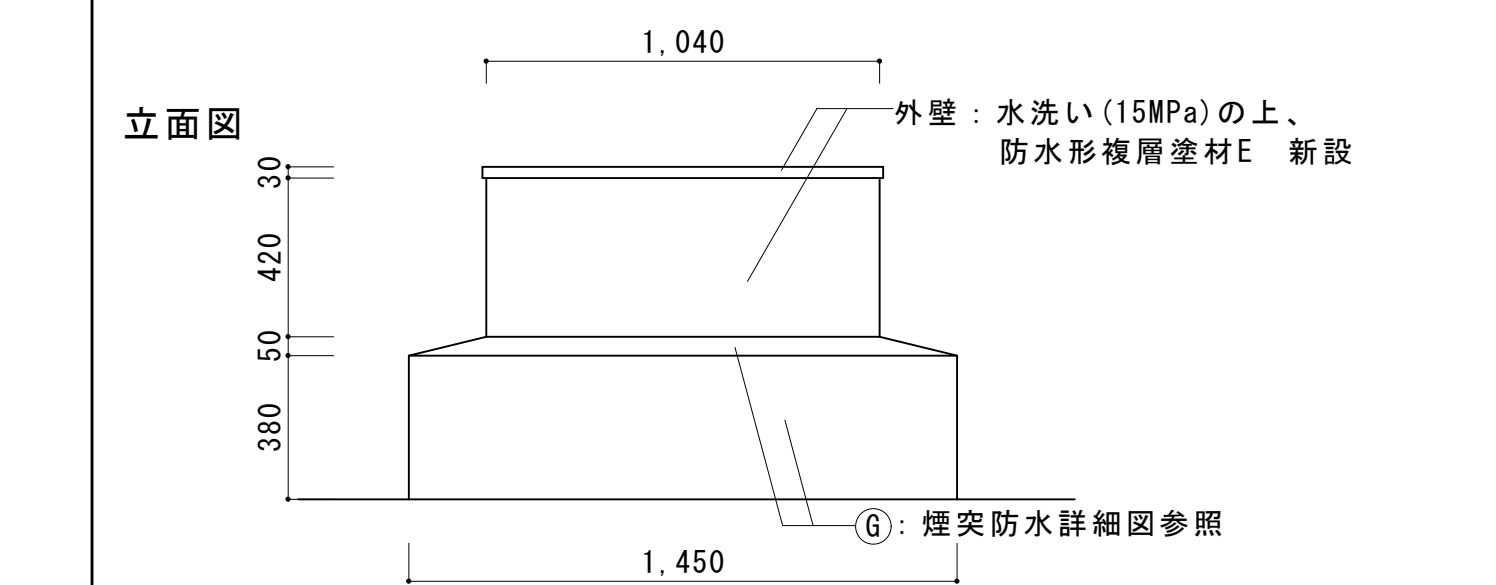
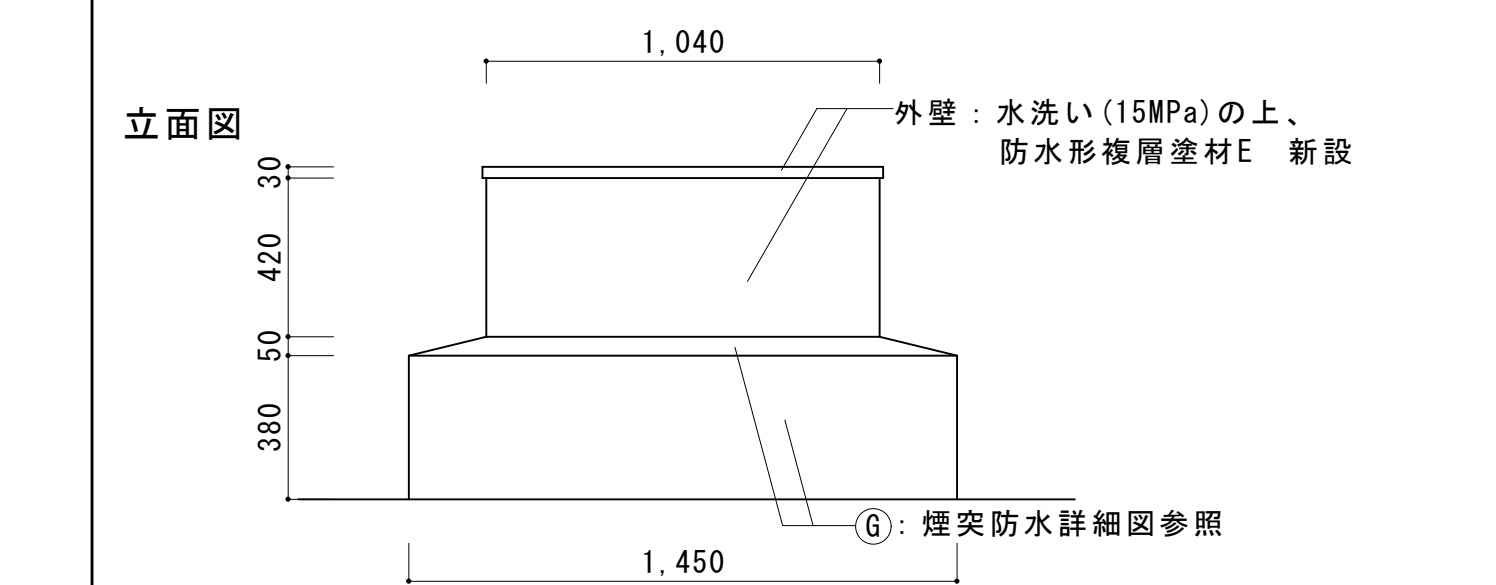
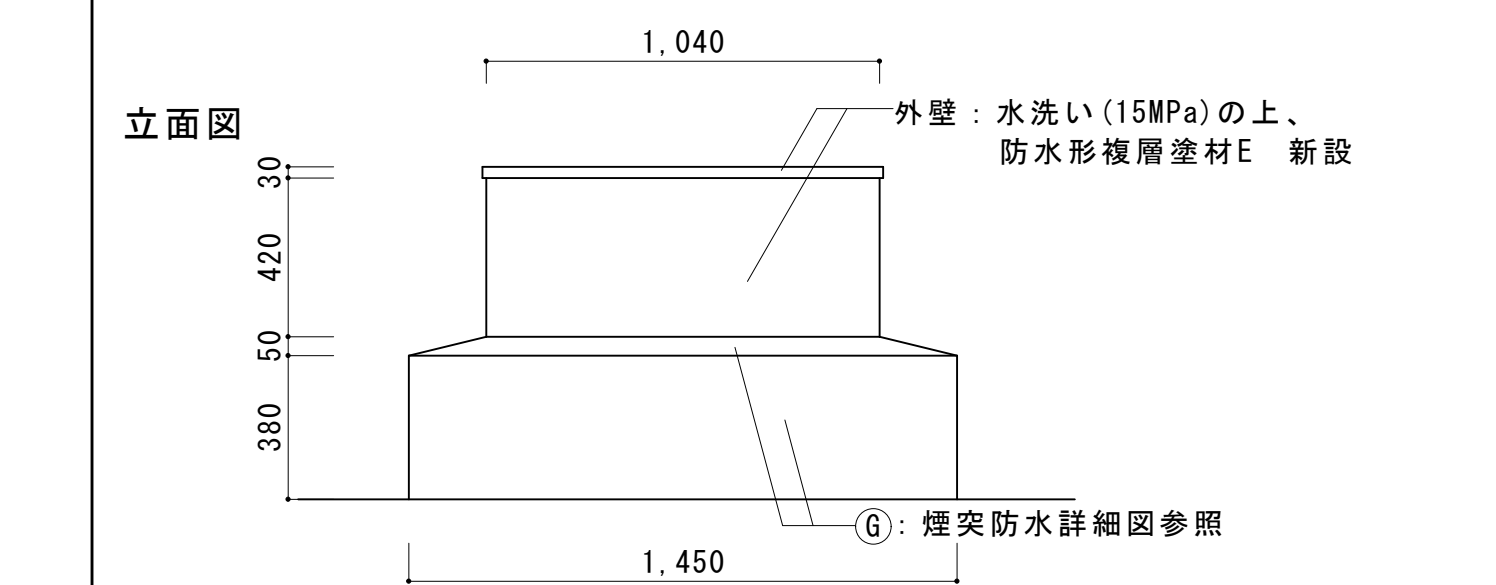
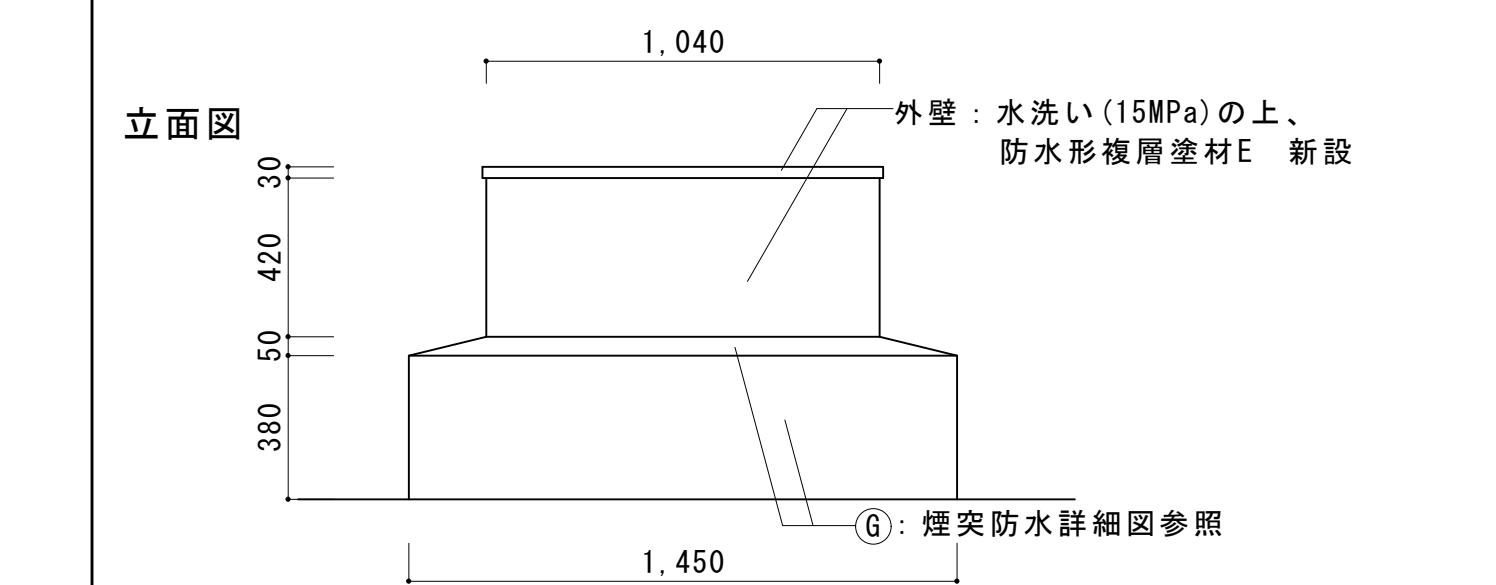
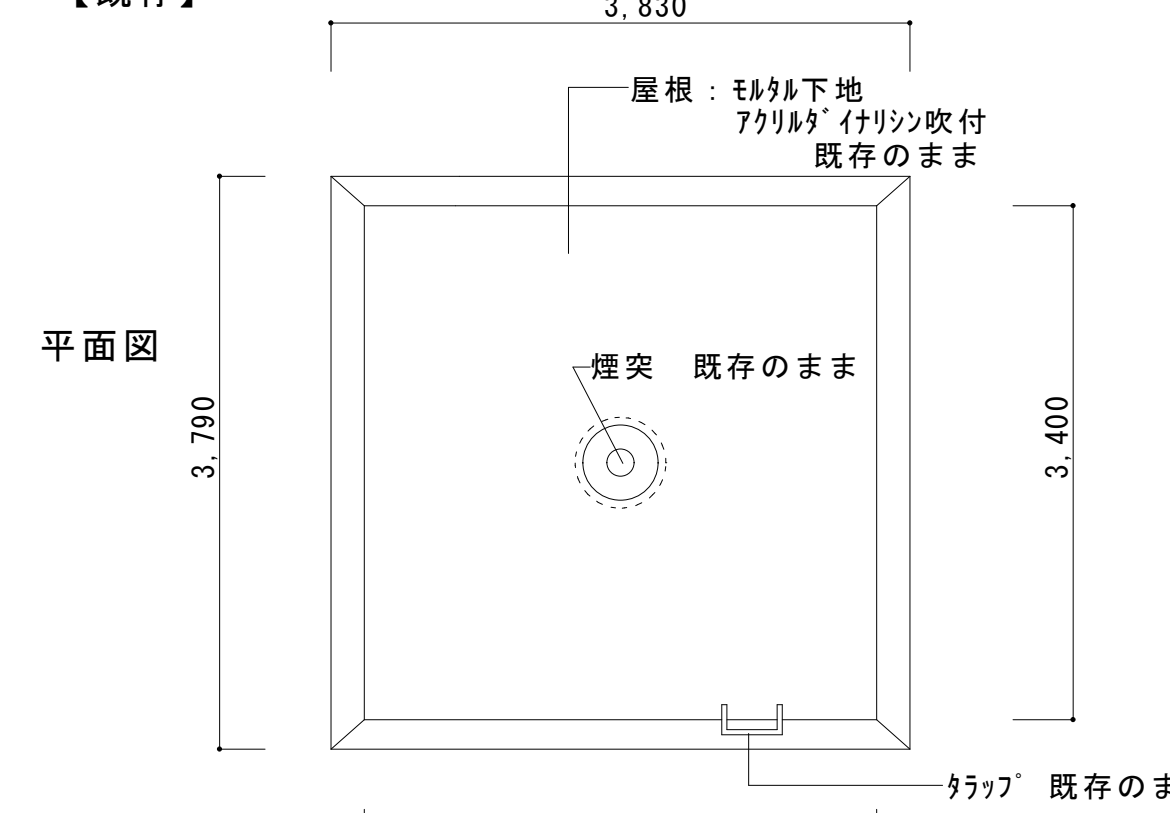
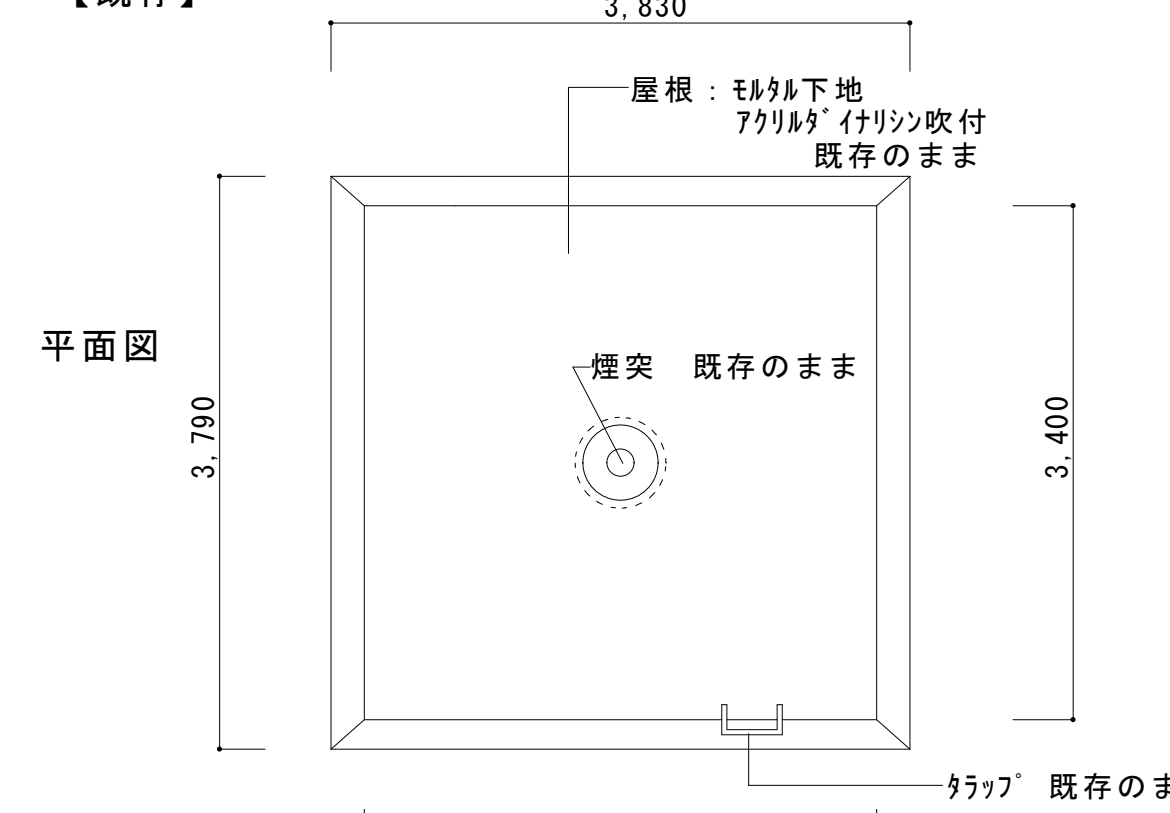
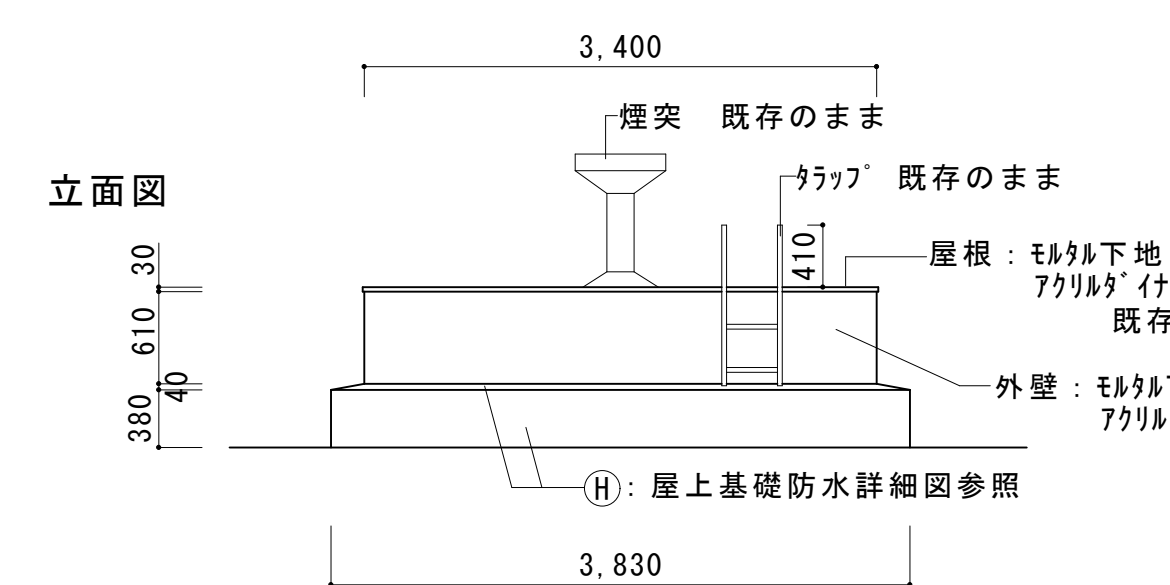
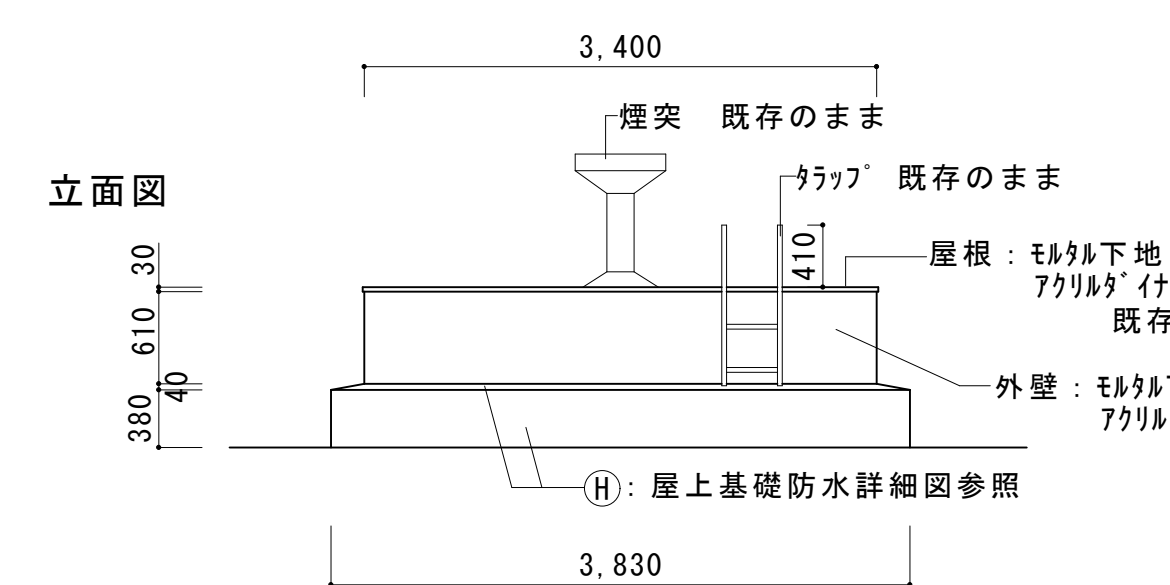
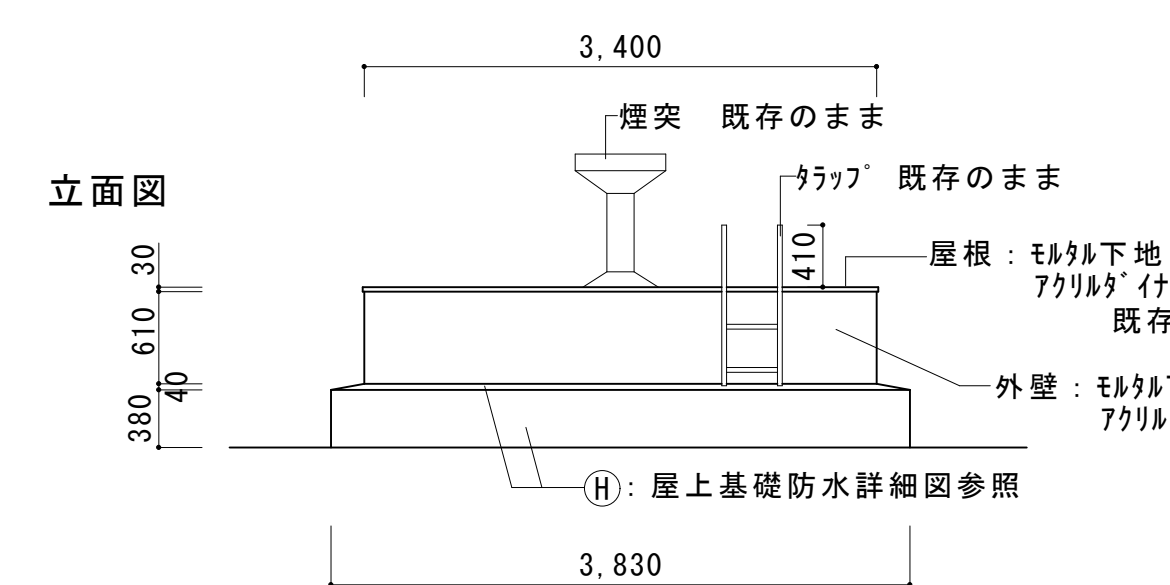
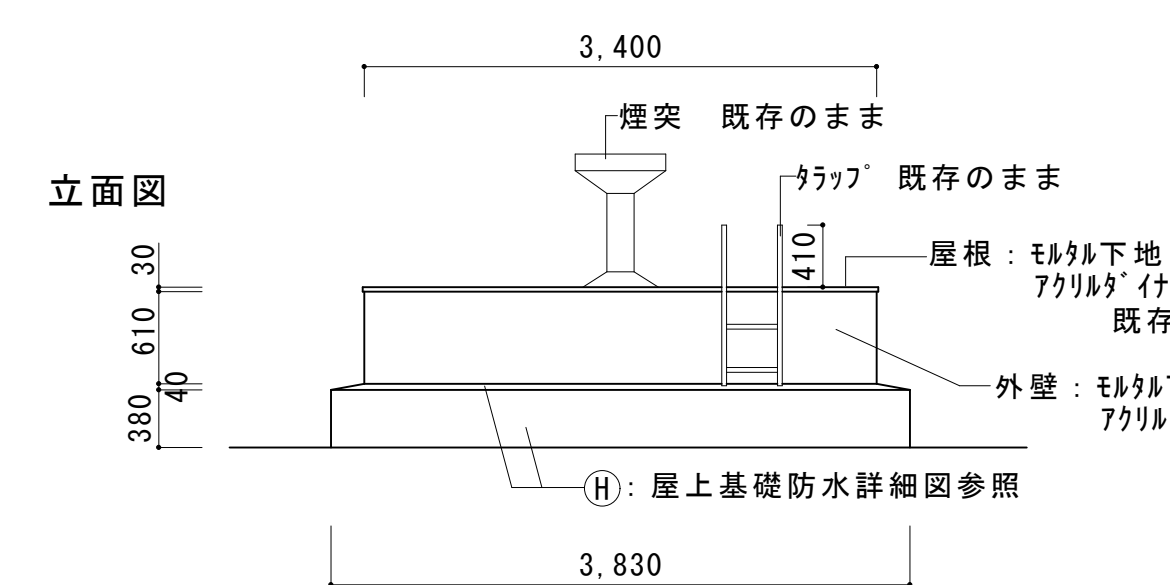
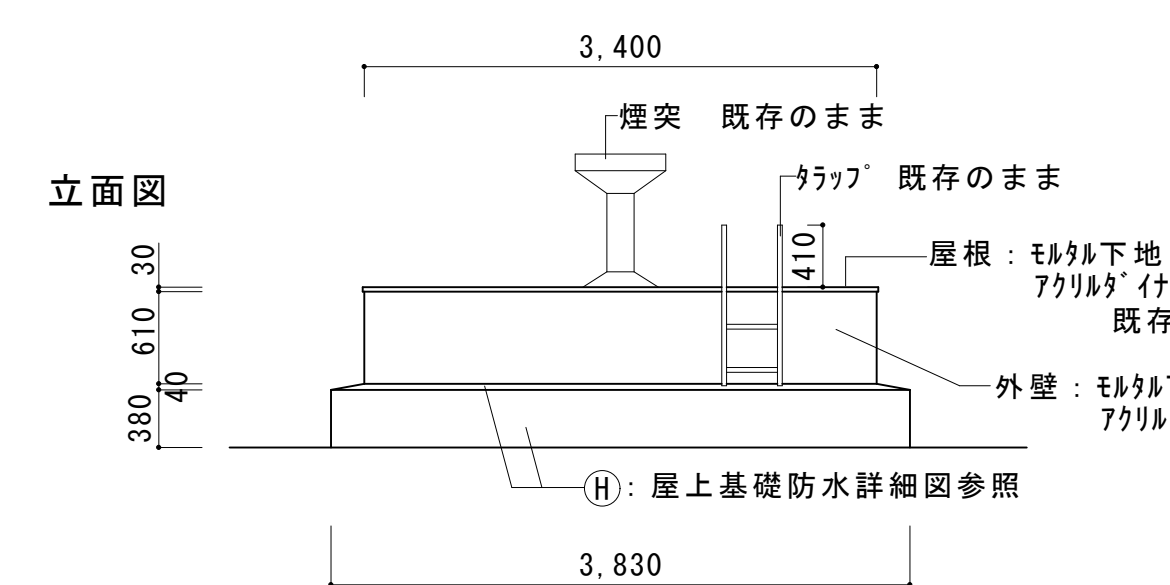
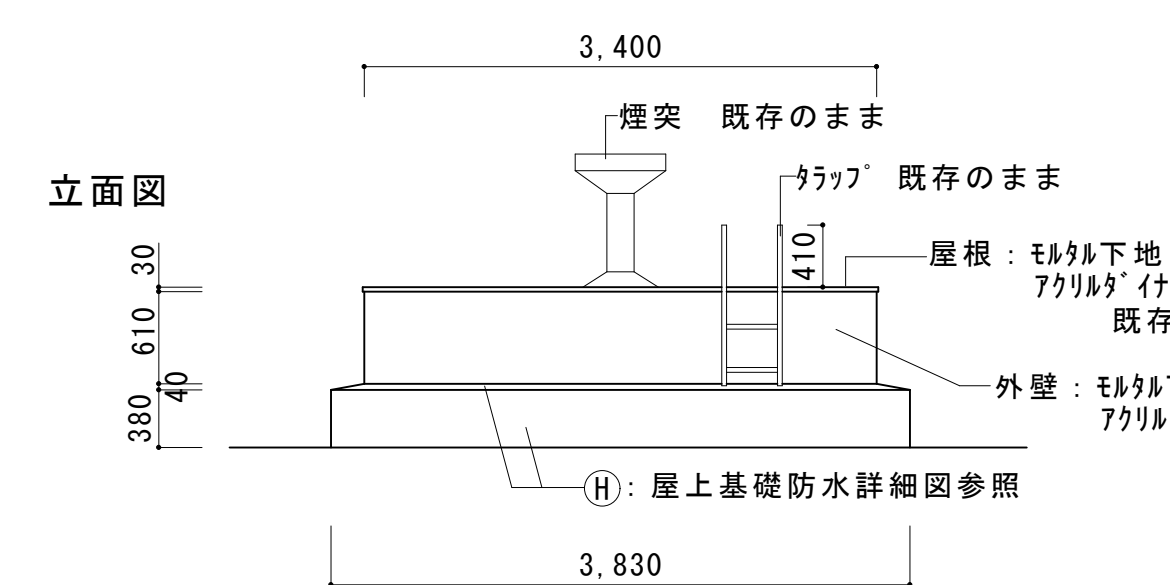
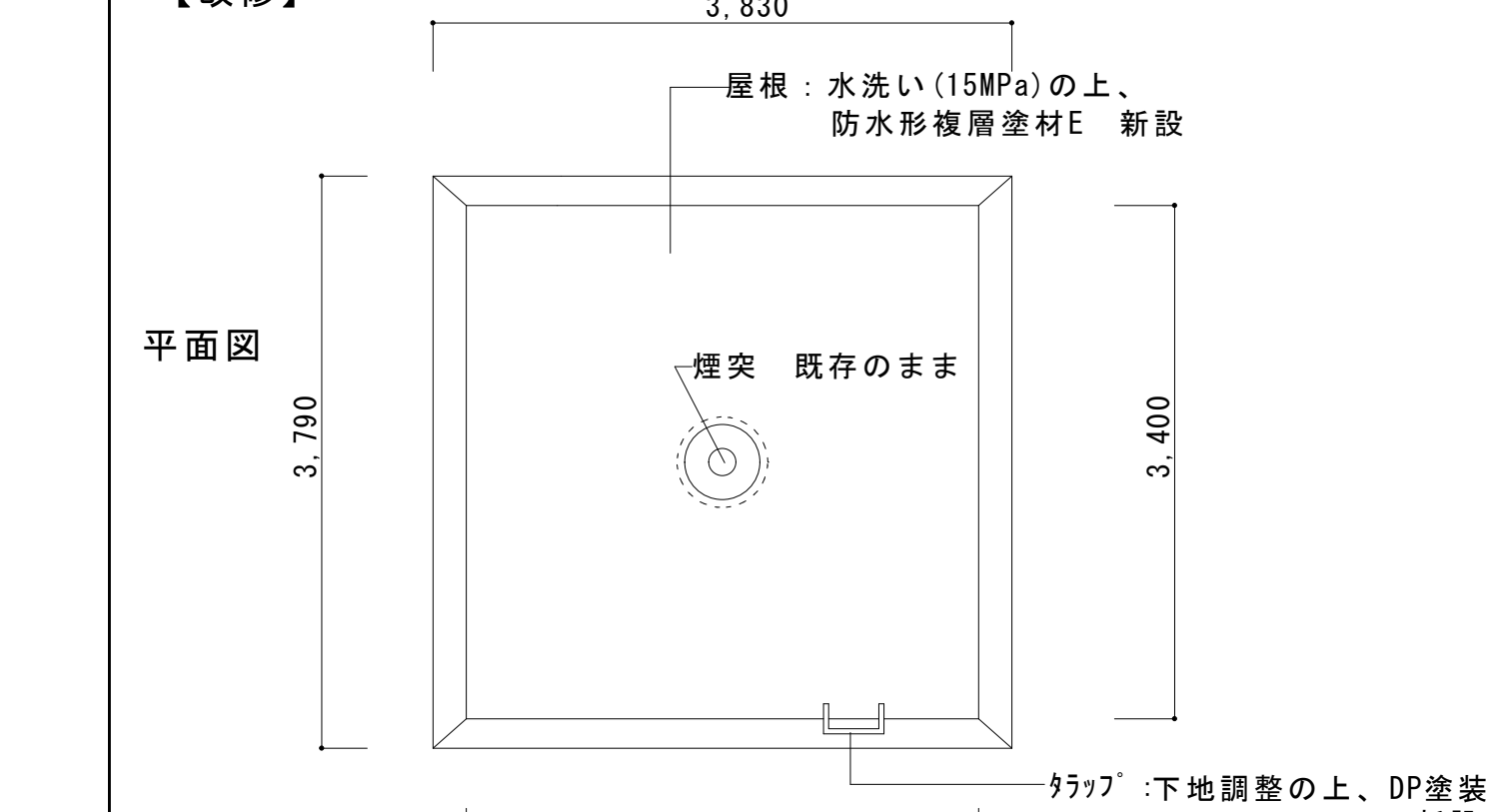
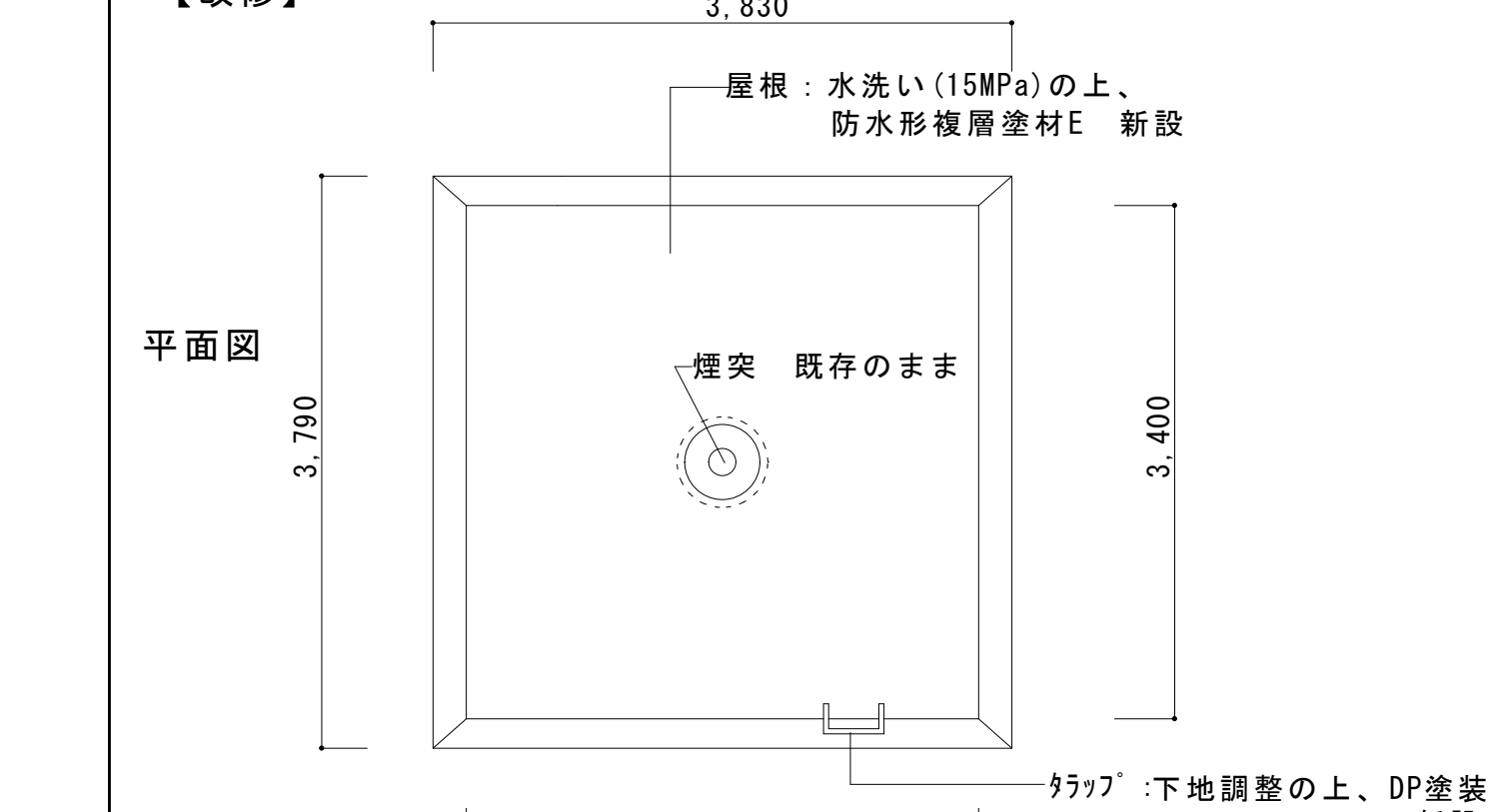
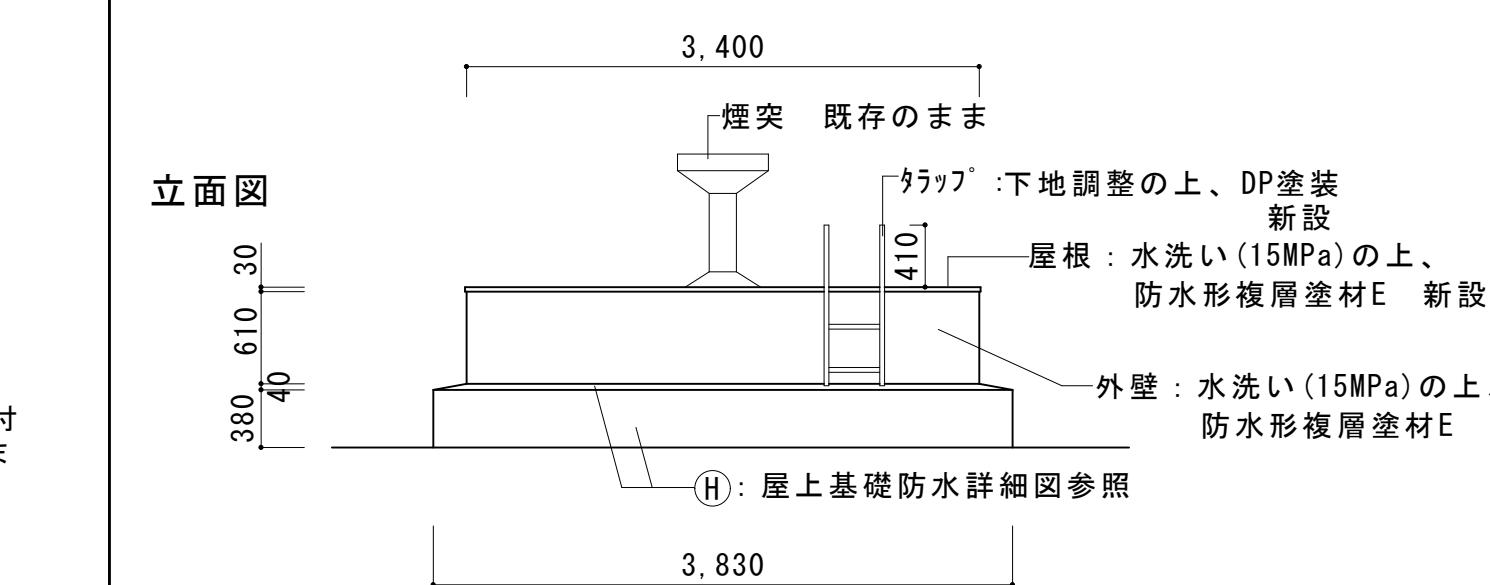
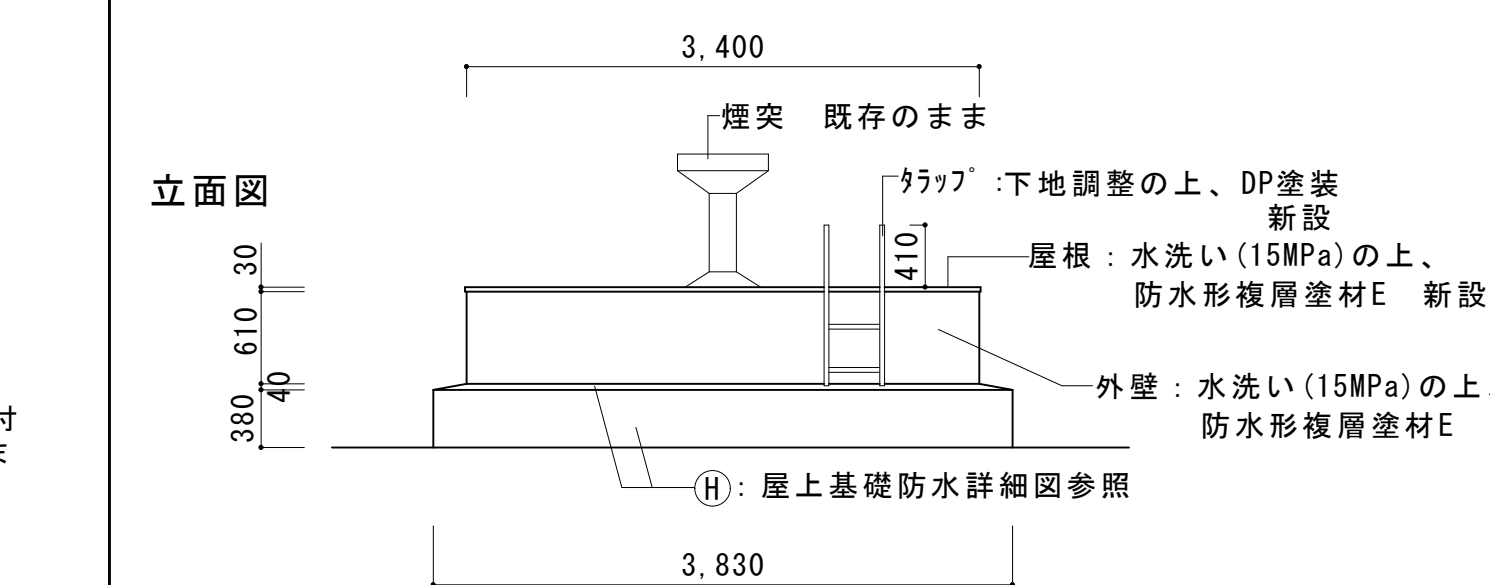
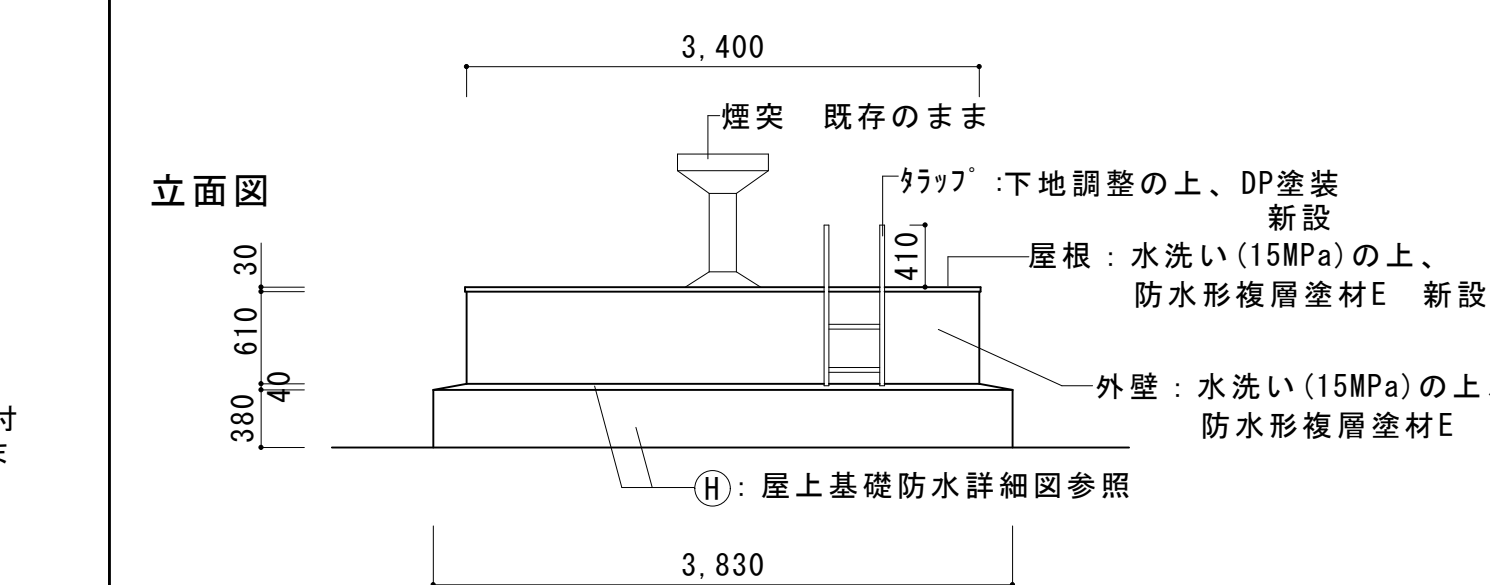
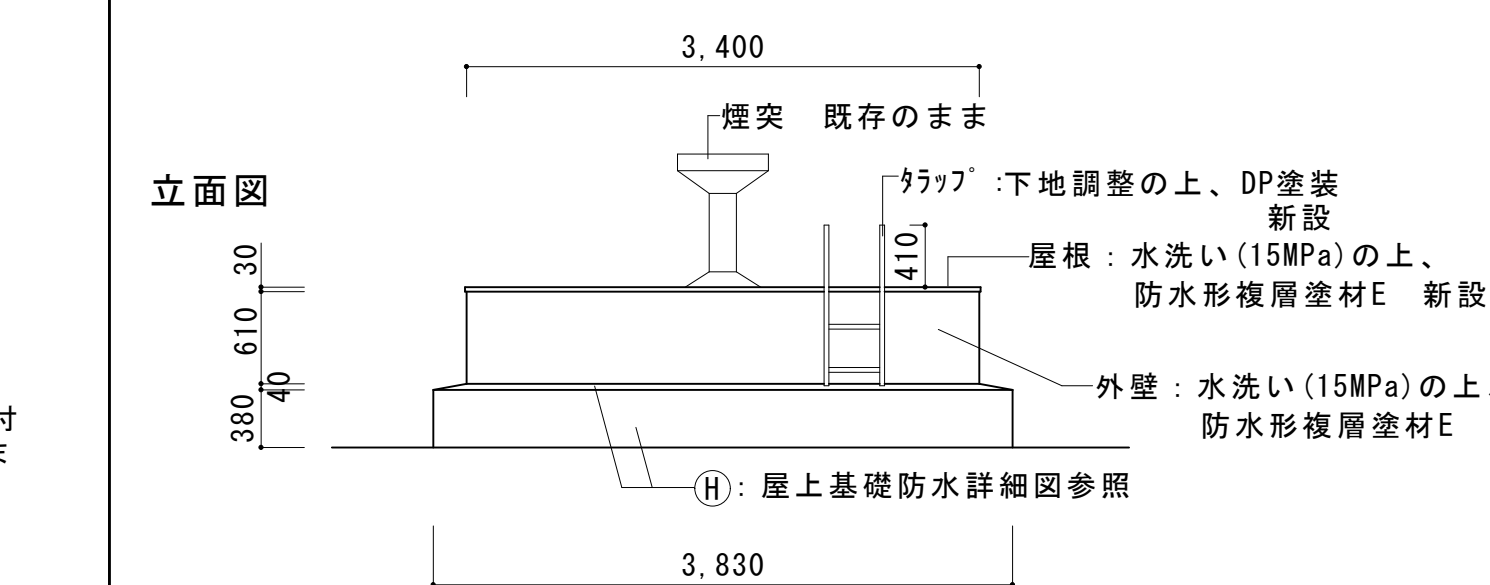
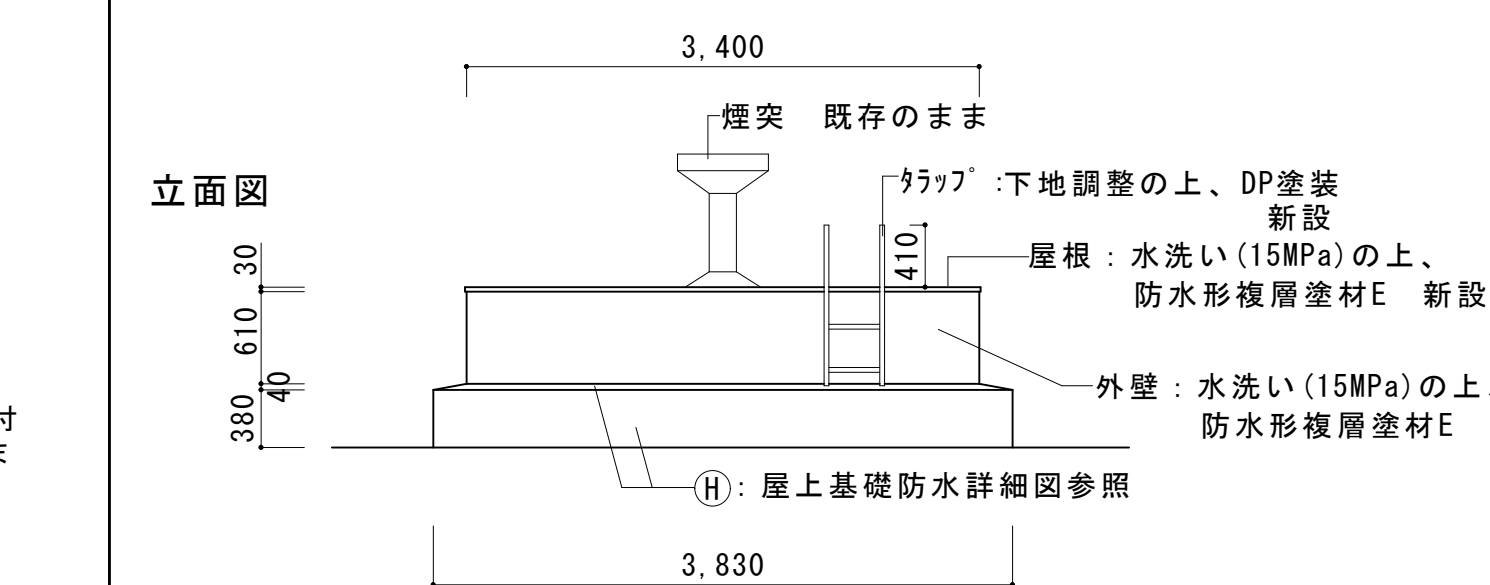
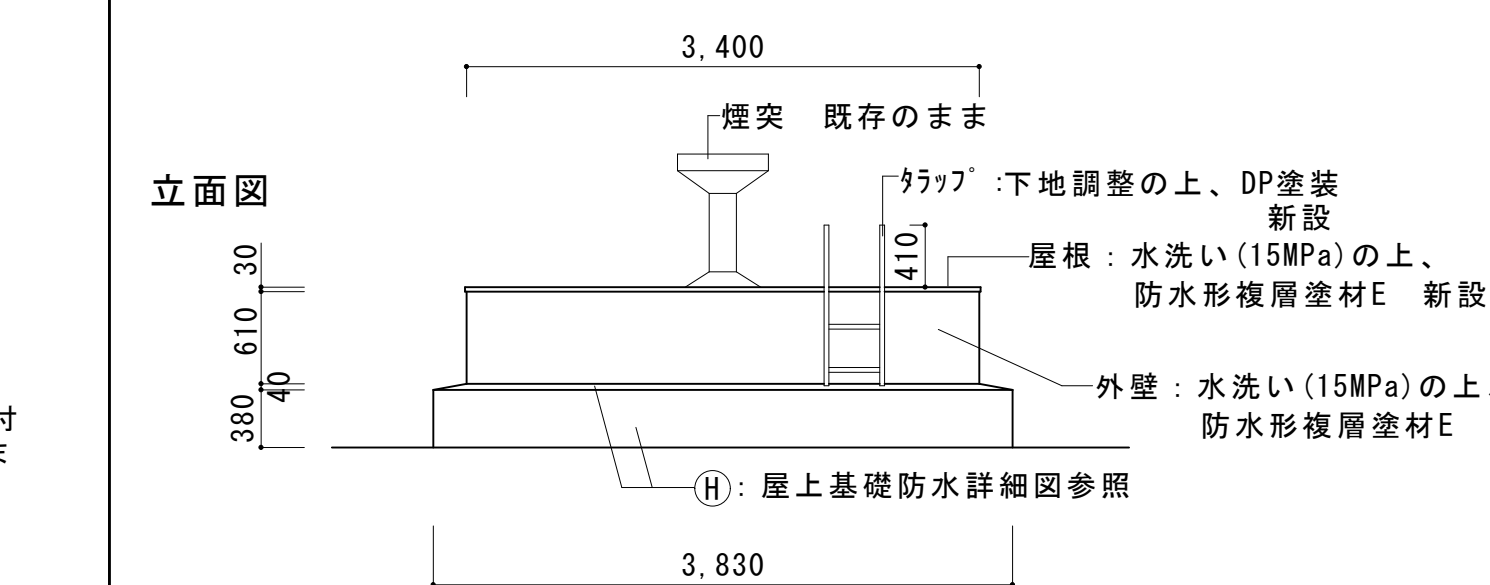
A-14

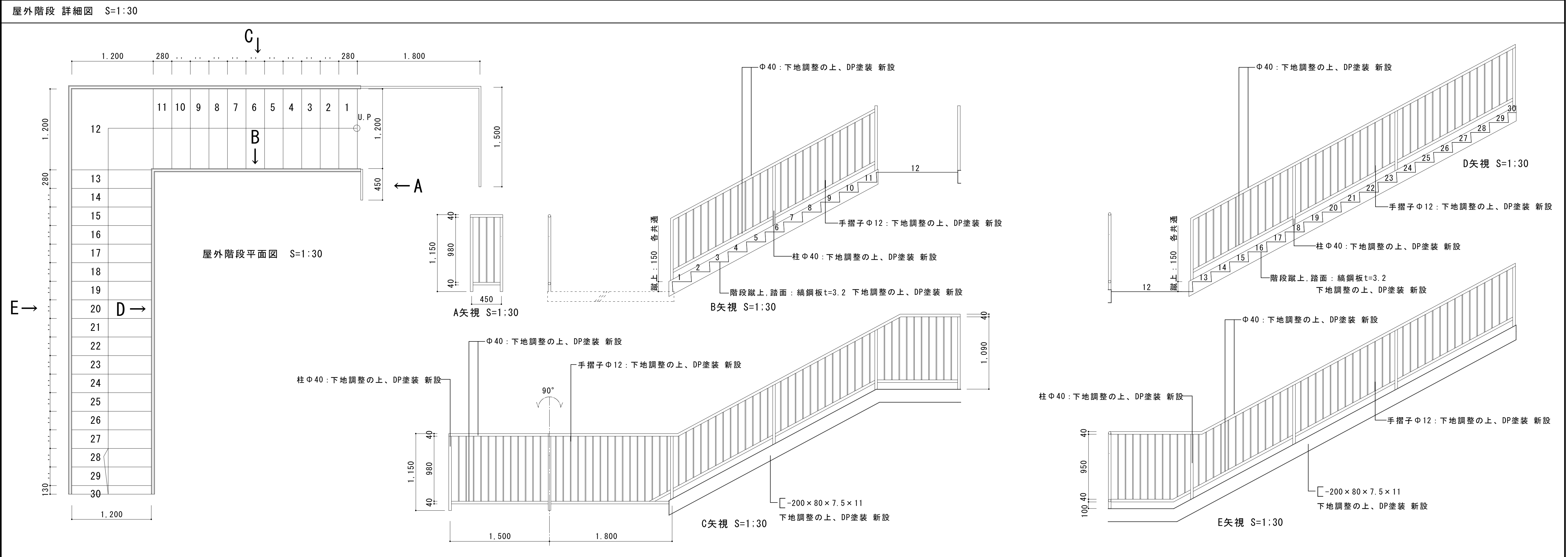
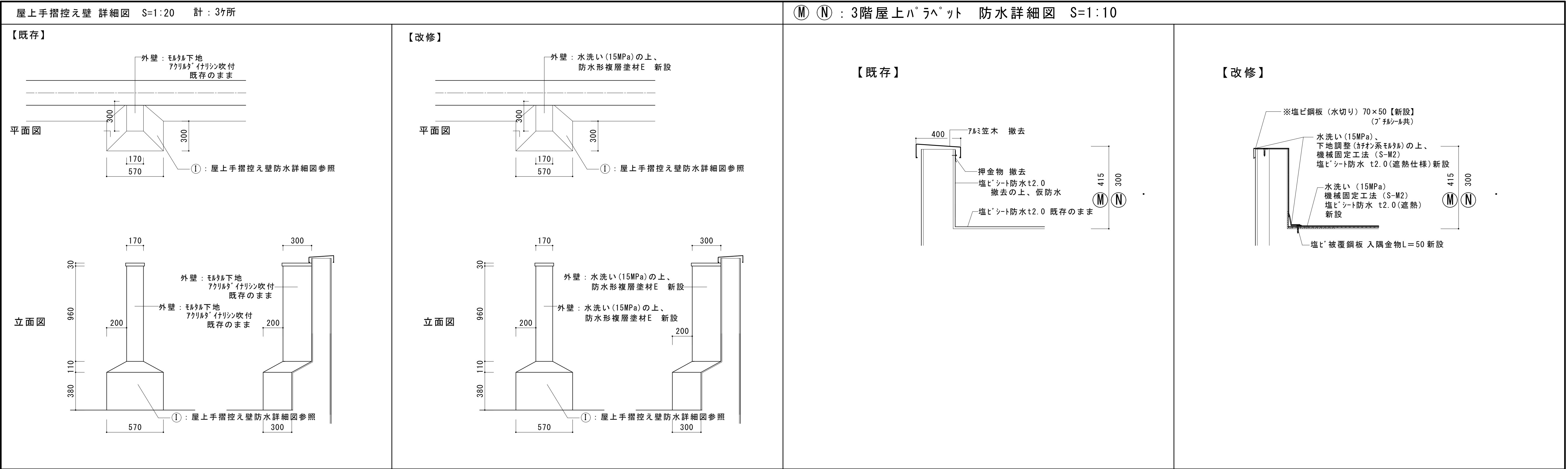


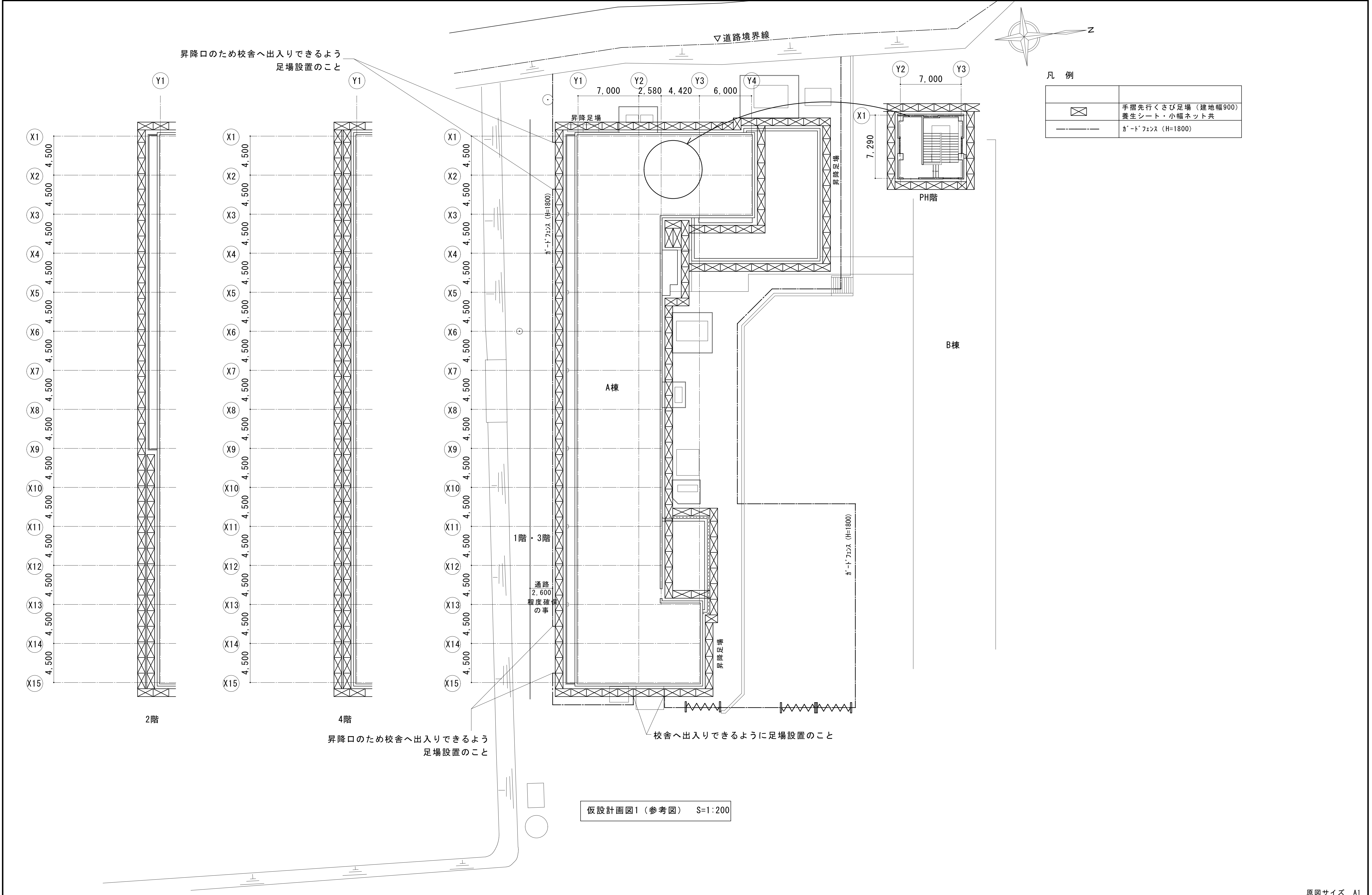
原図サイズ A1




㉑：PH 防水詳細図 S=1:10		㉒㉓㉔：屋上パラペット 防水詳細図 S=1:10	
【既存】 		【改修】 	
㉕：煙突 防水詳細図 S=1:10		㉖：屋上基礎 防水詳細図 S=1:10	
【既存】 		【改修】 	
㉗：消火補給水槽用基礎 防水詳細図 S=1:10		㉘：屋上基礎 防水詳細図 S=1:10	
【既存】 		【改修】 	
㉙：屋上手摺控え壁 防水詳細図 S=1:10		㉚：PH下部 防水詳細図 S=1:10	
【既存】 		【改修】 	
㉛㉜：3階屋上 防水詳細図S=1:10		㉝㉞：3階屋上 防水詳細図S=1:10	
【既存】 		【改修】 	
工事名称 市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕		設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介	
課長 		縮尺 S=1:10 設計年月日	
総括主幹 		図面設計資格者氏名 	
総括副主幹 		図面番号 A-16	
総括副主幹 		雑詳細図1	
担当 		原図サイズ A1	
検算 		雑詳細図1	

煙突立上り 詳細図 S=1:20 計：6ヶ所												
【既存】												
平面図												
												
【改修】												
平面図												
												
⑦ 消火補給水槽用基礎 詳細図 S=1:20 1ヶ所												
【既存】												
平面図												
												
【改修】												
平面図												
												
① 屋上基礎 詳細図 S=1:50 1ヶ所												
【既存】												
平面図												
												
【改修】												
平面図												
												
原図サイズ A1												
SAGAMIHARA												
相模原市												
工事名称 市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕												
設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介												
課 長 総括主幹 総括副主幹 総括副主幹 担 当 検 算												
縮尺 S=1:20 S=1:50												
設計年月日												
図面名称 雑詳細図2												
図面番号 A-17												





<div><div><div>SAGAMIHARA</div><div>相模原市</div></div></div>		<div>工事名称</div> <div>市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕</div>	<div>設計資格者氏名</div> <div>一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介</div>	課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算	縮 尺	図面名称	図面番号

S=1:200

設計年月日

仮設計画図1 (参考図)

A-19

- 凡 例
- 今回修繕部分を示す

ガードフェンス (H=1800) 杭打ち支持L1500 計：280m

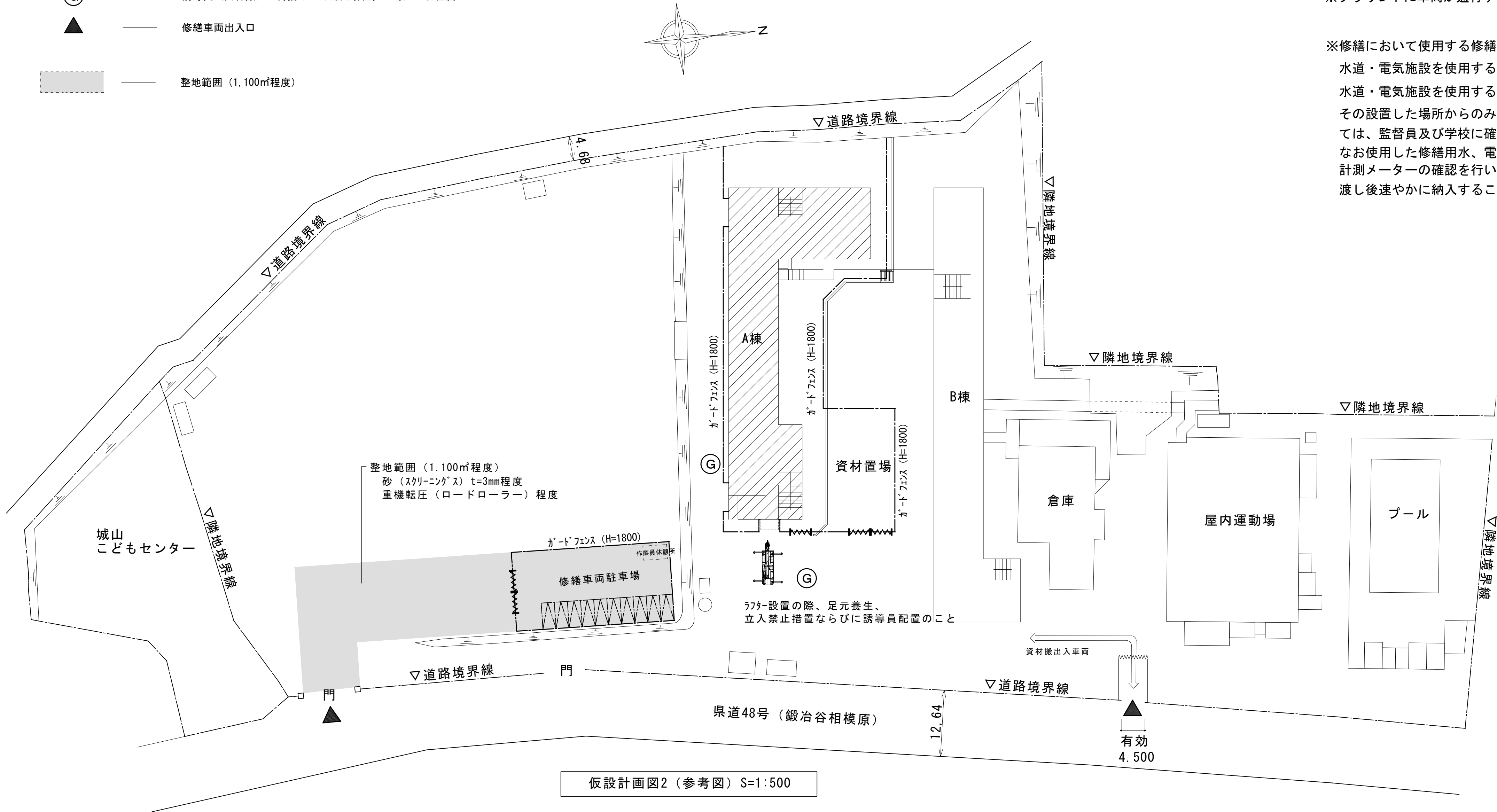
修繕用ゲート (W=6000×H=2000) 2箇所

修繕用ゲート (W=3600×H=2000) 1箇所

誘導員 (資材搬入・荷揚げ・外部足場組払い時) 30名程度

修繕車両出入口

整地範囲 (1,100㎡程度)



- 【学校敷地内を車両が通行する場合に厳守すべきこと】
- ・学校敷地内は最徐行を行うこと。
 - ・登校（7：45～8：20）、下校の時間や休み時間においては、原則として出入りは行わないこと。
 - ・2人以上で車両通行する場合には、1人が車両から降りて先導すること。
 - ・1人で車両通行する場合には、原則として事前に学校内にいる人に連絡を入れ先導してもらうか、ハザードランプを点灯させて最徐行すること。
 - ・敷地内の駐車スペースより車両通行を開始する前には、車両周辺の前後左右の確認を行うこと。

※資材搬入等でやむを得ず車両が通行する場合には、先導員を配置して安全を確保すること。
※ラフタークレーンを使用する場合は、学校休校日とすること。
※グラウンドに車両が通行する場合には、修繕完成時に整地を行うこと。

※修繕において使用する修繕用水及び電力は、原則として学校敷地内の水道・電気施設を使用することはできない。やむをえず学校敷地内の水道・電気施設を使用する場合は、使用量計測用のメーターを設置し、その設置した場所からのみの使用とすること。また、設置位置については、監督員及び学校に確認を行い決定すること。
なお使用した修繕用水、電力については、学校立ち合いのもと使用量計測メーターの確認を行い、使用量相当分を使用完了後若しくは引き渡し後速やかに納入すること。